



郡山市特定事業主行動計画

「私から始めるプログラム」

(別冊) アンケート編

平成28年4月

目次

○特定事業主行動計画策定に係るアンケート調査概要	1
○正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果	2
アンケート調査票	1 7
○県費負担教職員のアンケート結果	2 2
アンケート調査票	3 7
○嘱託職員、臨時職員のアンケート結果	4 2
アンケート調査票	5 2

特定事業主行動計画策定に係るアンケート調査概要

1. 調査概要

特定事業主行動計画の策定にあたり参考とするため、ワーク・ライフ・バランスの推進等に係る職員の意識や実態についてアンケート調査を実施した。

2. 調査対象者及び回答率

以下の全職員を対象として実施した。

- (1) 正職員、任期付職員、再任用職員 (対象者数 2,129 名、回答率 59%)
- (2) 県費負担教職員 (対象者数 1,841 名、回答率 21%)
- (3) 嘱託職員、臨時職員 (対象者数 972 名、回答率 65%)

3. 調査方法

電子メールを各所属へ送付し、各対象者が簡易申請システムによる電子回答。

4. 調査項目

- (1) 年次有給休暇に関すること
- (2) 超過勤務に関すること
- (3) キャリアデザインに関すること
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関すること
- (5) 育児・介護と仕事の両立に関すること

5. 調査期間

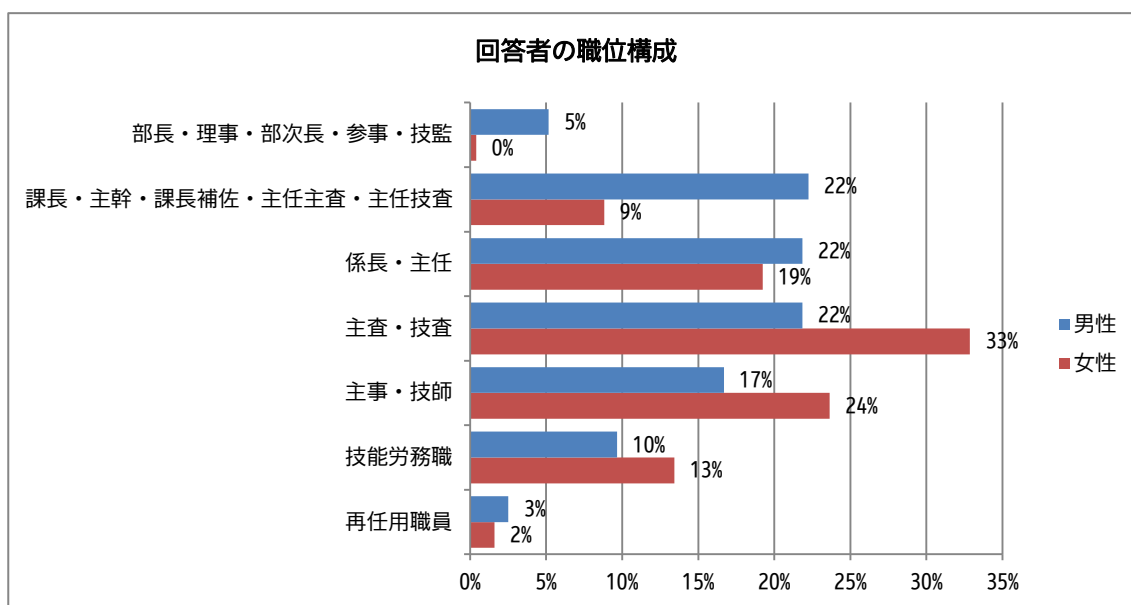
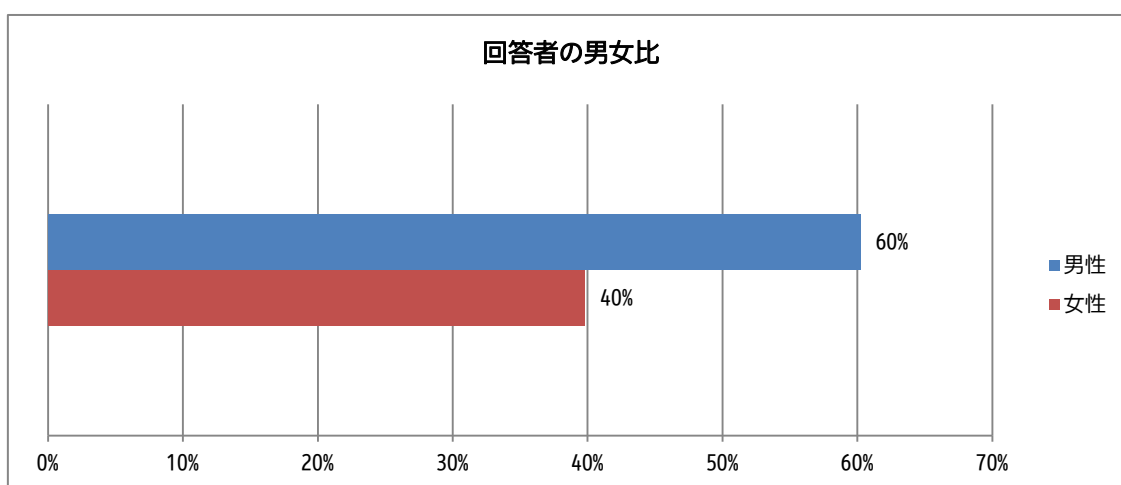
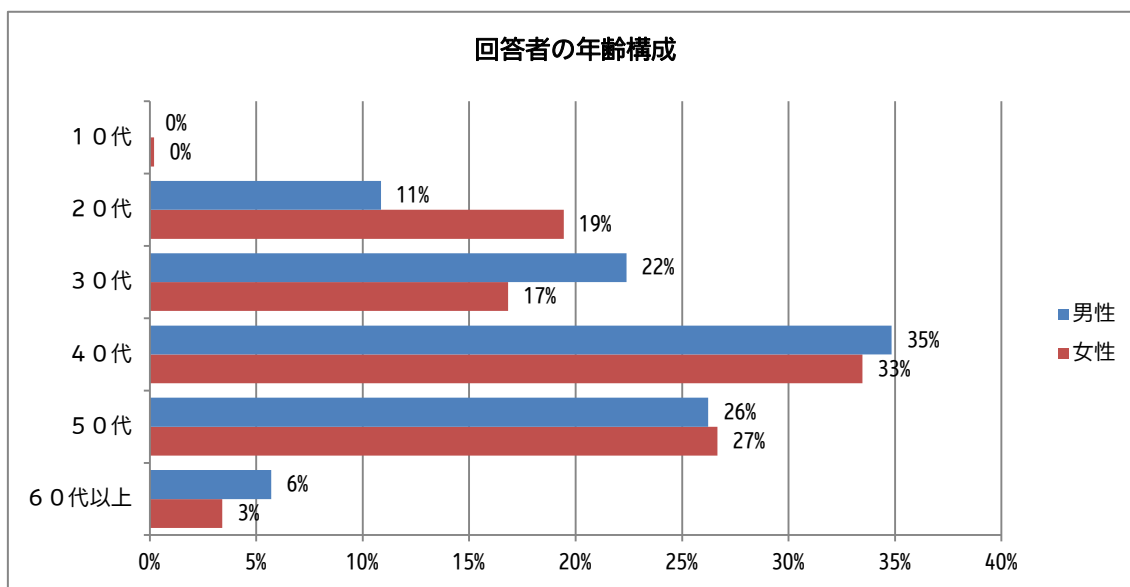
平成28年1月28日 ～ 平成28年2月5日

正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

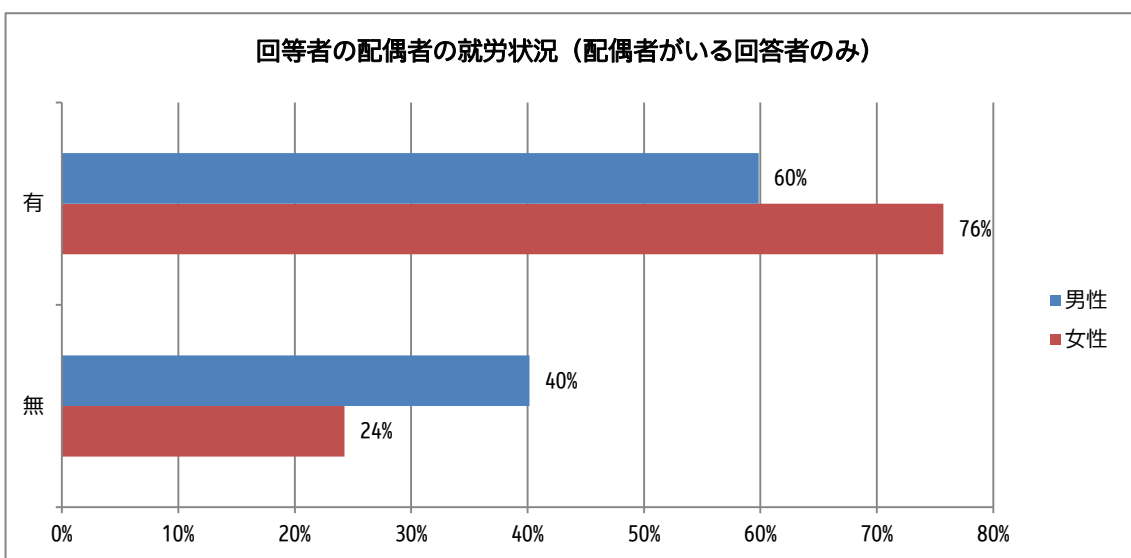
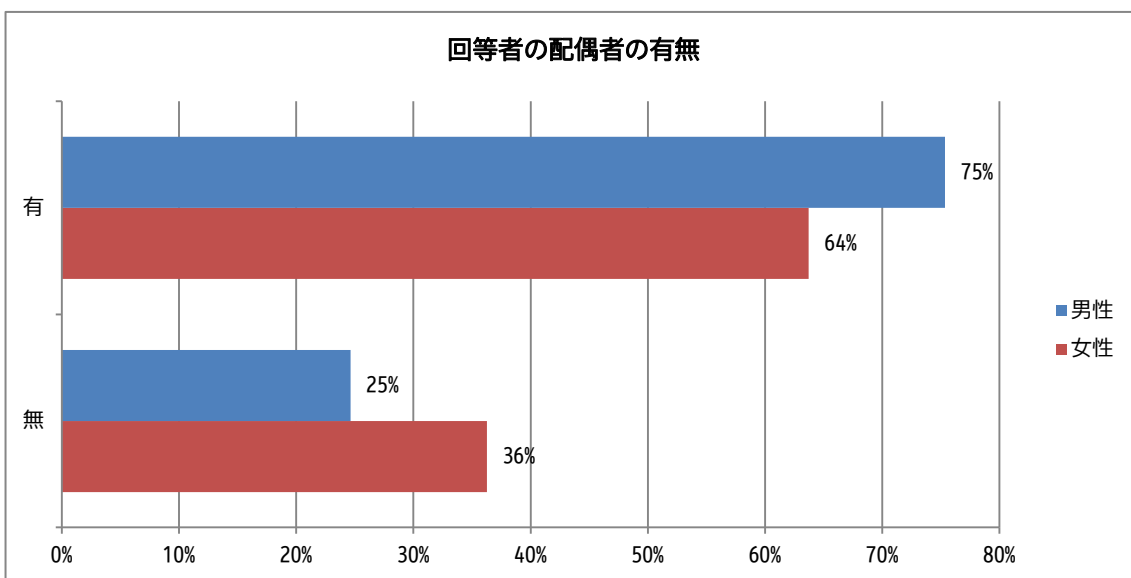
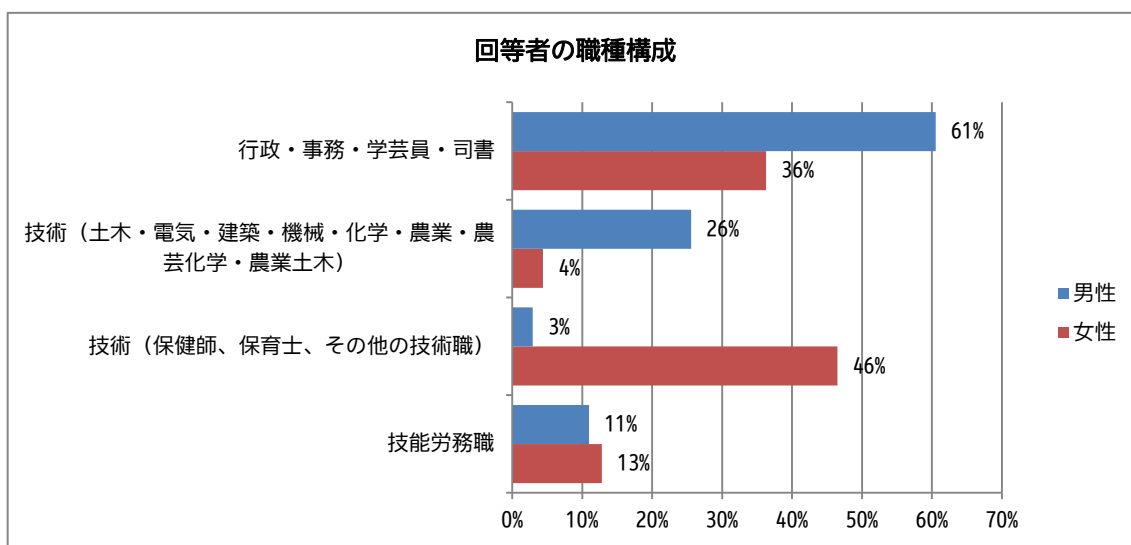
回答者の概要（回答者総数 1,254名）

属性		項目	職員数	全同等者に占める割合
性別		男	755	60.2%
		女	499	39.8%
年齢層		10代	1	0.1%
		20代	179	14.3%
		30代	253	20.2%
		40代	430	34.3%
		50代	331	26.4%
		60代	60	4.8%
職種		行政・事務・学芸員・司書	638	50.9%
		土木・電気・建築・機械・化学・農業・農芸化学・農業土木	215	17.1%
		保健師、保育士、その他の技術職	254	20.3%
		技能労務職	147	11.7%
職位		技監・部長・理事・部次長・参事	41	3.3%
		課長・主幹・課長補佐・主任主査・主任技査	212	16.9%
		係長・主任	261	20.8%
		主査・技査	329	26.2%
		主事・技師	244	19.5%
		技能労務職	140	11.2%
		再任用職員	27	2.2%
家庭状況	配偶者	有	887	70.7%
		無	367	29.3%
	子ども	有	562	44.8%
		無	692	55.2%
	介護	有	179	14.3%
		無	1075	85.7%

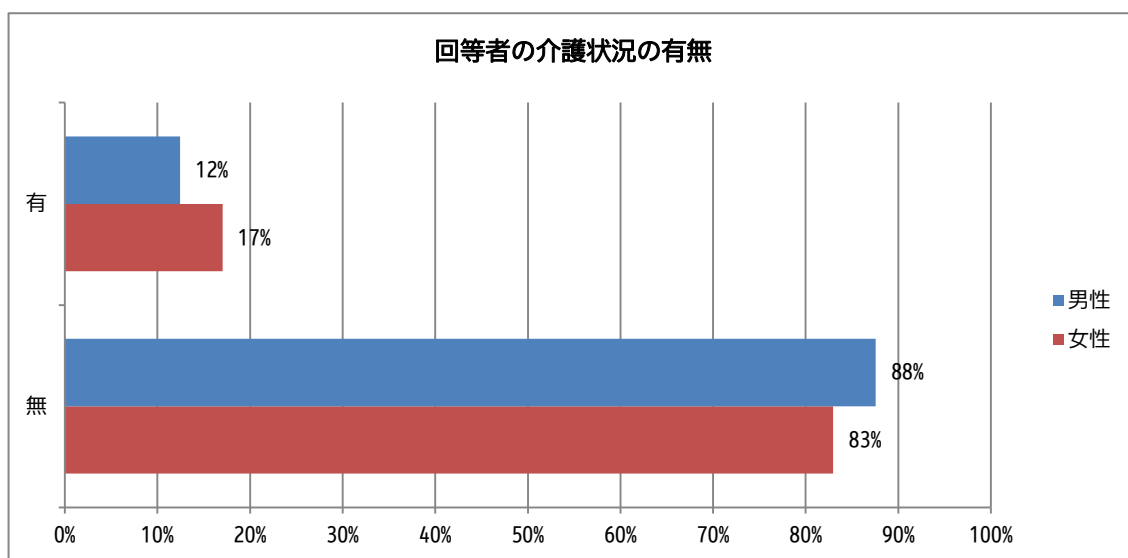
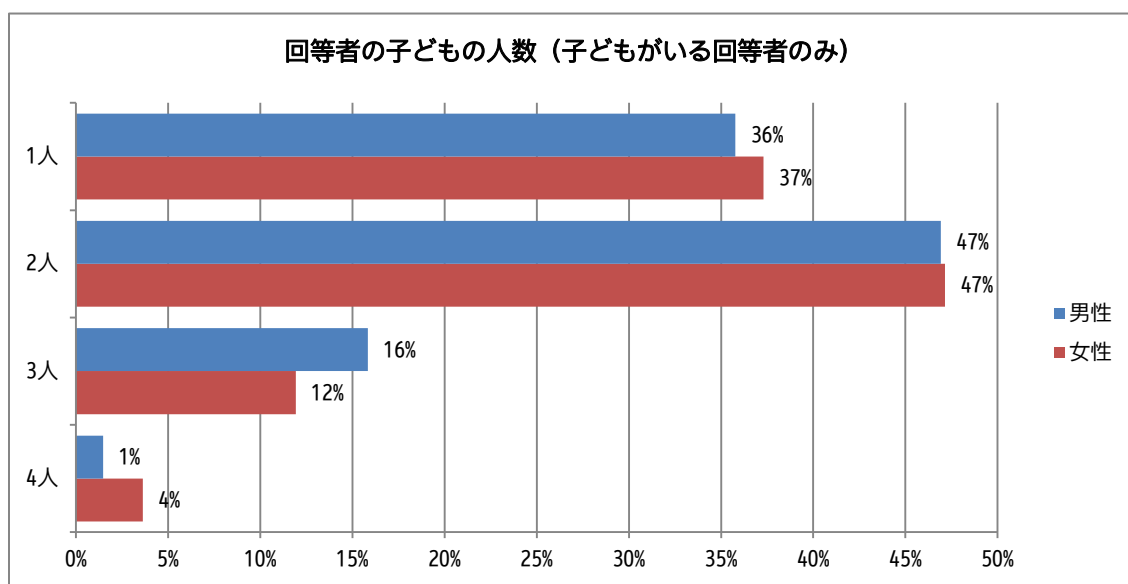
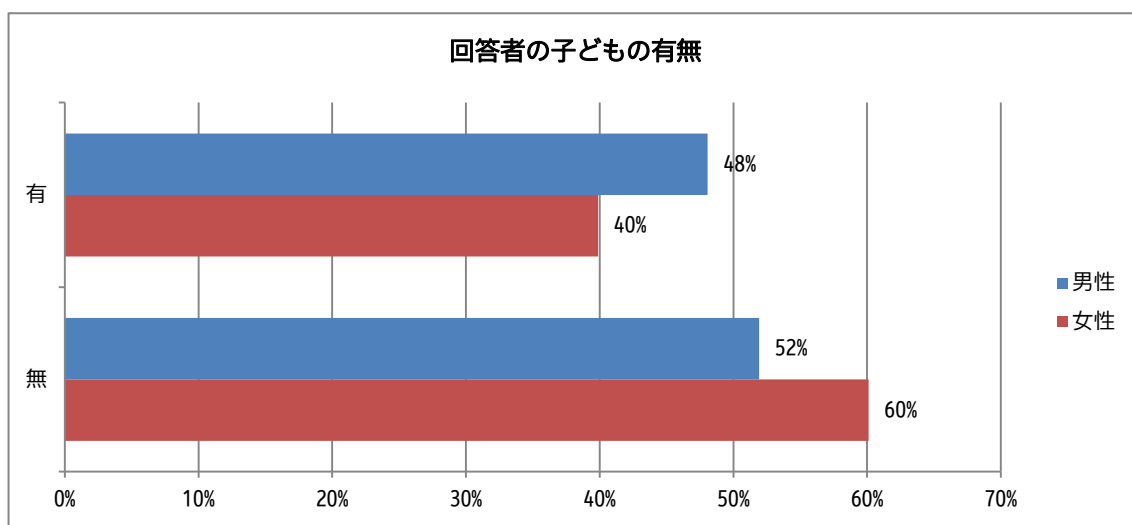
正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



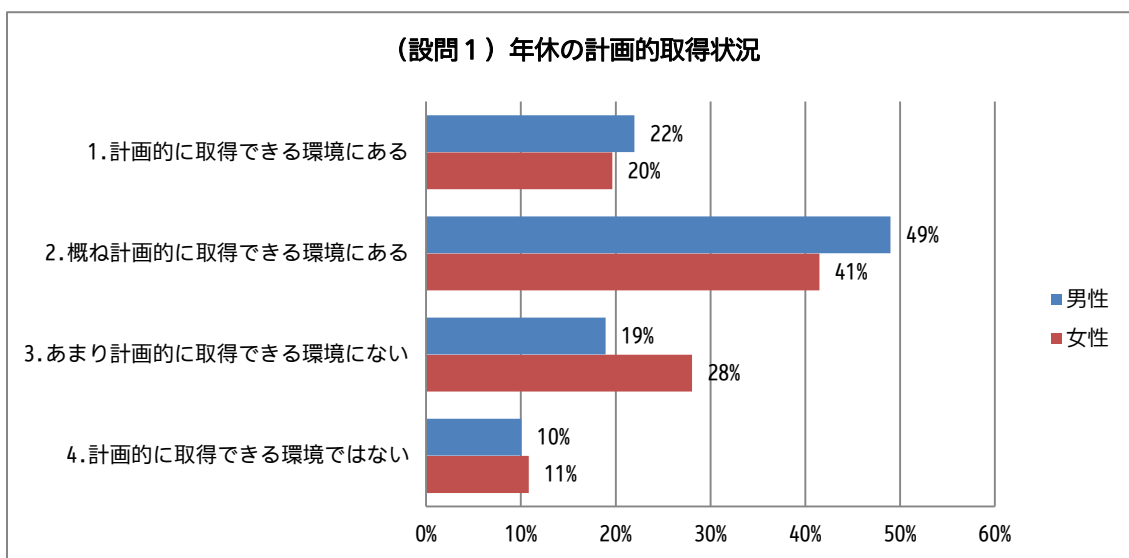
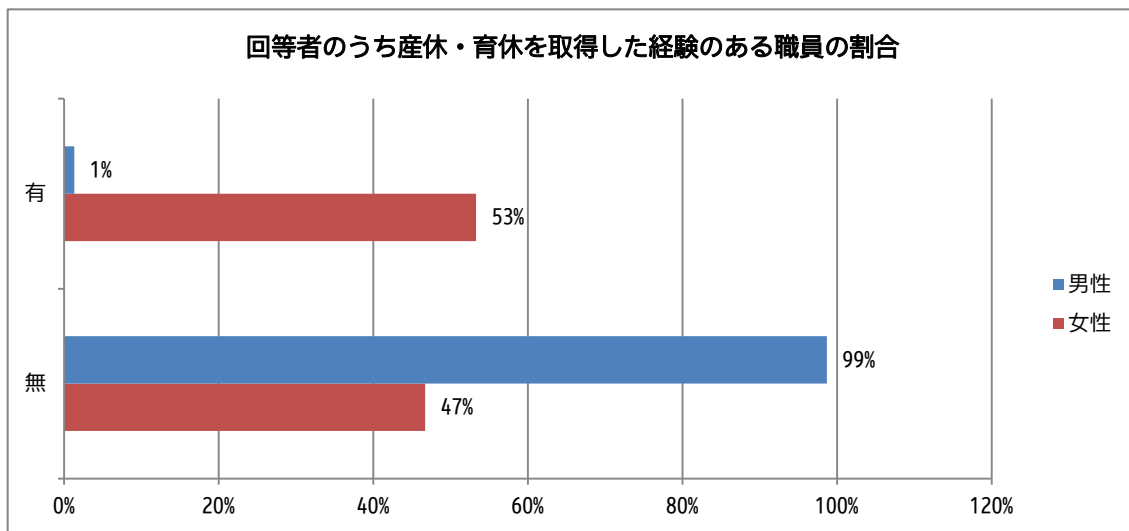
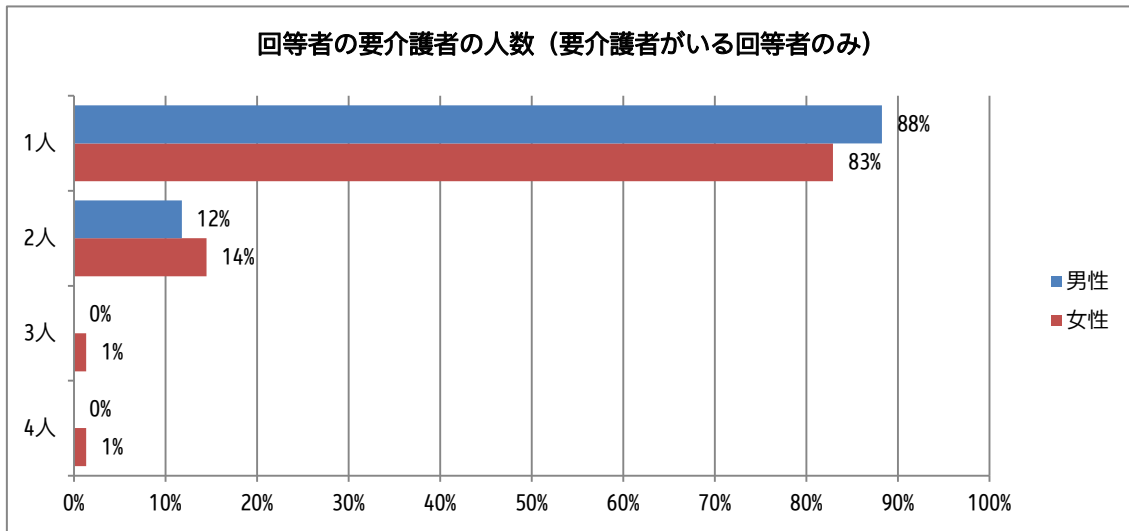
正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



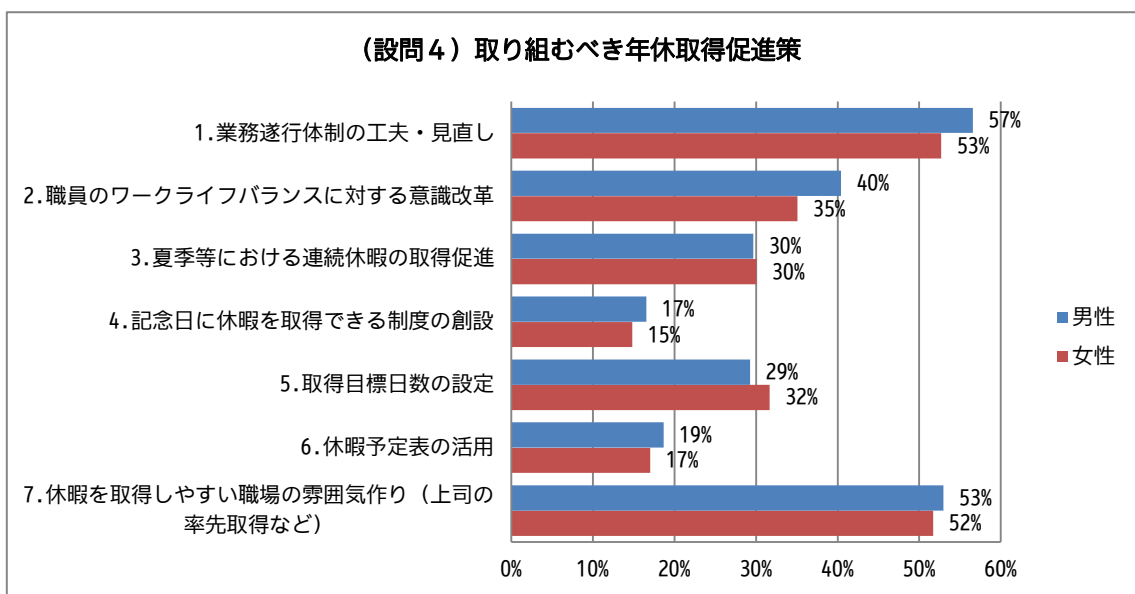
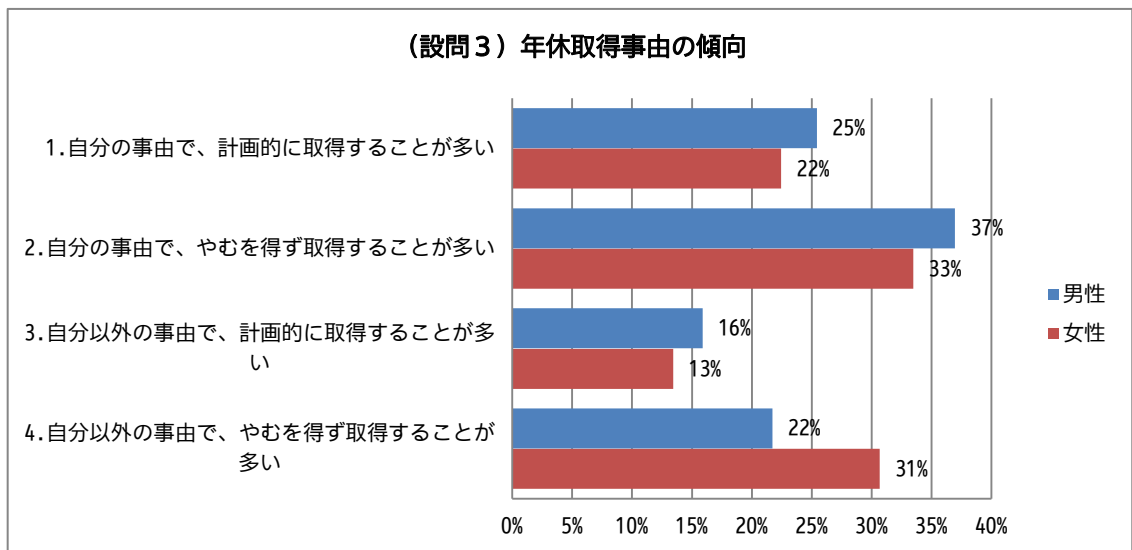
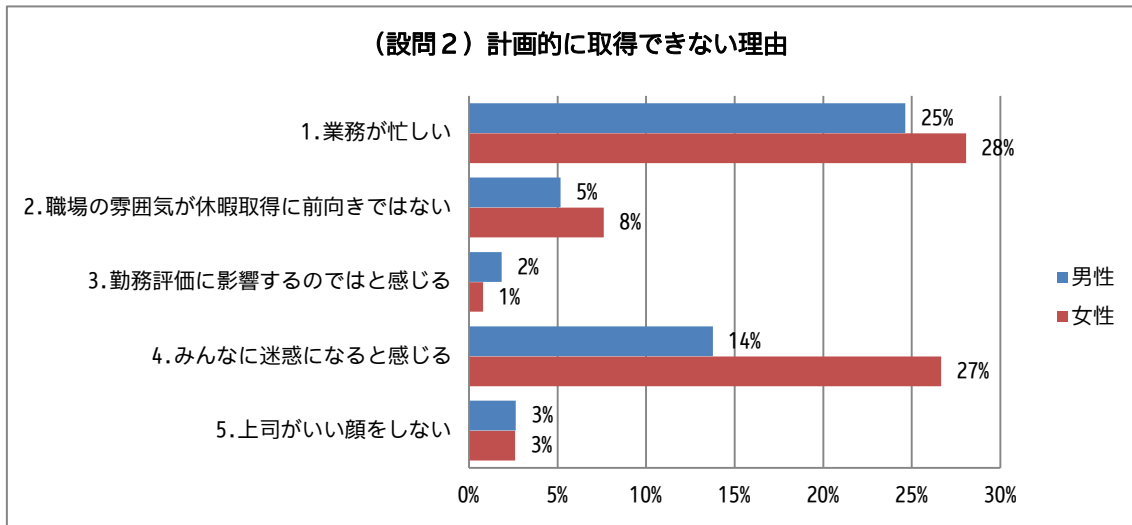
正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



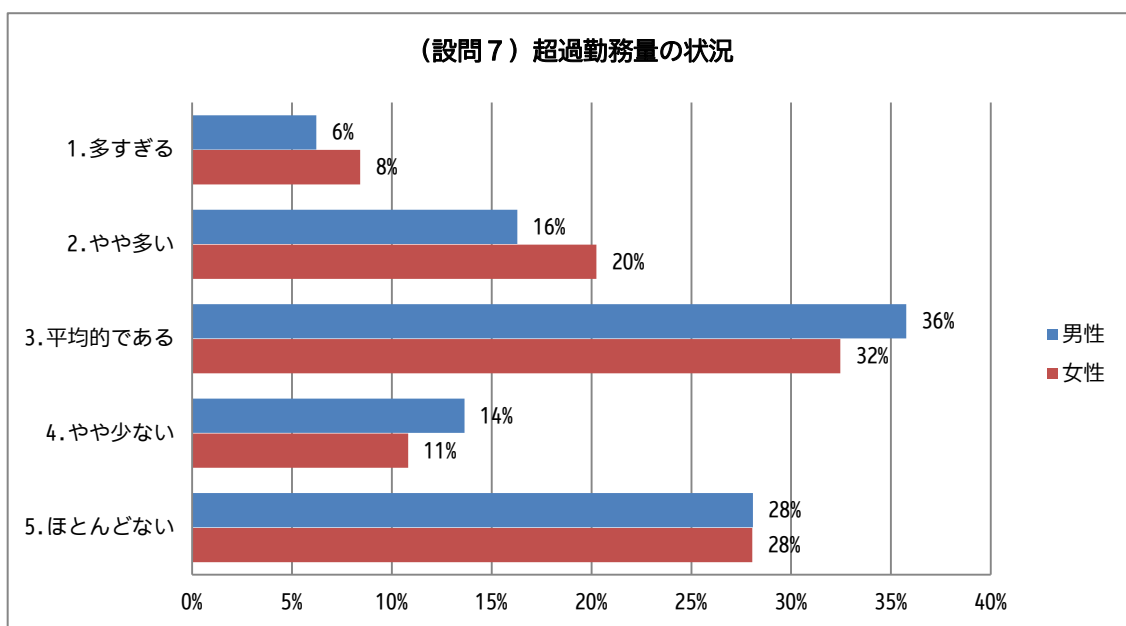
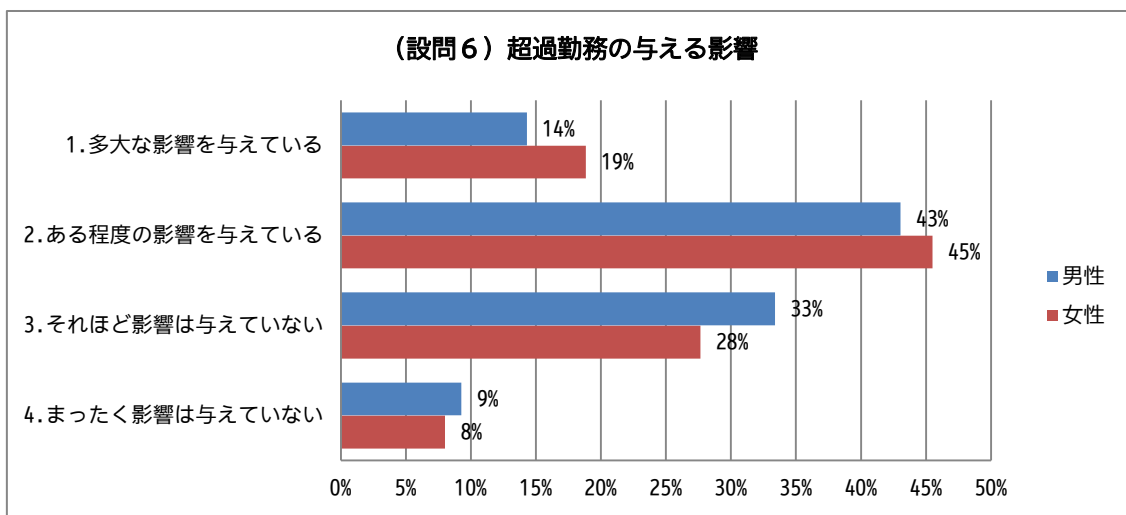
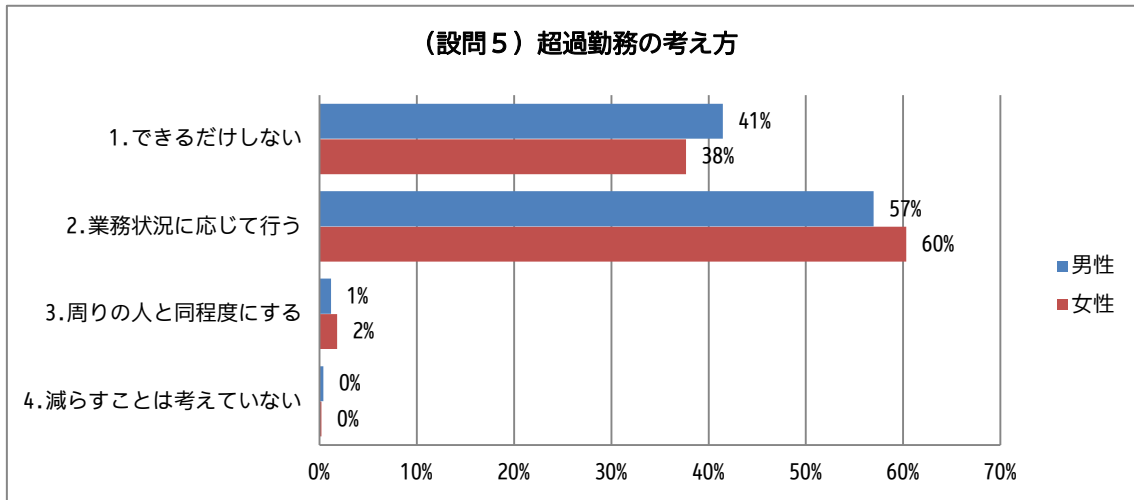
正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



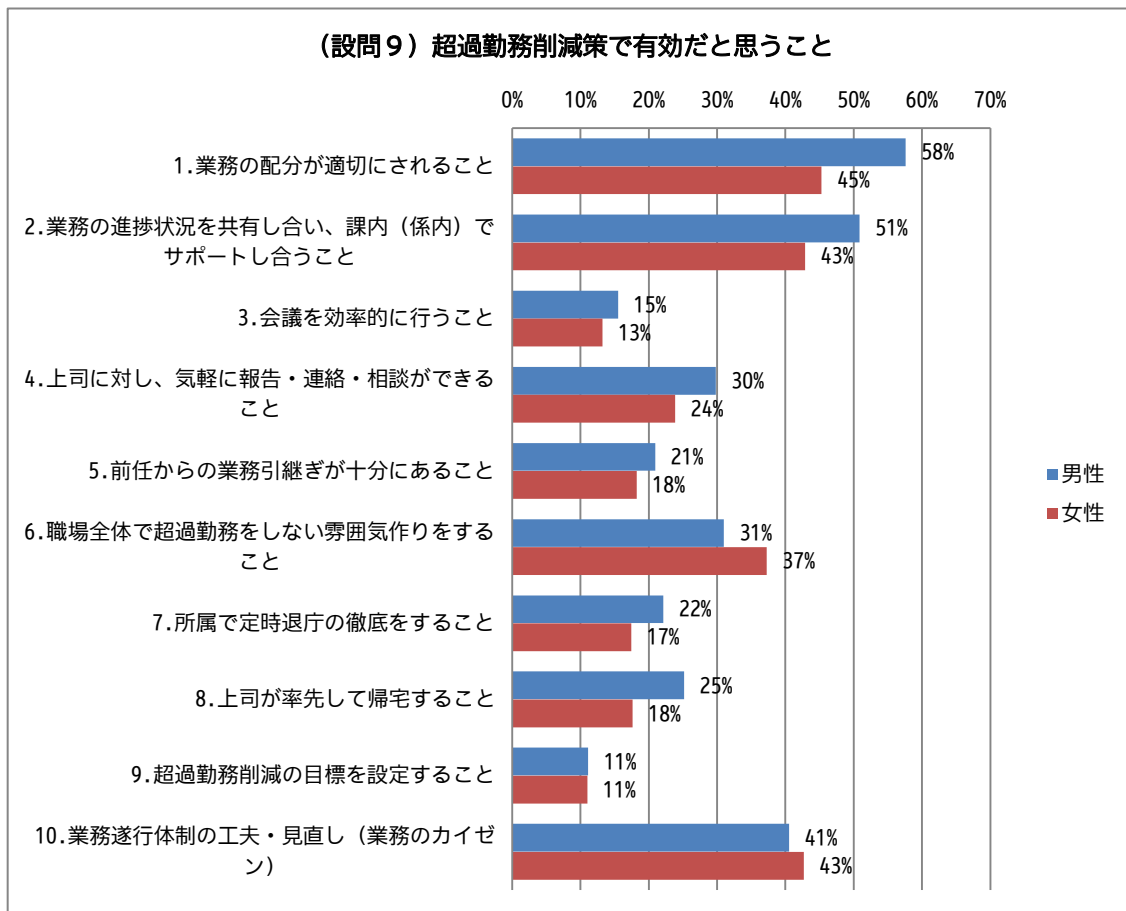
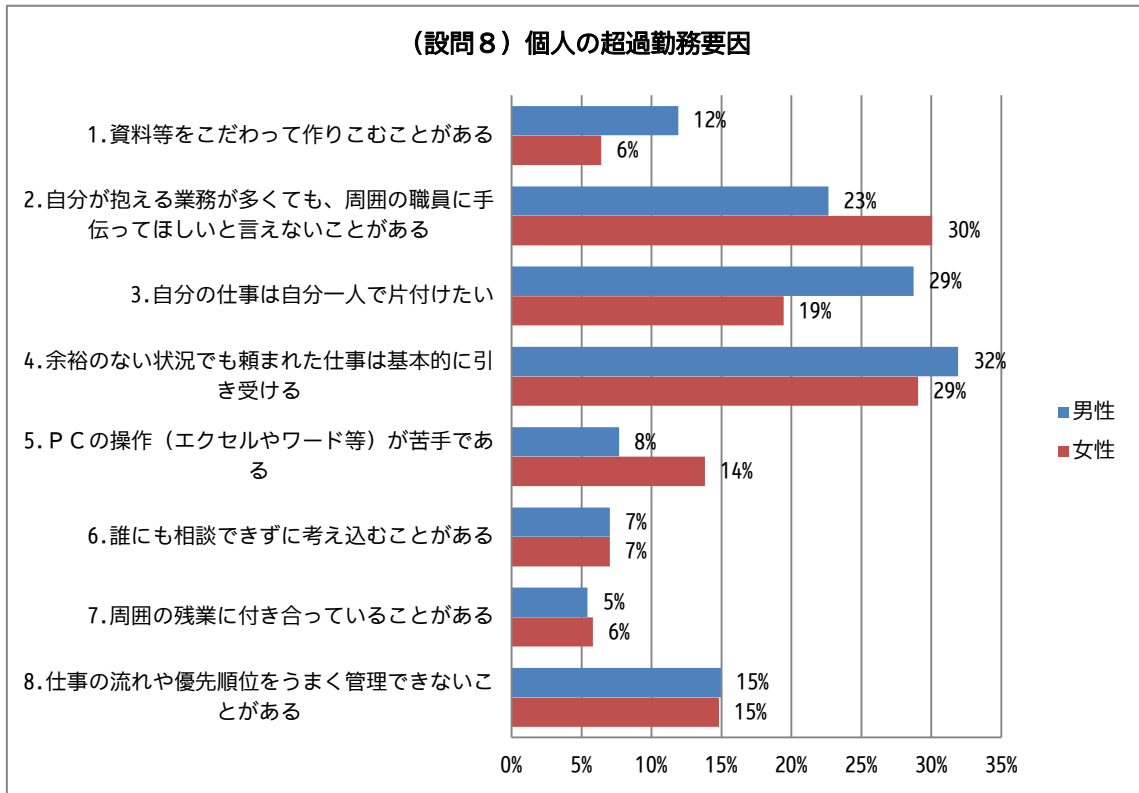
正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



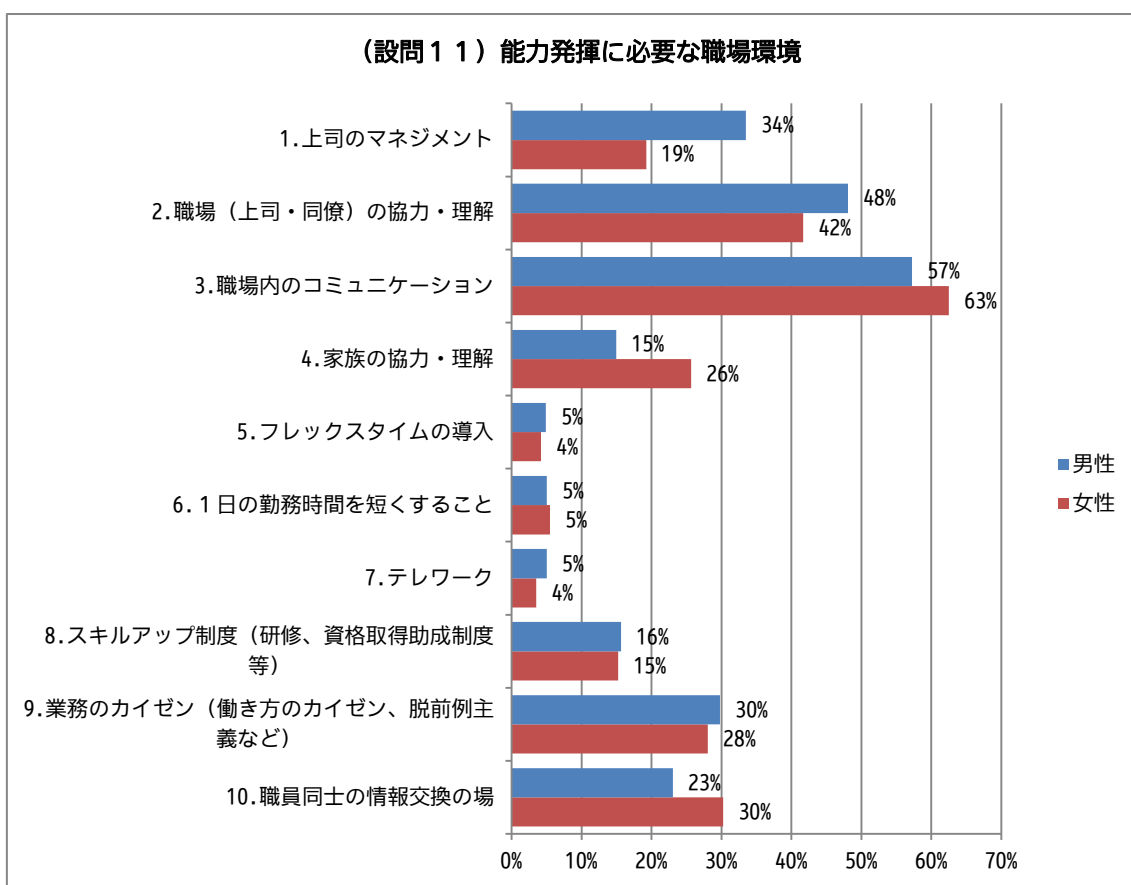
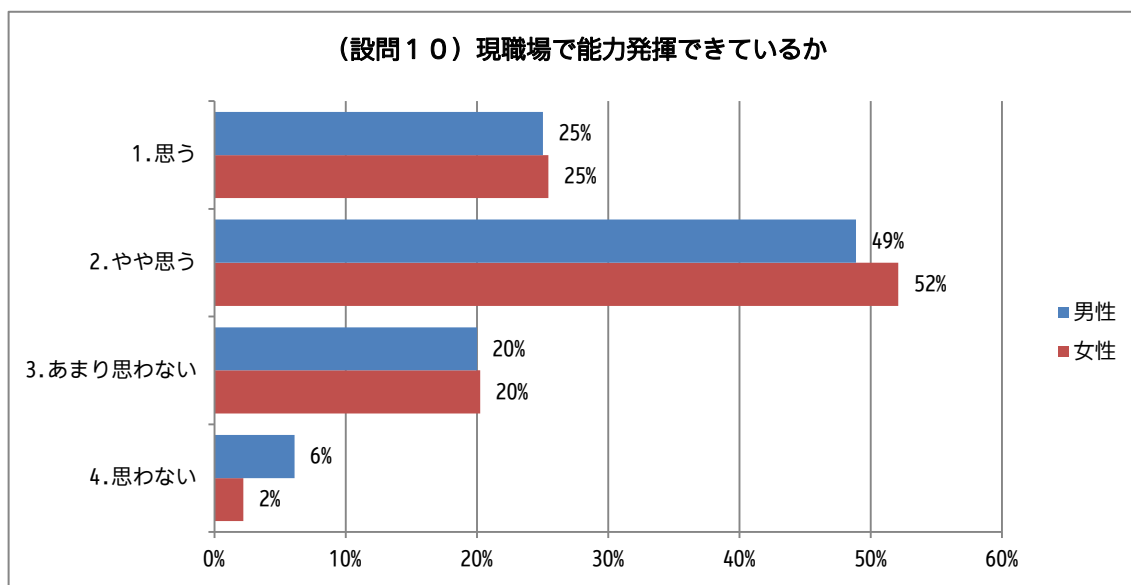
正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

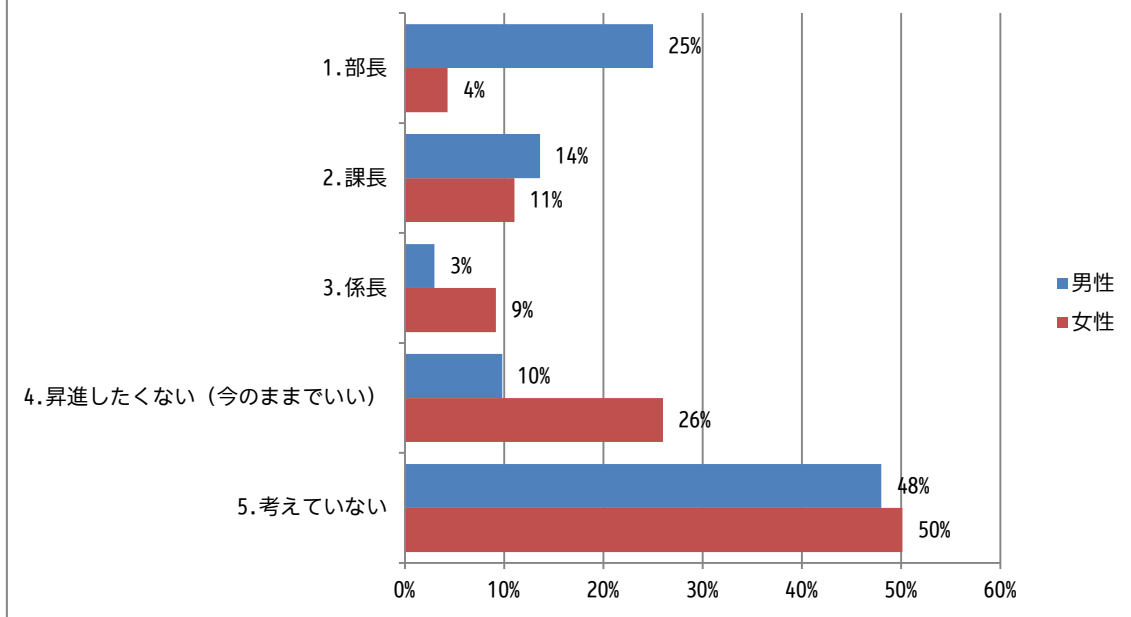


正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

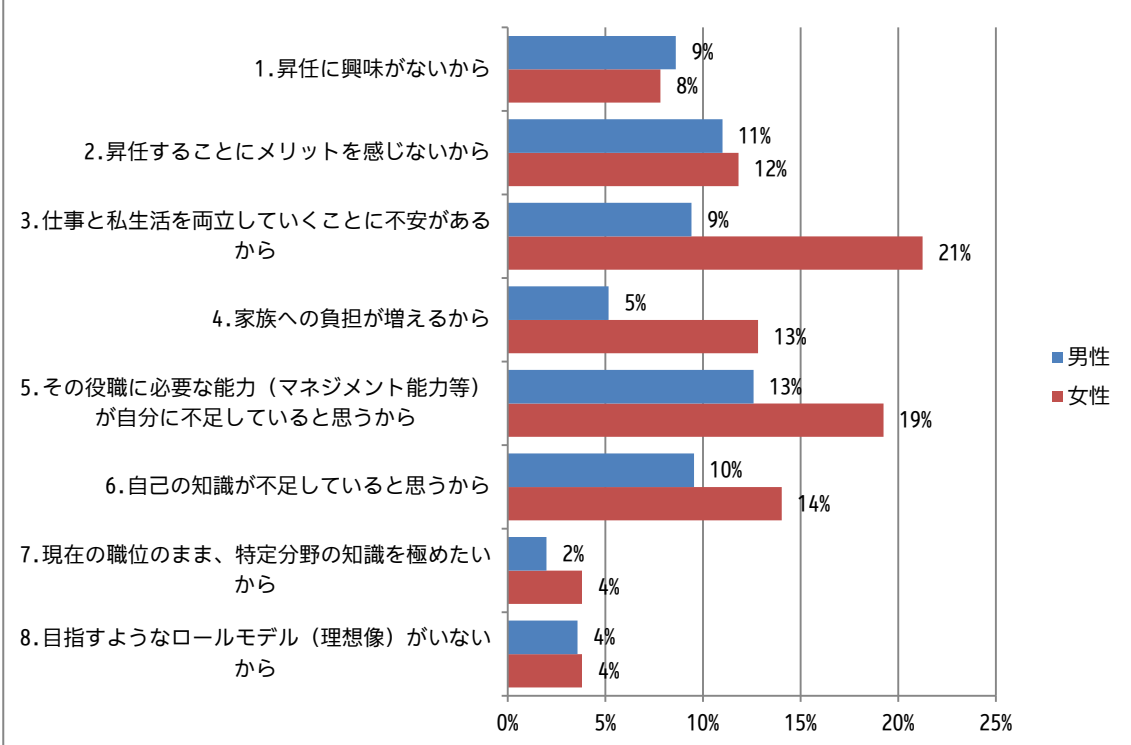


正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

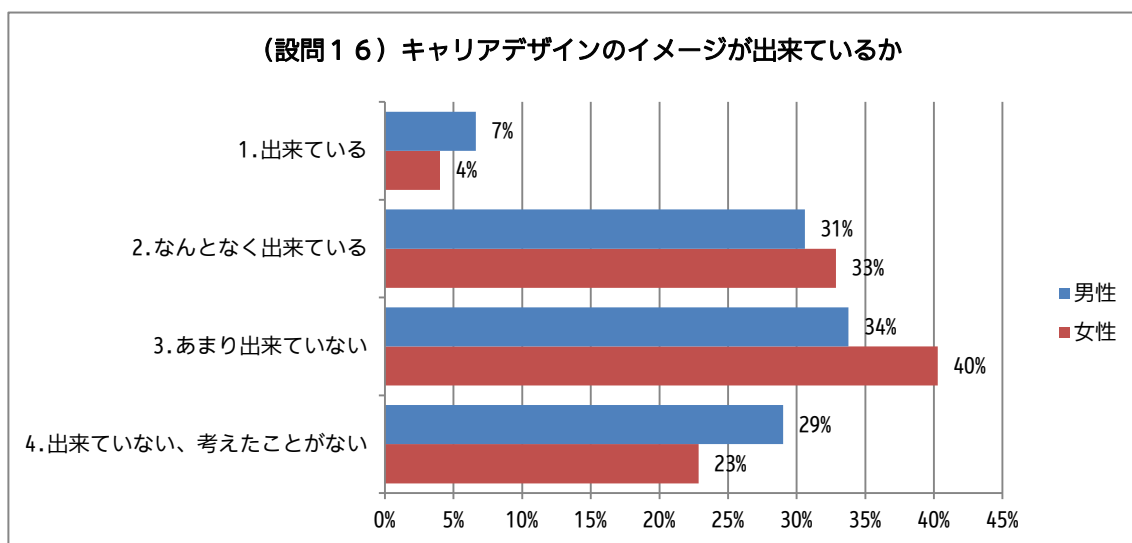
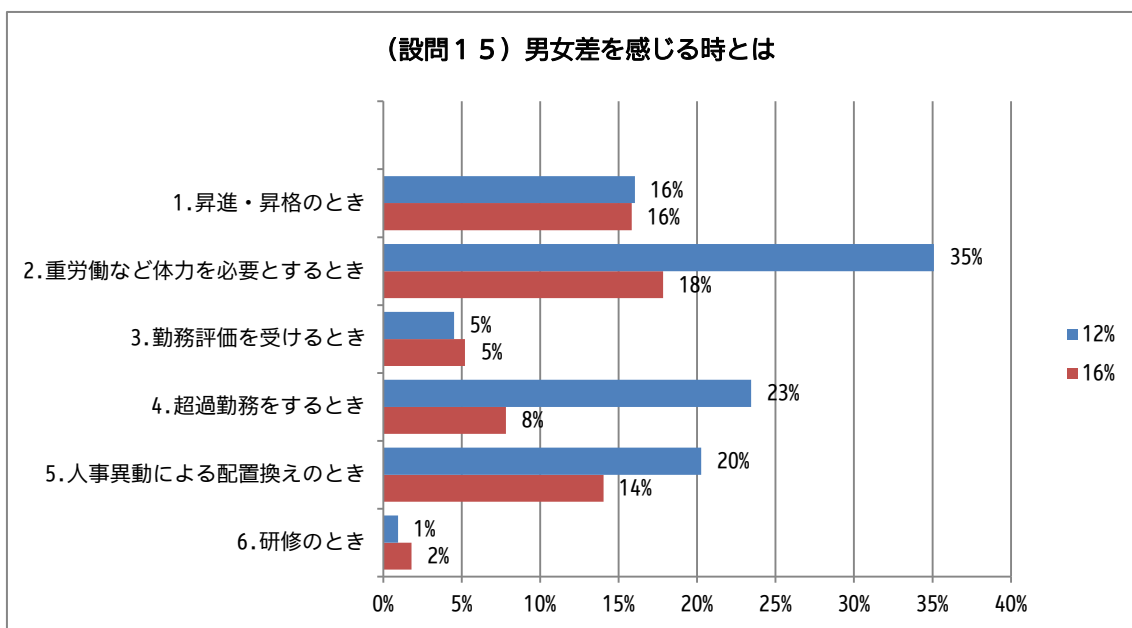
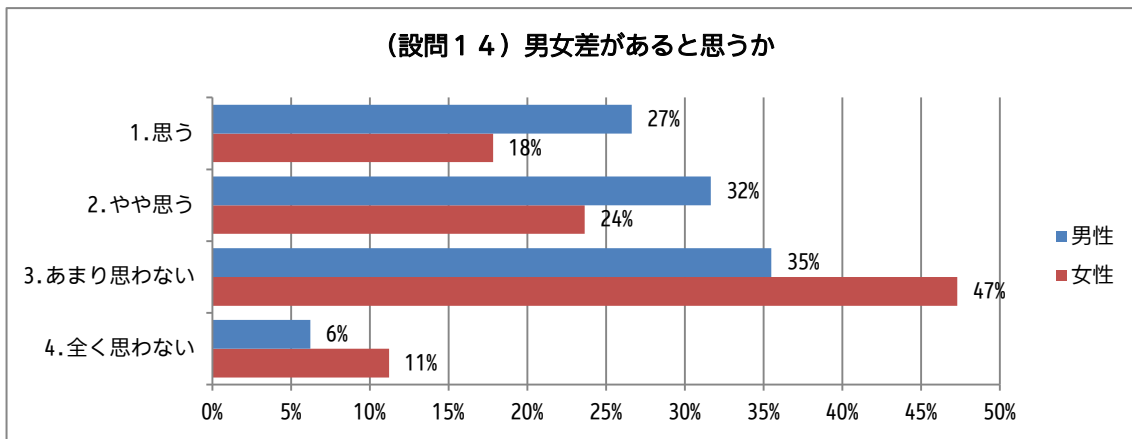
(設問12) 退職するまでに昇進したい役職(部長及び技能労務職は除く)



(設問13) 昇進したくない理由

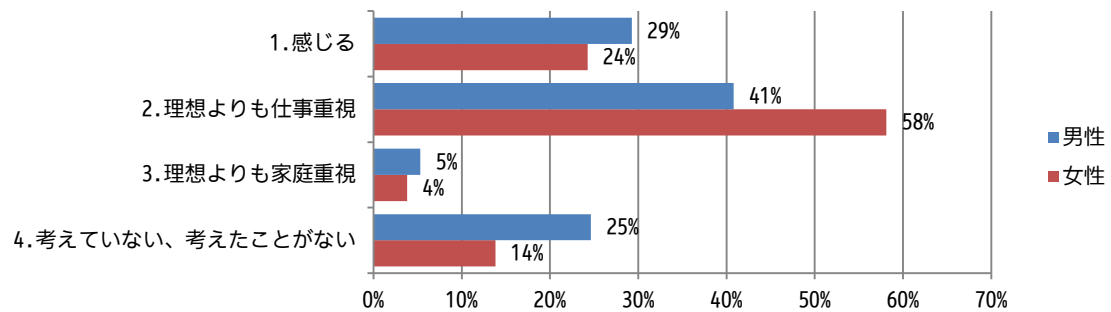


正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

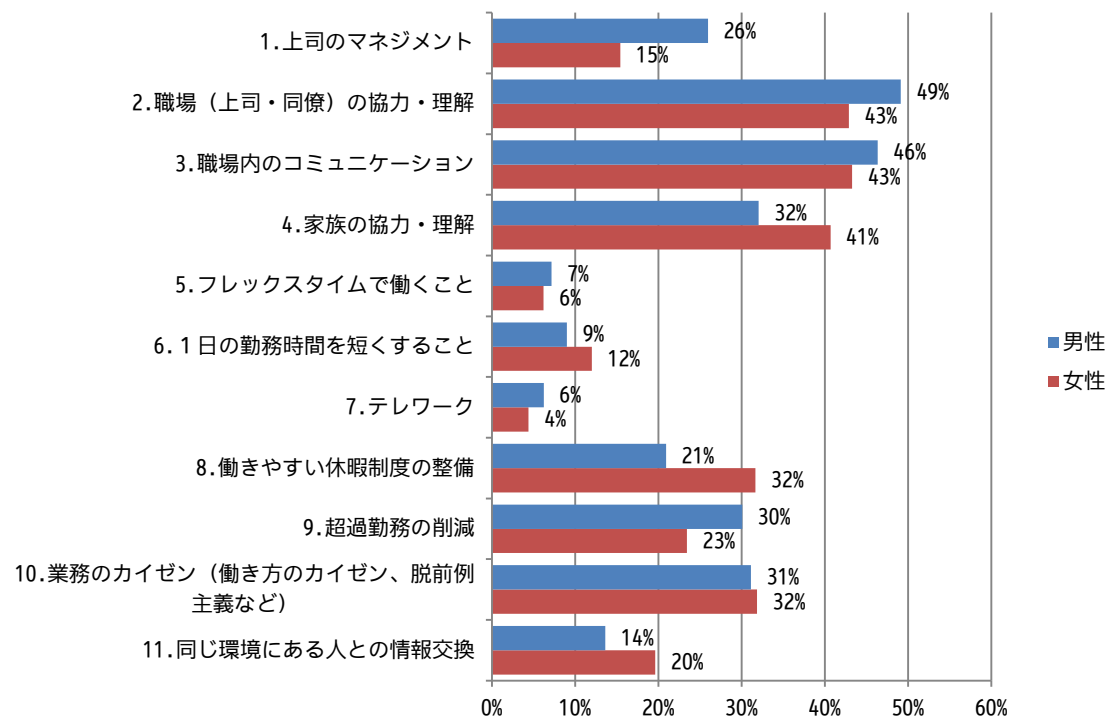


正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

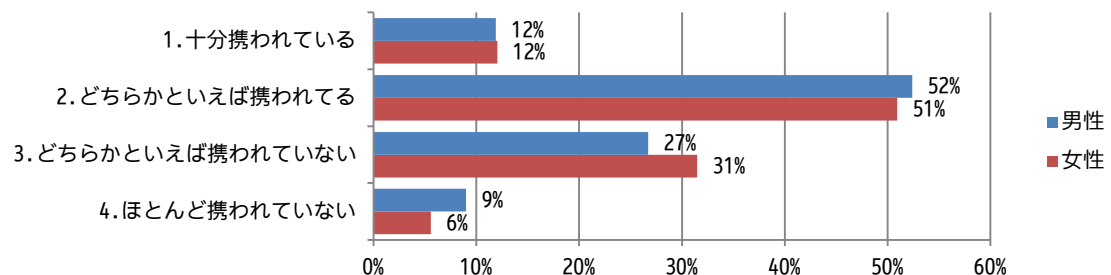
(設問 17) 仕事と家庭のバランスが取れていると感じるか



(設問 18) 理想的な仕事と家庭のバランスのために必要なこと

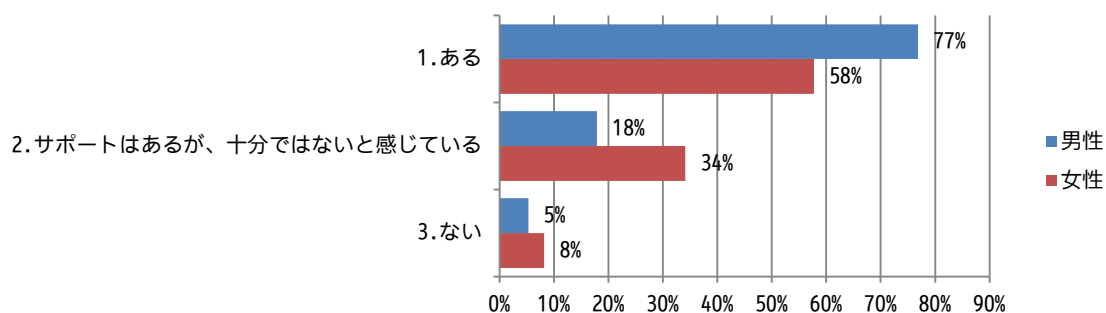


(設問 19) 育児・介護にどの程度携われているか
(育児・介護を行う対象者のみ)

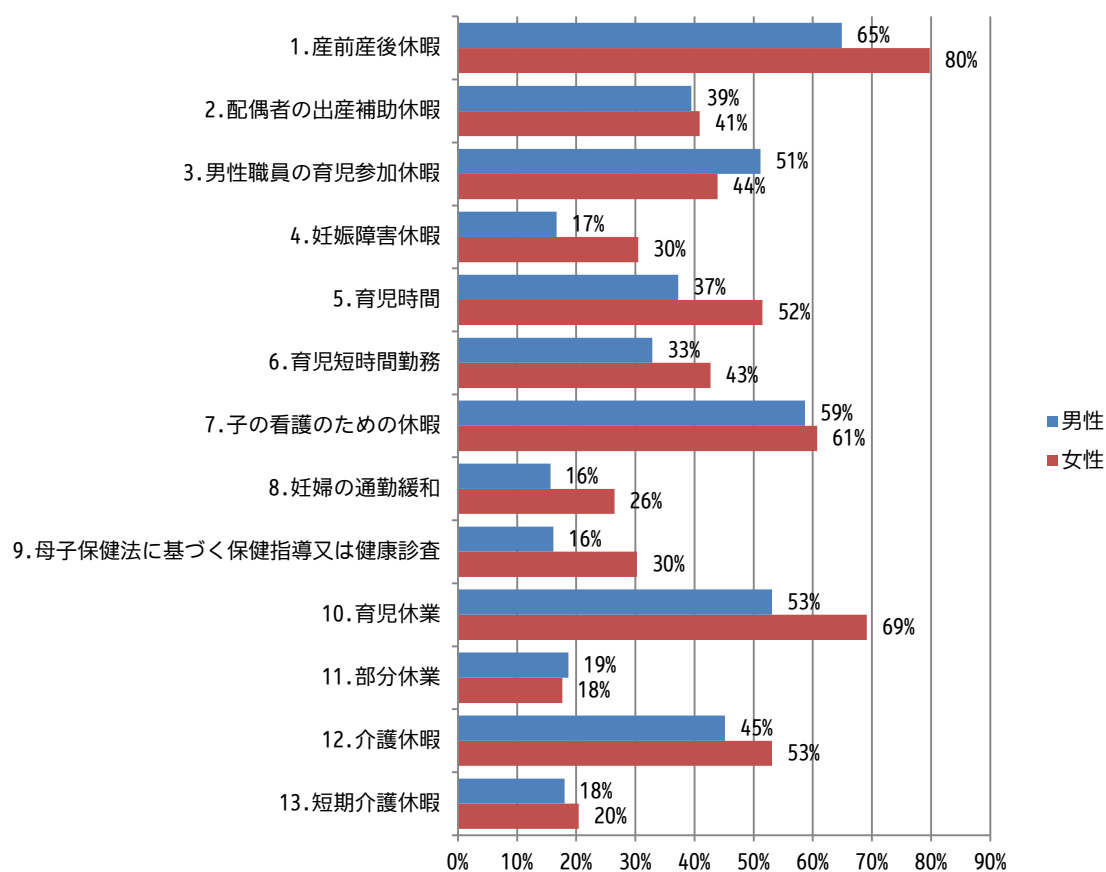


正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果

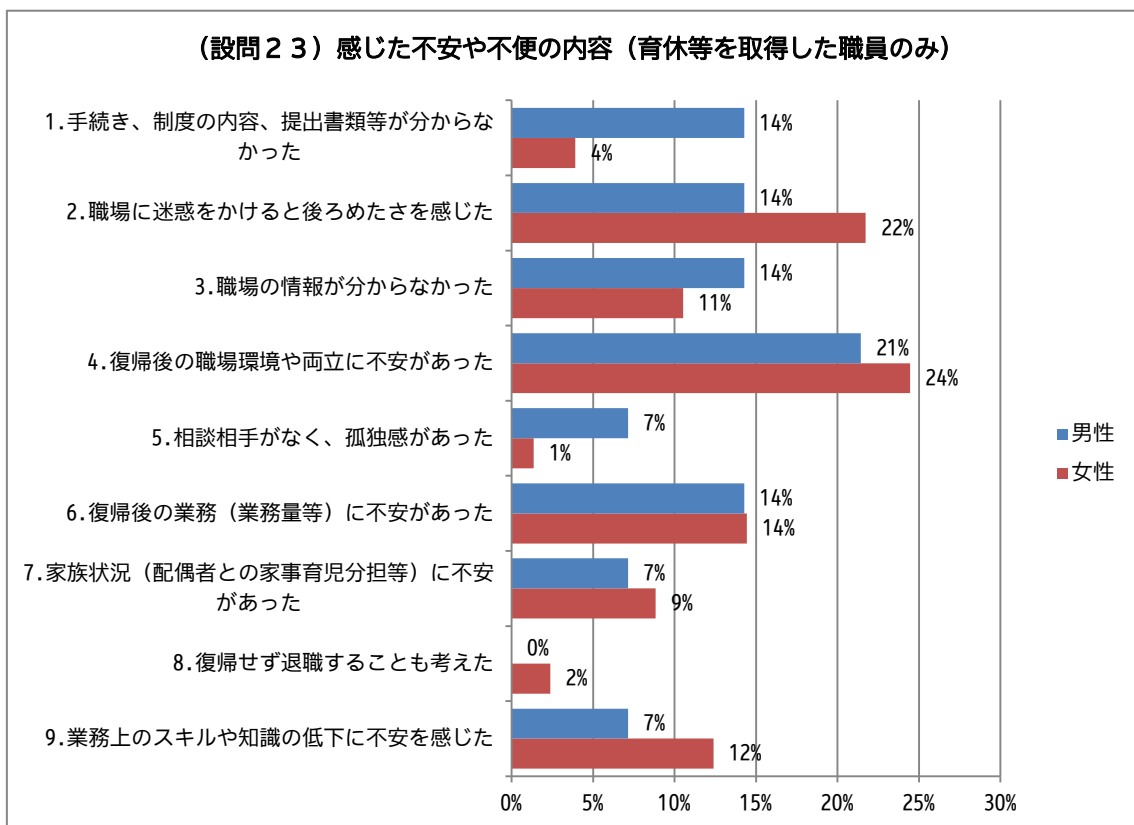
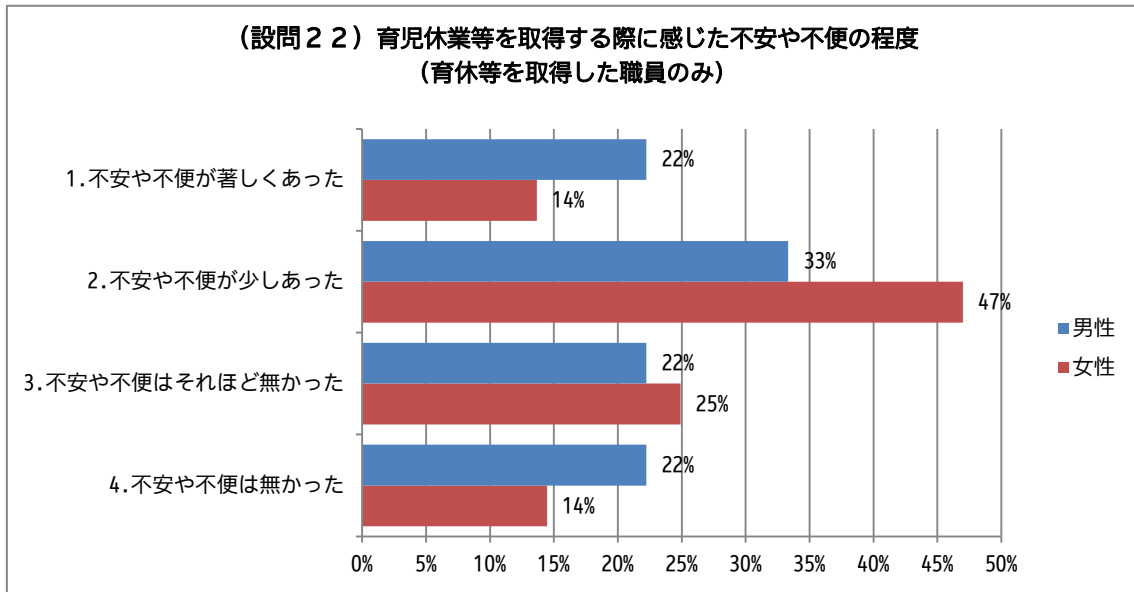
(設問 20) 育児・介護に他者のサポートがあるか



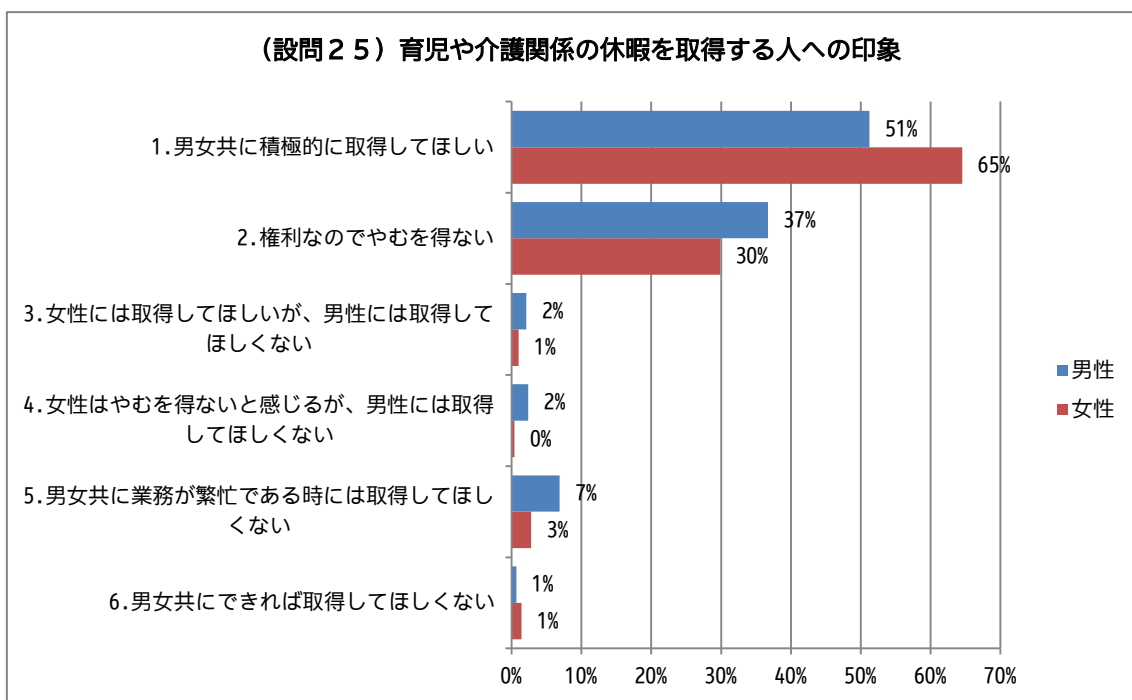
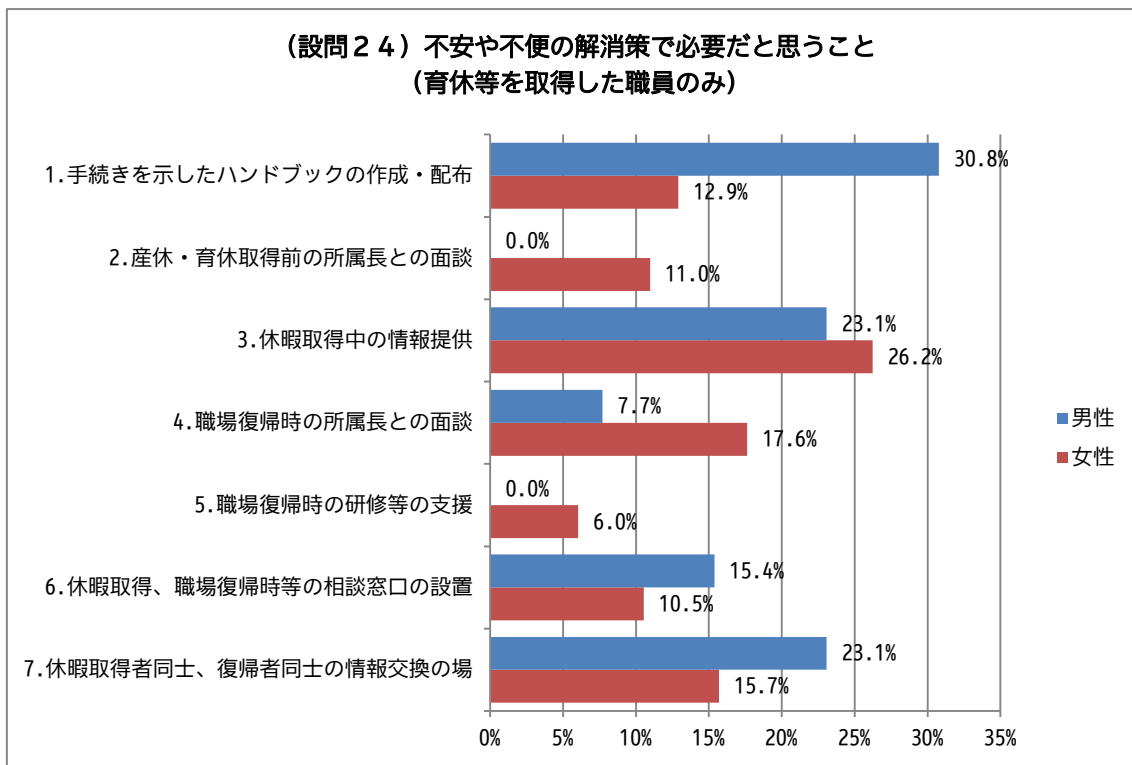
(設問 21) 休暇制度の認知状況



正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート結果



正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート調査票

(正職員、任期付職員、再任用職員用)特定事業主行動計画策定に係るアンケート

目安として、5分程度で回答できる内容です。

【注意事項】回答後の回答内容の訂正はできませんので予めご注意ください。

項目名	入力内容
年齢 必須	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上
性別 必須	☐ 男性 ☐ 女性
職名 必須	☐ 部長・理事・部次長・参事・技監 ☐ 課長・主幹・課長補佐・主任主査・主任技査 ☐ 係長・主任 ☐ 主査・技査 ☐ 主事・技師 ☐ 技能労務職 ☐ 再任用職員
職種 必須	☐ 行政・事務・学芸員・司書 ☐ 技術(土木・電気・建築・機械・化学・農業・農芸化学・農業土木) ☐ 技術(保健師、保育士、その他の技術職) ☐ 技能労務職
配偶者の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
配偶者の就労状況の有無	☐ 有 ☐ 無
子どもの有無(※18歳未満) 必須	☐ 有 ☐ 無
子どもの人数(※18歳未満)	[半角数字]
介護を要する家族の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
介護を要する家族の人数	[半角数字]
産休・育休を取得した経験の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
設問1 必須	あなたの現在の職場は、年次有給休暇を計画的に取得できる職場環境にありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート調査票

設問2	前の質問で「あまり計画的に取得できる環境にない」「計画的に取得できる環境ではない」と答えた方に伺います。計画的に取得できる環境にないと感じるのはどうしてですか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 業務が忙しい ☐ 職場の雰囲気が休暇取得に前向きではない ☐ 勤務評価に影響するのではと感じる ☐ みんなに迷惑になると感じる ☐ 上司がいい顔をしない
設問3 必須	あなたの年次有給休暇の取得事由の傾向について、以下のうち、一番自分の傾向に近いものを1つ選んでください。
設問4	年次有給休暇取得促進のために取り組むべきことは何だと思いますか。当てはまると思うものを全てチェックしてください。 ☐ 業務遂行体制の工夫・見直し ☐ 職員のワークライフバランスに対する意識改革 ☐ 夏季等における連続休暇の取得促進 ☐ 記念日に休暇を取得できる制度の創設 ☐ 取得目標日数の設定 ☐ 休暇予定表の活用 ☐ 休暇を取得しやすい職場の雰囲気作り(上司の率先取得など)
設問5 必須	あなたの超過勤務についての考え方として、当てはまるもの(最も近いもの)を1つ選んでください。
設問6 必須	あなたの超過勤務は、家庭やプライベートの時間にどの程度の影響を与えていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問7 必須	あなたの超過勤務についてどのように感じていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問8	超過勤務の要因について、あなた自身の傾向として当てはまるものがあればチェックしてください。(複数選択可) ☐ 資料等をこだわって作りこむことがある ☐ 自分が抱える業務が多くても、周囲の職員に手伝ってほしいと言えないことがある ☐ 自分の仕事は自分一人で片付けたい ☐ 余裕のない状況でも頼まれた仕事は基本的に引き受ける ☐ PCの操作(エクセルやワード等)が苦手である ☐ 誰にも相談できずに考え込むことがある ☐ 周囲の残業に付き合っていることがある ☐ 仕事の流れや優先順位をうまく管理できないことがある
	超過勤務の削減についてあなたが効果的だと思うものを全てにチェックしてください。 ☐ 業務の配分が適切にされること ☐ 業務の進捗状況を共有し合い、課内(係内)でサポートし合うこと ☐ 会議を効率的に行うこと

正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート調査票

設問9	☐ 上司に対し、気軽に報告・連絡・相談ができること ☐ 前任からの業務引継ぎが十分にあること ☐ 職場全体で超過勤務をしない雰囲気作りをすること ☐ 所属で定時退庁の徹底をすること ☐ 上司が率先して帰宅すること ☐ 超過勤務削減の目標を設定すること ☐ 業務遂行体制の工夫・見直し(業務のカイゼン)
設問10 必須	現在の職場は自分の能力を発揮できていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。 _____
設問11	現在の職場で自分が能力を発揮できるようにするためには、職場環境として何が必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 上司のマネジメント ☐ 職場(上司・同僚)の協力・理解 ☐ 職場内のコミュニケーション ☐ 家族の協力・理解 ☐ フレックスタイムの導入(コアタイムの時間を除き、1日の勤務時間を柔軟に変更できる) ☐ 1日の勤務時間を短くすること(例:半日勤務や6時間勤務等) ☐ テレワークにより、自宅で仕事ができること ☐ スキルアップ制度(研修、資格取得助成制度等) ☐ 業務のカイゼン(働き方のカイゼン、脱前例主義など) ☐ 職員同士の情報交換の場(同世代、同じ環境にある人同士のコミュニティなど)
設問12	あなたの現在の昇任希望について伺います。今後あなたが退職するまでに昇進したい役職について当てはまるものを1つ選んでください。(部長職及び技能労務職の方は除く) _____
設問13	前述の質問で「課長」又は「係長」を選択した方に伺います。その役職以上昇進したくない理由は何ですか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 昇任に興味がないから ☐ 昇任することにメリットを感じないから ☐ 仕事と私生活を両立していくことに不安があるから ☐ 家族への負担が増えるから ☐ その役職に必要な能力(マネジメント能力等)が自分に不足していると思うから ☐ 自己の知識が不足していると思うから ☐ 現在の職位のまま、特定分野の知識を極めたいから ☐ 目指すようなロールモデル(理想像)がないから
設問14 必須	仕事をする中で男女差を感じるときがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。 _____
設問15	前の質問で思う・やや思うと回答した方に伺います。どのような時に男女差を感じますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 昇進・昇格のとき ☐ 重労働など体力を必要とするとき ☐ 勤務評価を受けるとき ☐ 超過勤務をするとき

正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート調査票

	☐ 人事異動による配置換えのとき ☐ 研修のとき ☐ 軽易な作業のとき(お茶くみ、コピー取りなど)
設問16 必須	あなたは自分のキャリアデザイン(どういった役職まで昇進してどういった仕事に取り組みたいか等)、将来像についてイメージすることができていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問17 必須	自分の理想とする仕事と家庭のバランスがとれていると感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問18	自分の理想とする仕事と家庭のバランスをとるためには何が必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 上司のマネジメント ☐ 職場(上司・同僚)の協力・理解 ☐ 職場内のコミュニケーション ☐ 家族の協力・理解 ☐ フレックスタイムで働くこと(コアタイムの時間を除き、1日の勤務時間を柔軟に変更できる) ☐ 1日の勤務時間を短くすること(例:半日勤務や6時間勤務等) ☐ テレワークにより、自宅で仕事ができること ☐ 働きやすい休暇制度の整備(育児時間、育児短時間勤務、介護休暇等) ☐ 超過勤務の削減 ☐ 業務のカイゼン(働き方のカイゼン、脱前例主義など) ☐ 同じ環境にある人との情報交換(同世代、同じ環境にある人同士のコミュニティなど)
設問19	子ども又は要介護者を持つ方に伺います。 あなたは、子ども又は要介護者に対してどの程度携われていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問20	子ども又は要介護者を持つ方に伺います。 育児、家事、介護において自分以外の人のサポートはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問21	以下の休暇制度について、制度の内容(取得可能対象者・取得可能日数など)を知っているものに全てチェックしてください。 ☐ 産前産後休暇 ☐ 配偶者の出産補助休暇 ☐ 男性職員の育児参加休暇 ☐ 妊娠障害休暇 ☐ 育児時間 ☐ 育児短時間勤務 ☐ 子の看護のための休暇 ☐ 妊婦の通勤緩和 ☐ 母子保健法に基づく保健指導又は健康診査 ☐ 育児休業 ☐ 部分休業 ☐ 介護休暇

正職員、任期付職員、再任用職員のアンケート調査票

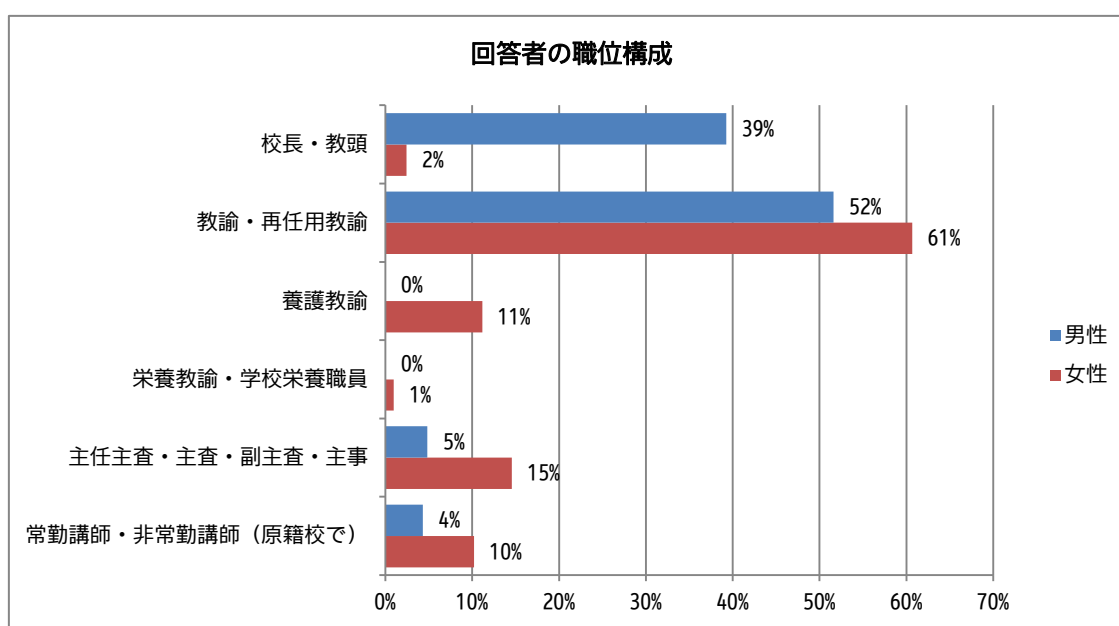
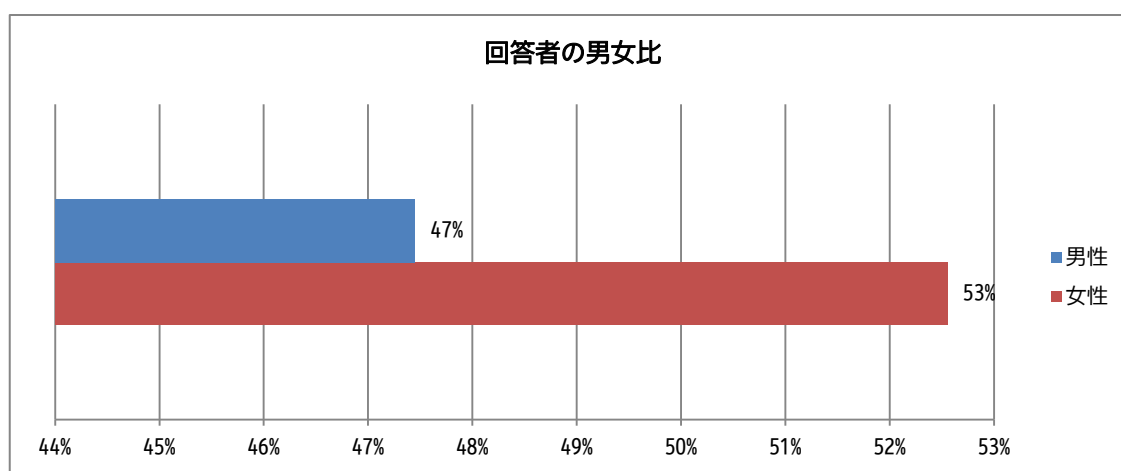
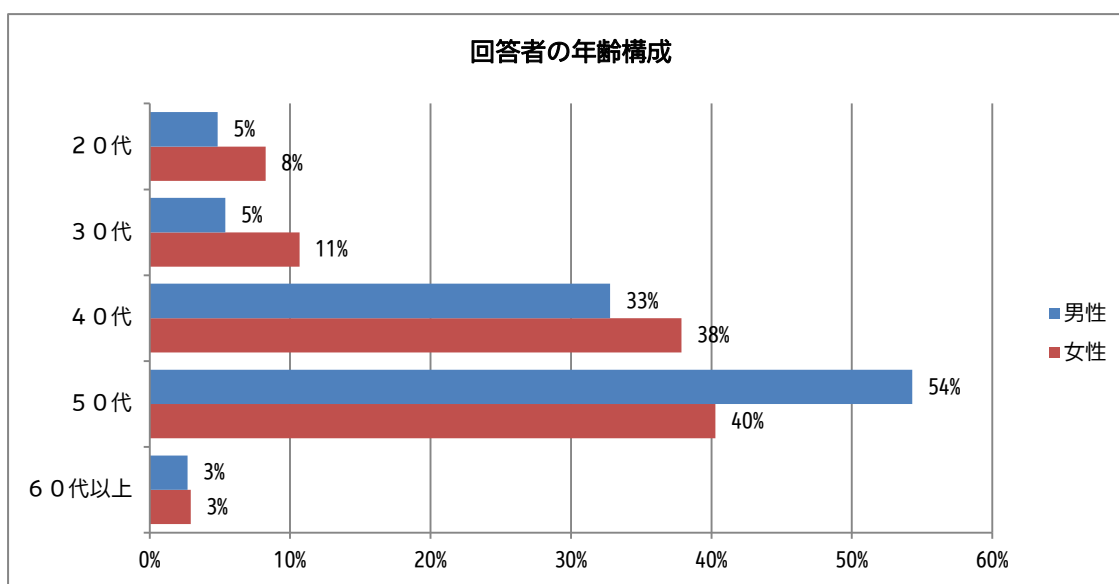
	☐ 短期介護休暇
設問22	産前産後休暇、育児休業を取得したことのある方へ伺います。あなたは職場復帰をするまでの間、不安や不便をどの程度感じましたか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問23	前の質問で、不安や不便はそれほど無かった・不安や不便が少しあった・不安や不便が著しくあったと回答した方へ伺います。どういったことに不安や不便を感じましたか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 産休及び育休の取得・復帰の手続きについて、制度の内容や提出書類等が分からなかった ☐ 産休及び育休の取得にあたり、職場に迷惑をかけてしまうと後ろめたさを感じた ☐ 休暇・休職中は職場の情報が分からなかった ☐ 復帰後の職場環境や両立に不安があった ☐ 相談相手がなく、孤独感があった ☐ 復帰後の業務(業務量等)に不安があった ☐ 家族状況(配偶者との家事育児分担等)に不安があった ☐ 復帰せず退職することも考えた ☐ 業務上のスキルや知識の低下に不安を感じた
設問24	産前産後休暇、育児休業を取得したことのある方へ伺います。職場復帰するまでの間、不安や不便を解消するためにはどういった取り組みが必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 手続きを示したハンドブックの作成・配布 ☐ 産休・育休取得前の所属長との面談 ☐ 休暇取得中の情報提供 ☐ 職場復帰時の所属長との面談 ☐ 職場復帰時の研修等の支援 ☐ 休暇取得、職場復帰時等の相談窓口の設置 ☐ 休暇取得者同士、復帰者同士の情報交換の場
設問25 必須	あなたは、あなたの周りで育児又は介護中の職員が、育児(介護)休暇を取得することに対しどのように感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。(実際になくてもいと仮定してお答えください)
設問26	その他、本アンケートについて何かご意見等ありましたら入力してください。

県費負担教職員のアンケート結果

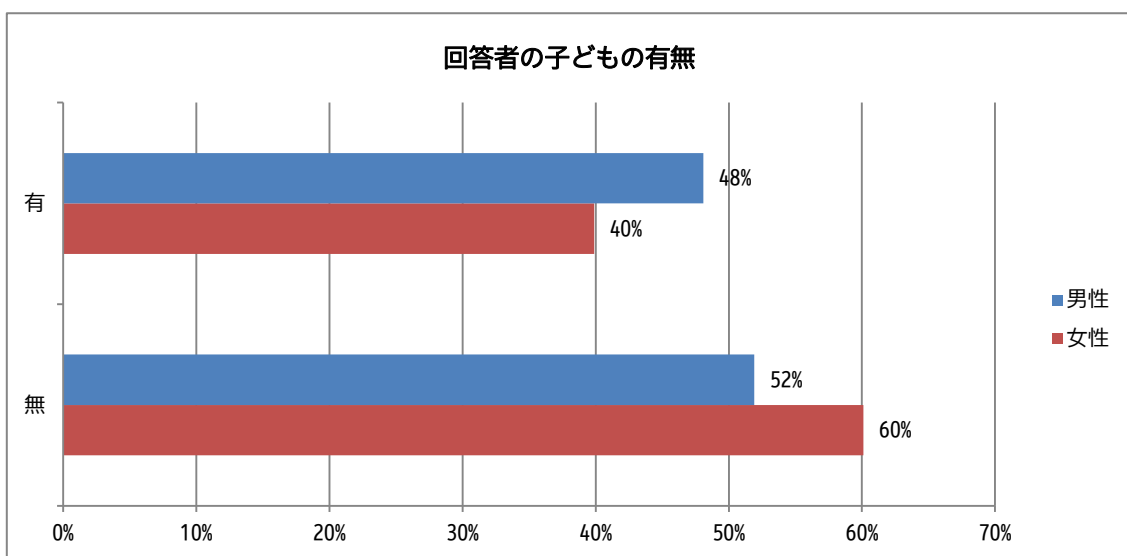
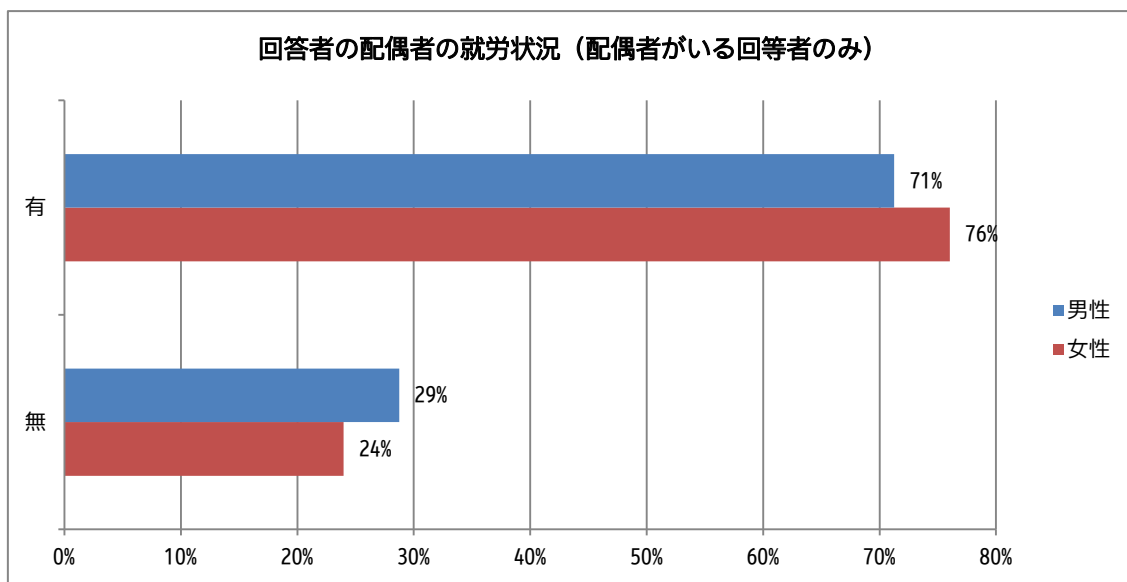
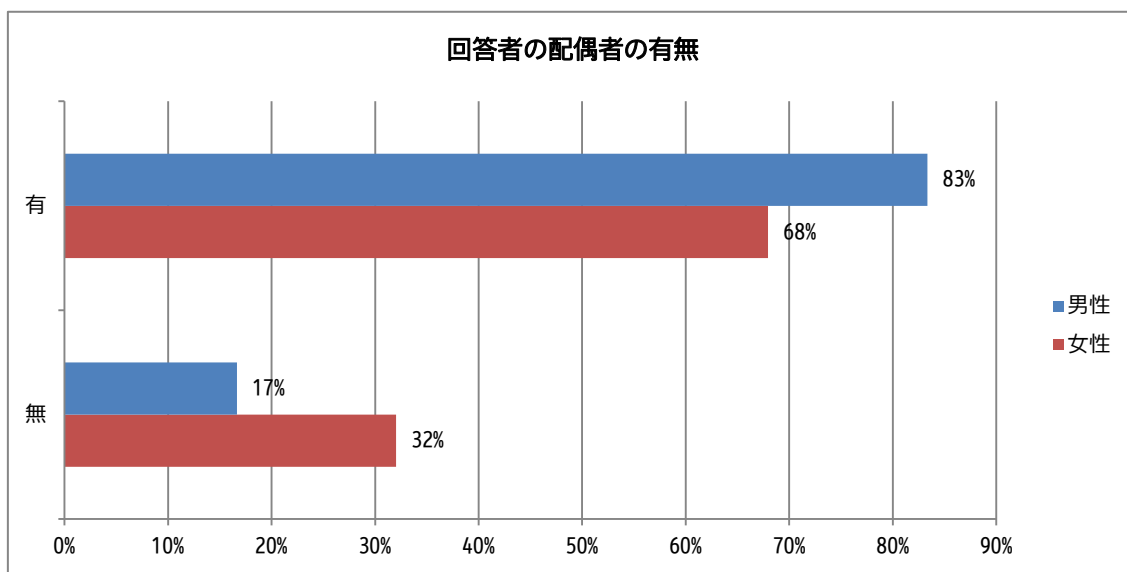
回答者の概要（回答者総数 392名）

属性		項目	職員数	全回答者に占める割合
性別		男	186	47.4%
		女	206	52.6%
年齢層		20代	26	6.6%
		30代	32	8.2%
		40代	139	35.5%
		50代	184	46.9%
		60代	11	2.8%
職位		校長・教頭	78	19.9%
		教諭・再任用教諭	221	56.4%
		養護教諭	23	5.9%
		栄養教諭・学校栄養職員	2	0.5%
		主任主査・主査・副主査・主事	39	9.9%
		常勤講師・非常勤講師（原籍校）	29	7.4%
家庭状況	配偶者	有	295	75.3%
		無	97	24.7%
	子ども	有	185	47.2%
		無	207	52.8%
	介護	有	75	19.1%
		無	317	80.9%

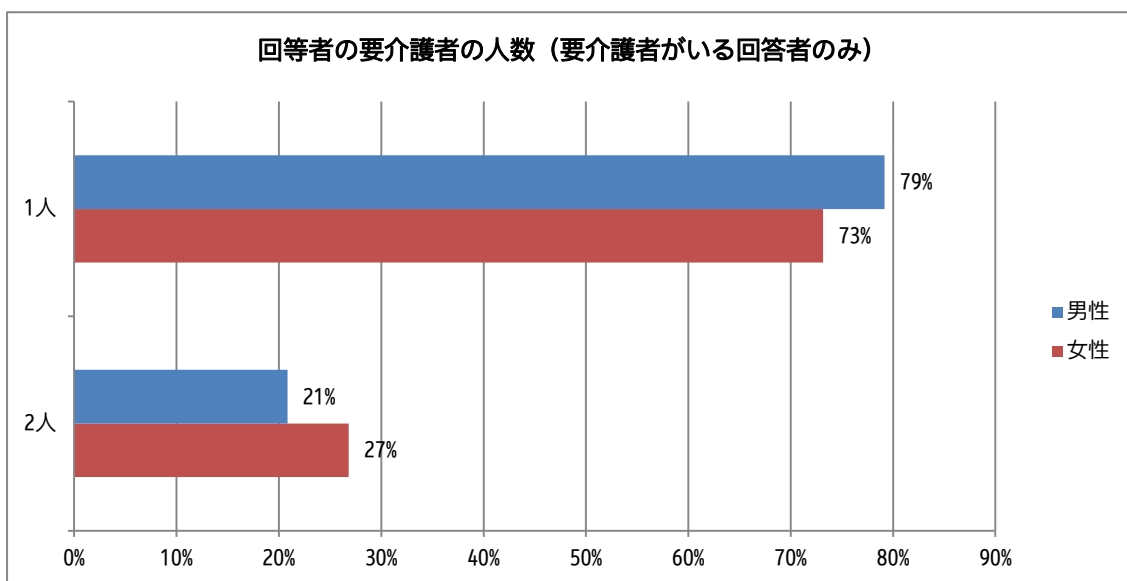
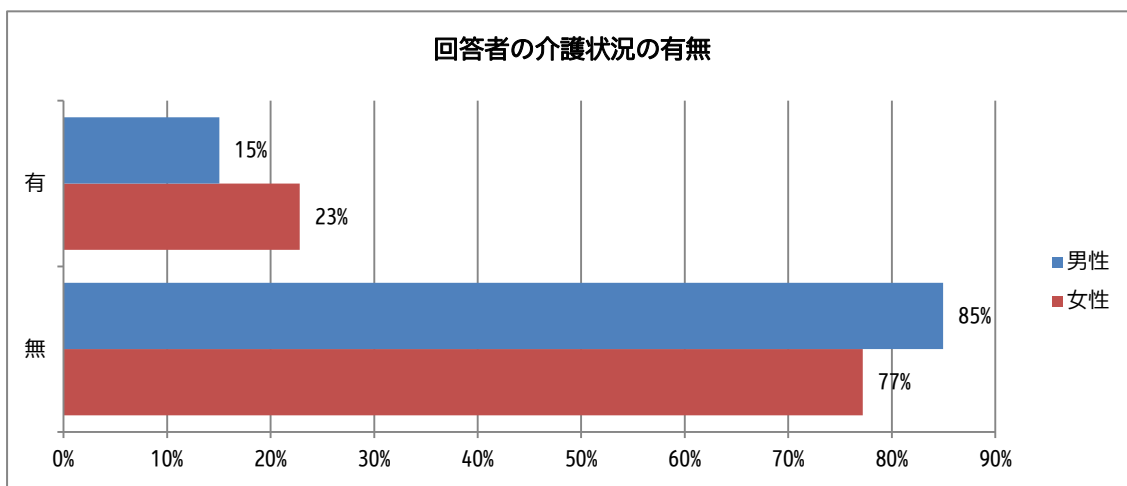
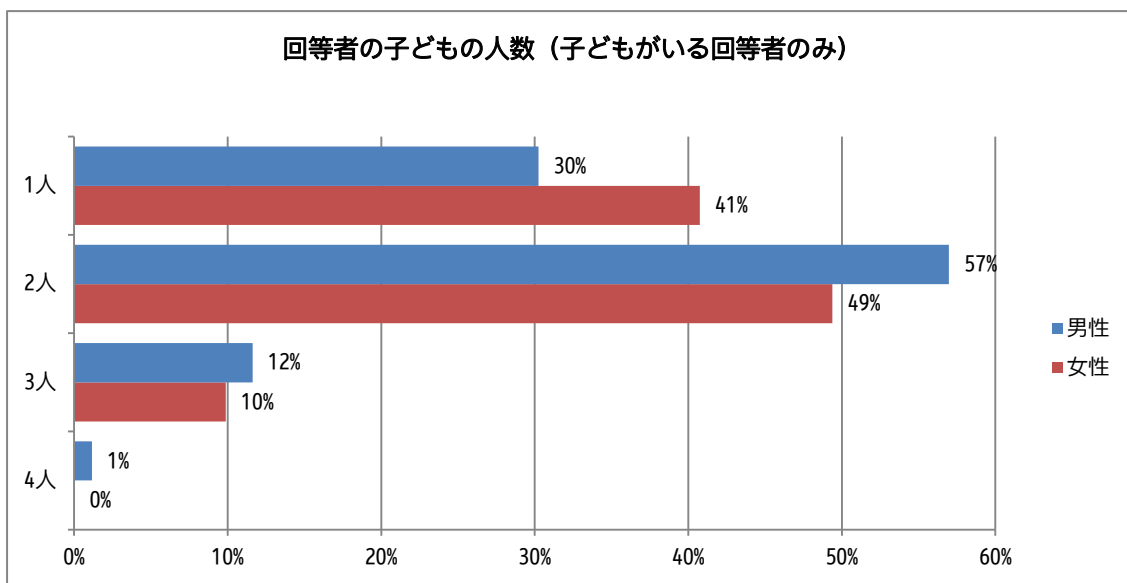
県費負担教職員のアンケート結果



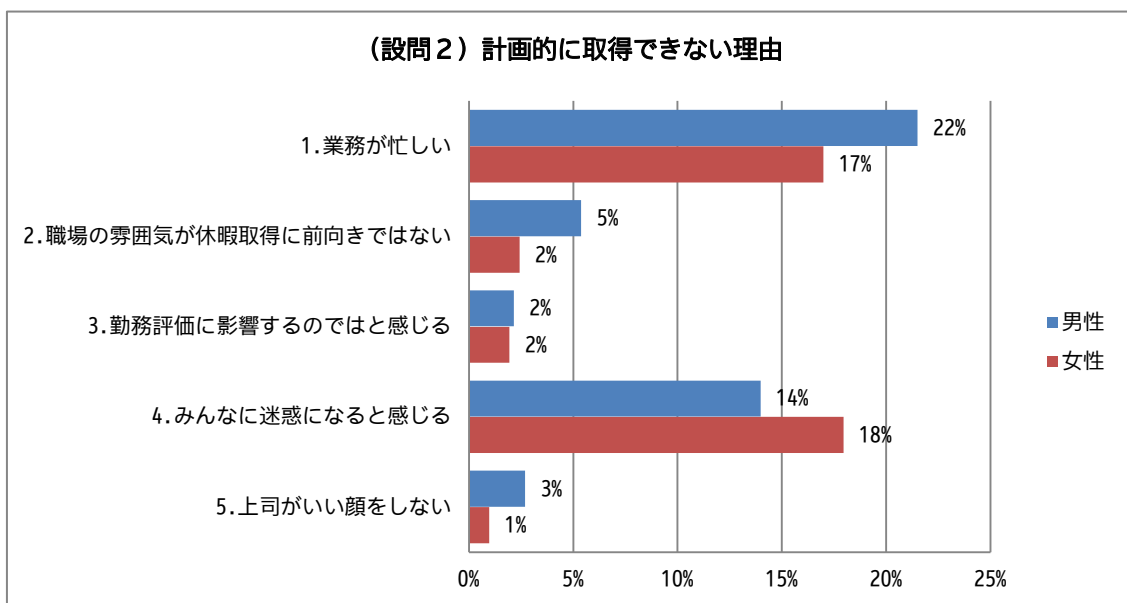
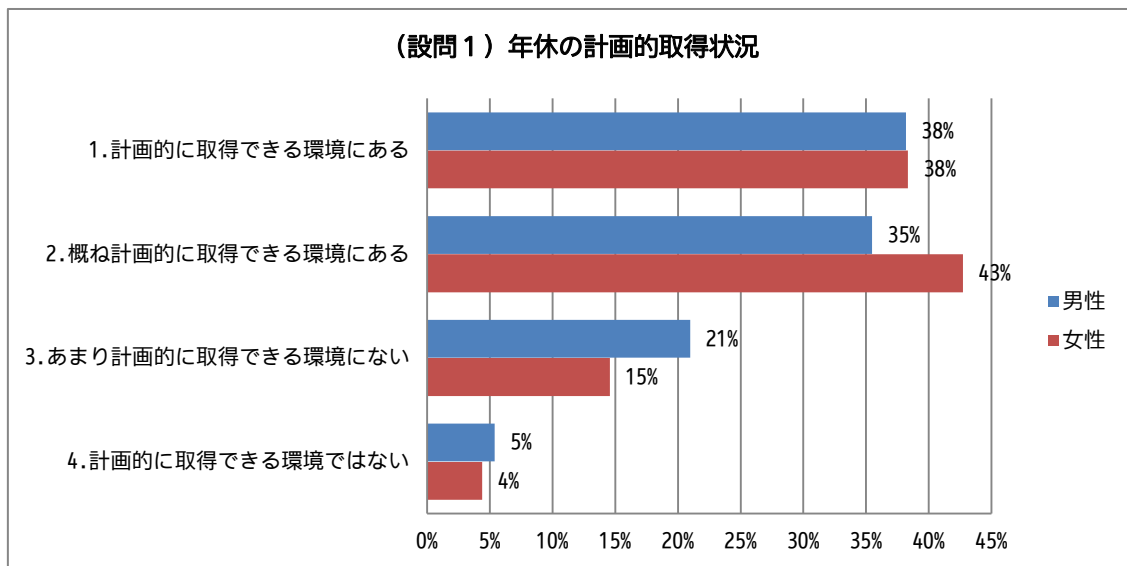
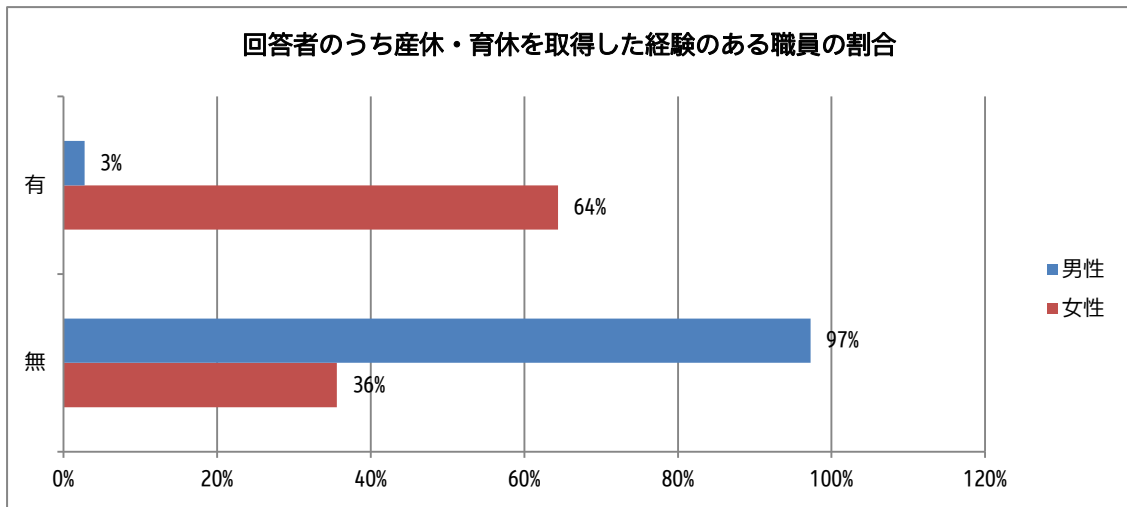
県費負担教職員のアンケート結果



県費負担教職員のアンケート結果

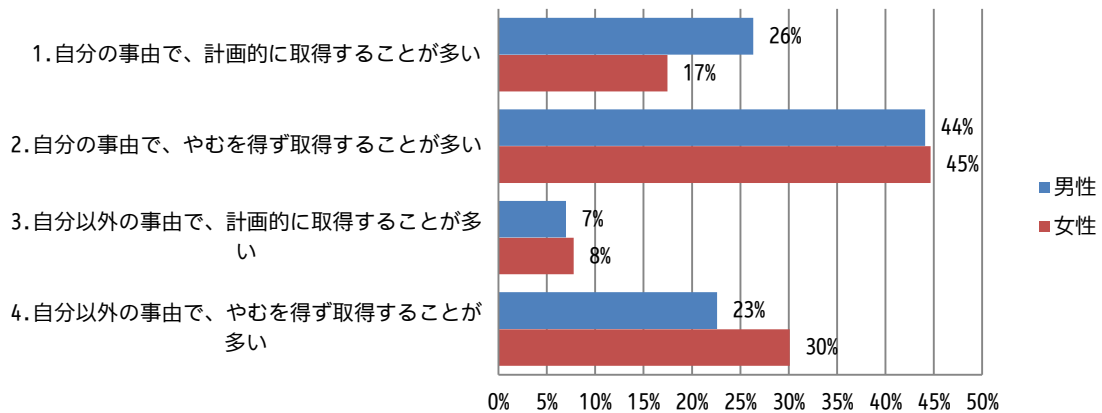


県費負担教職員のアンケート結果

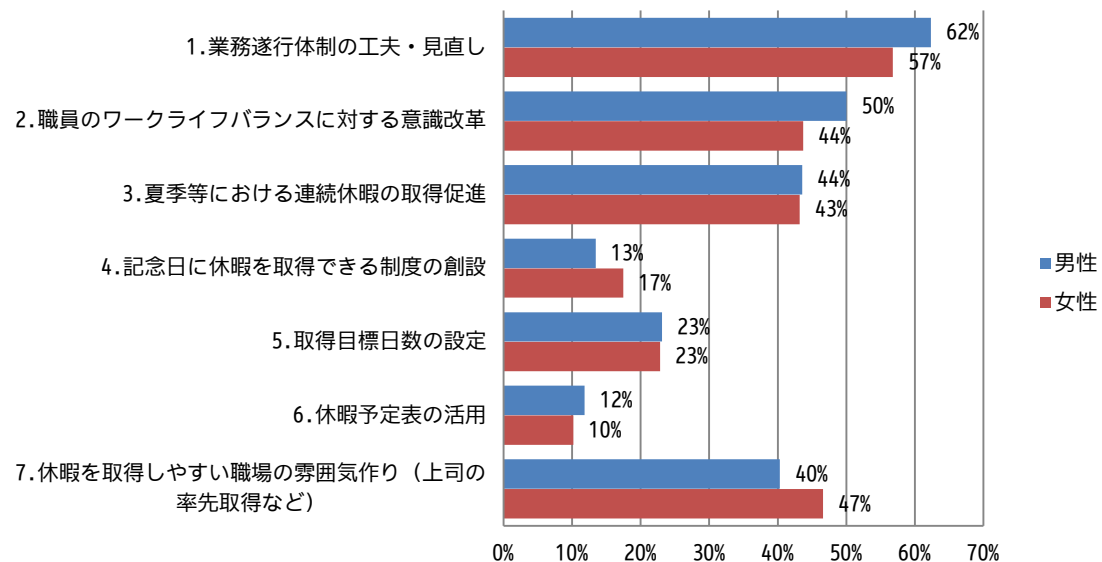


県費負担教職員のアンケート結果

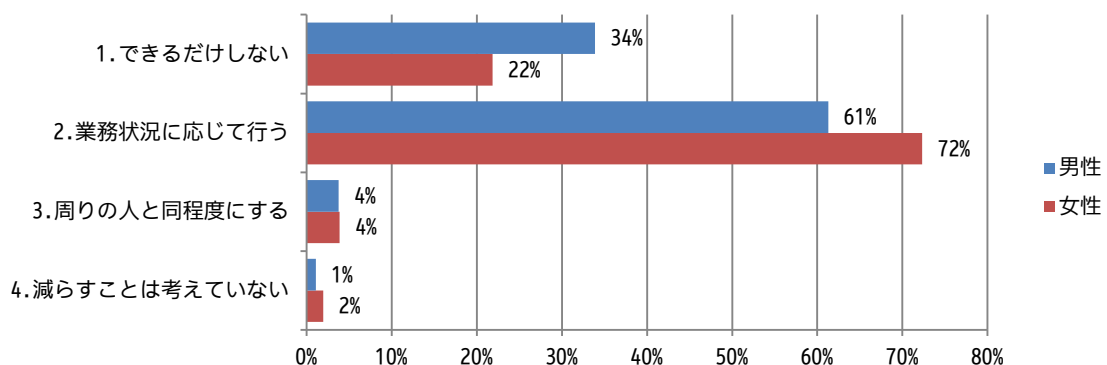
(設問3) 年休取得事由の傾向



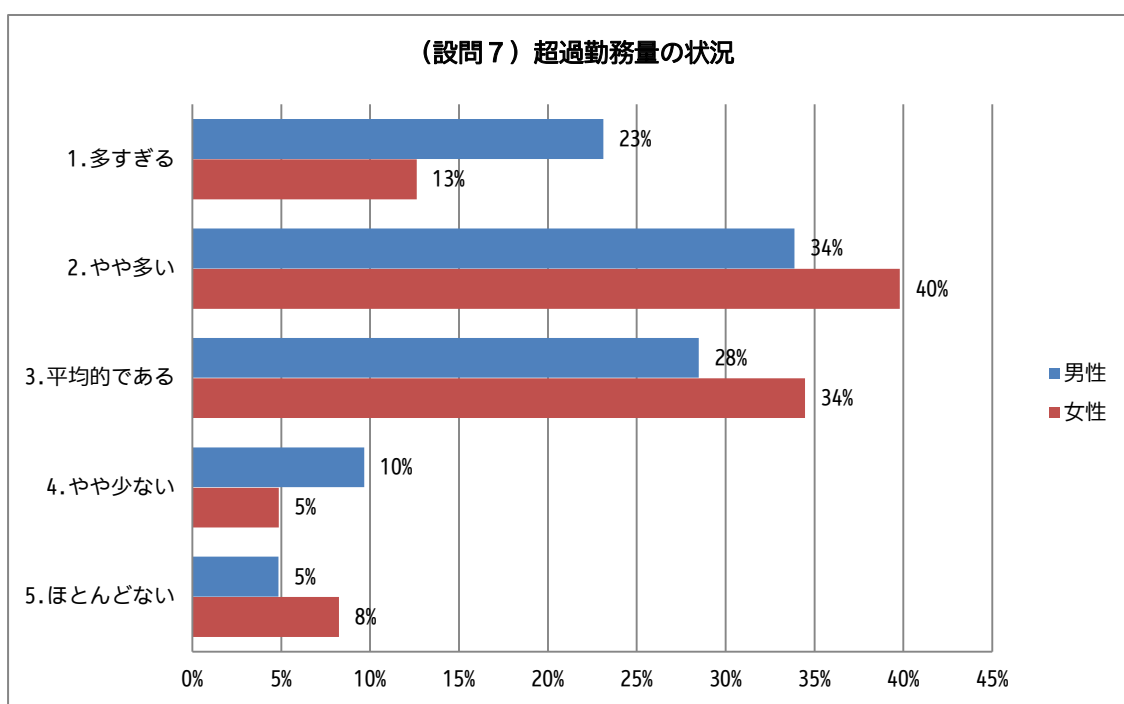
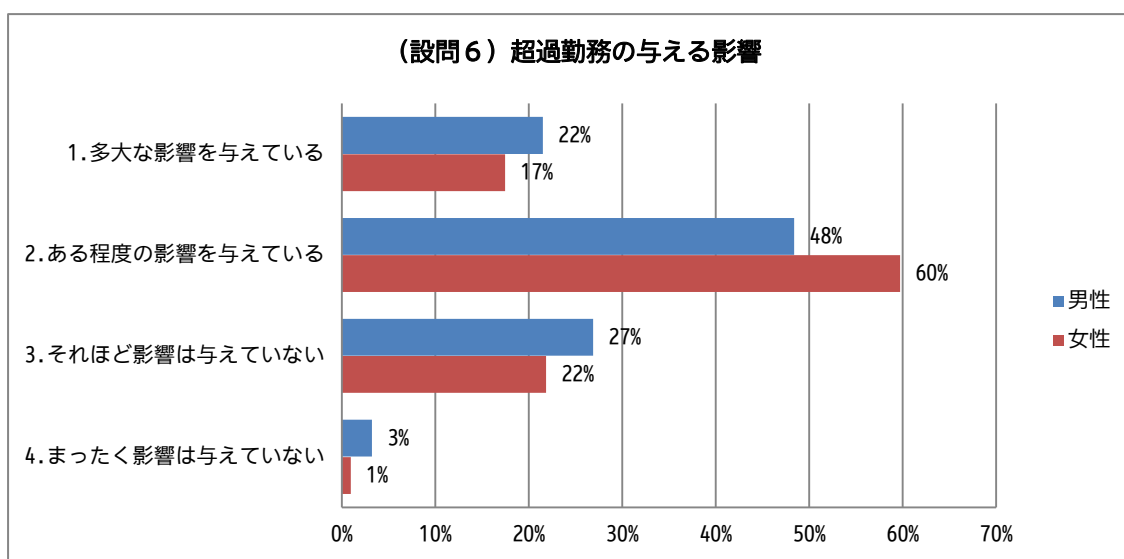
(設問4) 取り組むべき年休取得促進策



(設問5) 超過勤務の考え方

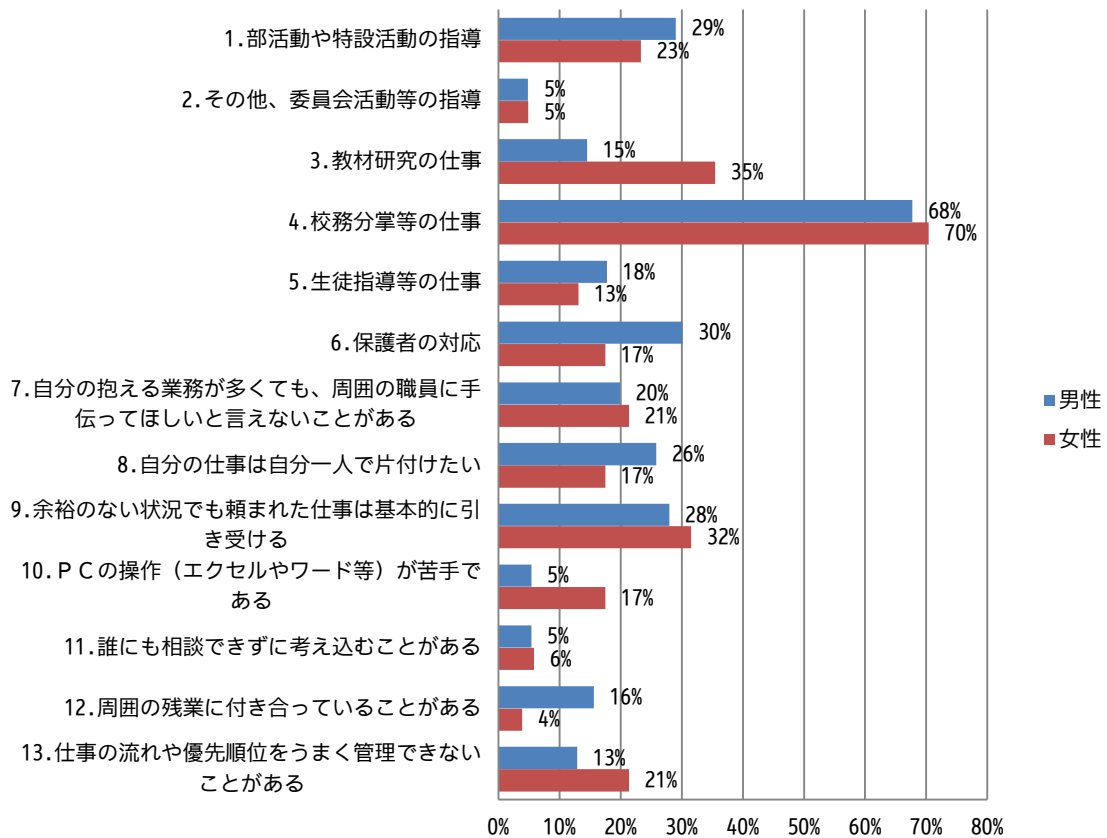


県費負担教職員のアンケート結果

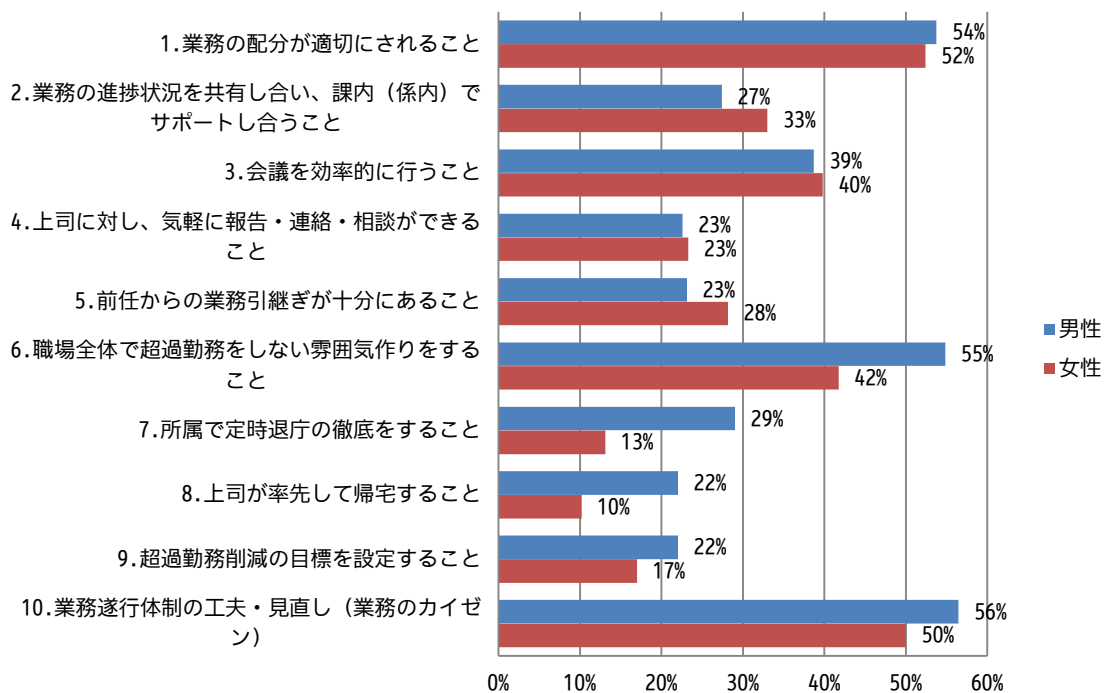


県費負担教職員のアンケート結果

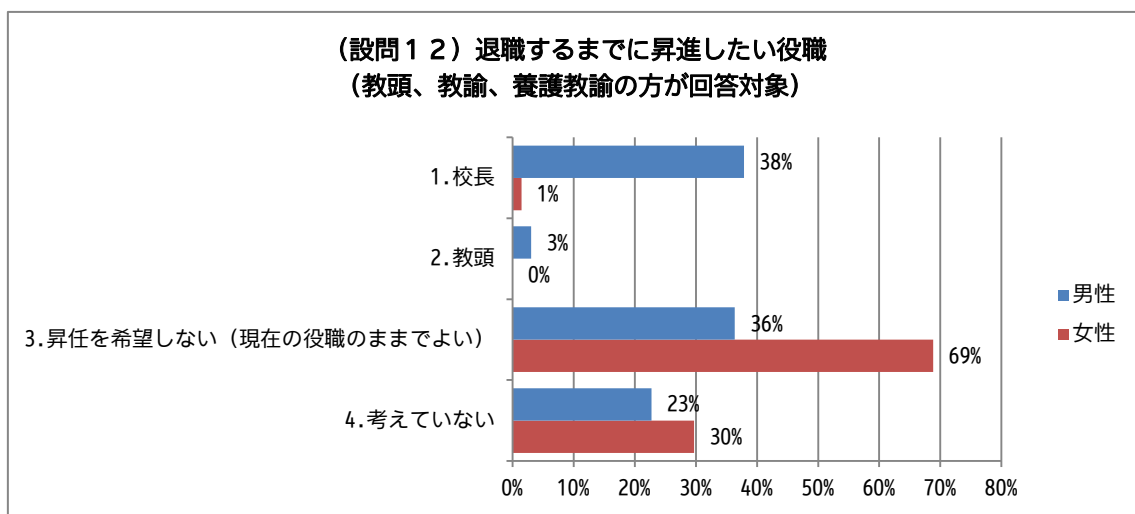
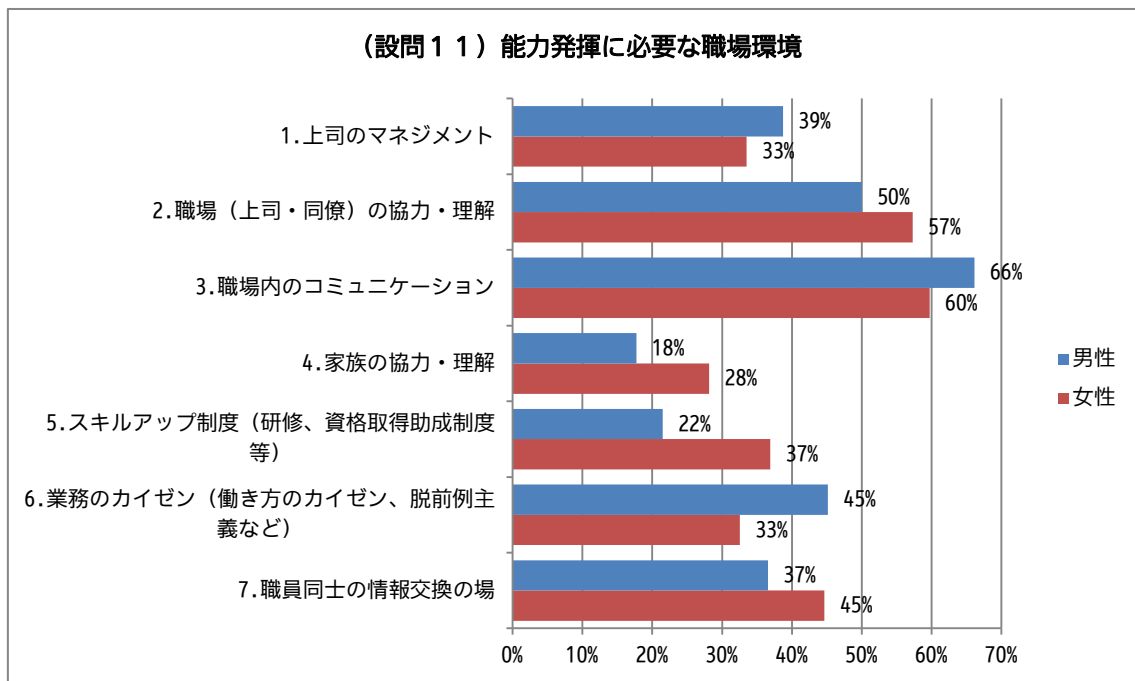
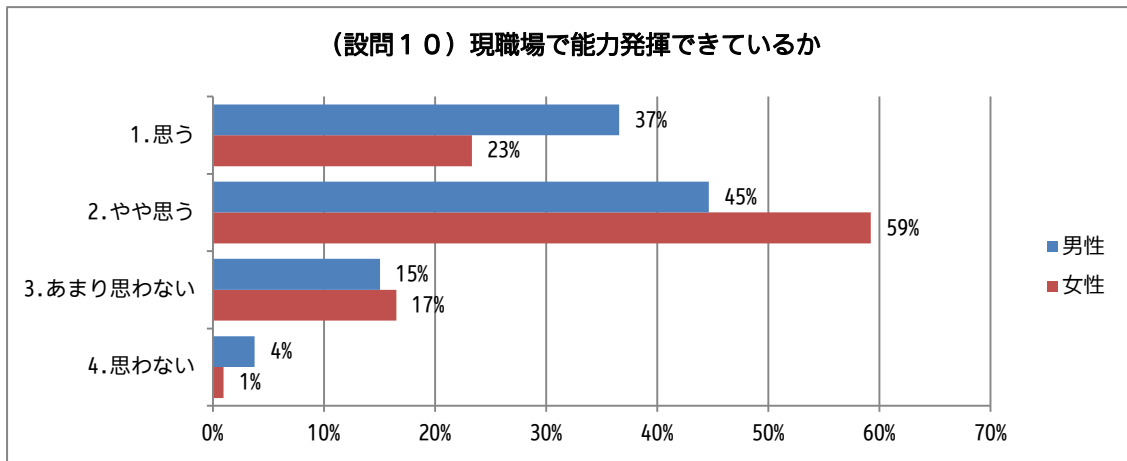
(設問8) 個人の超過勤務要因



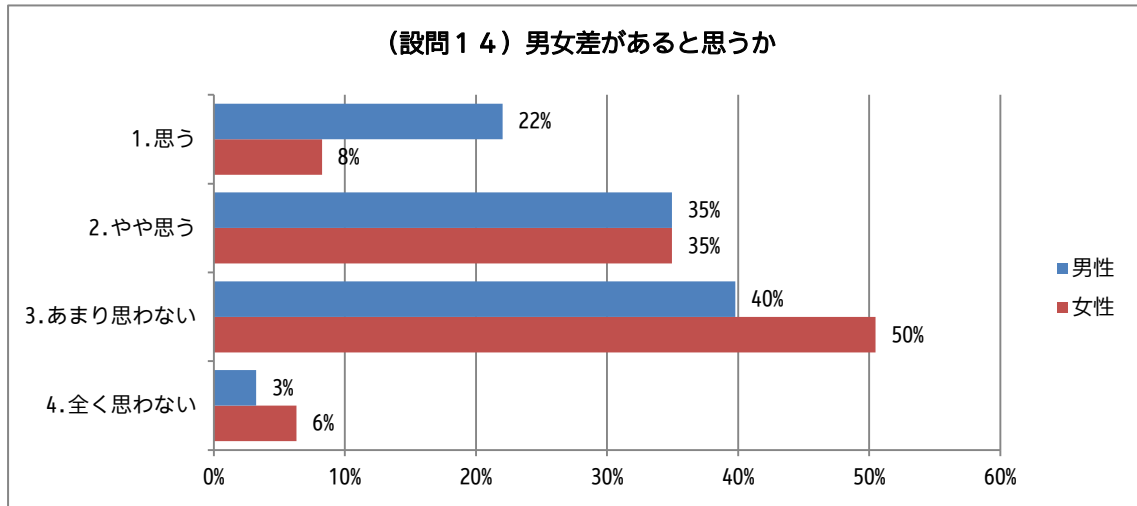
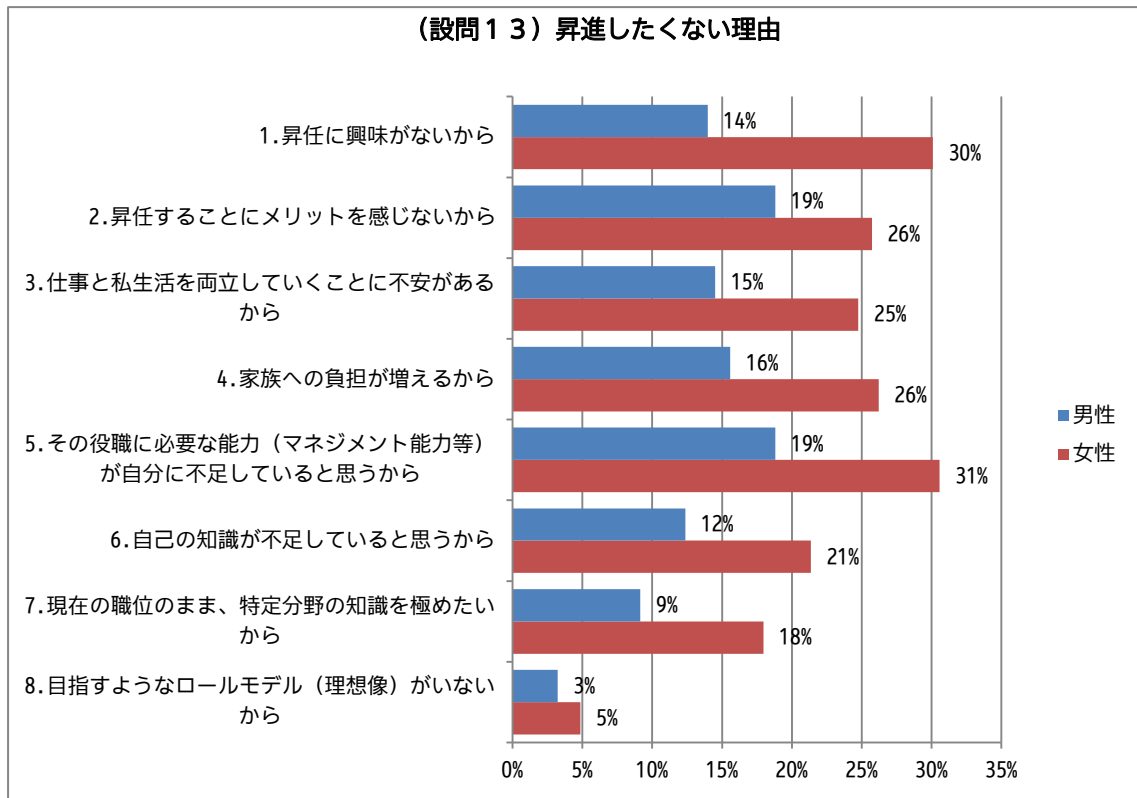
(設問9) 超過勤務削減策で有効だと思うこと



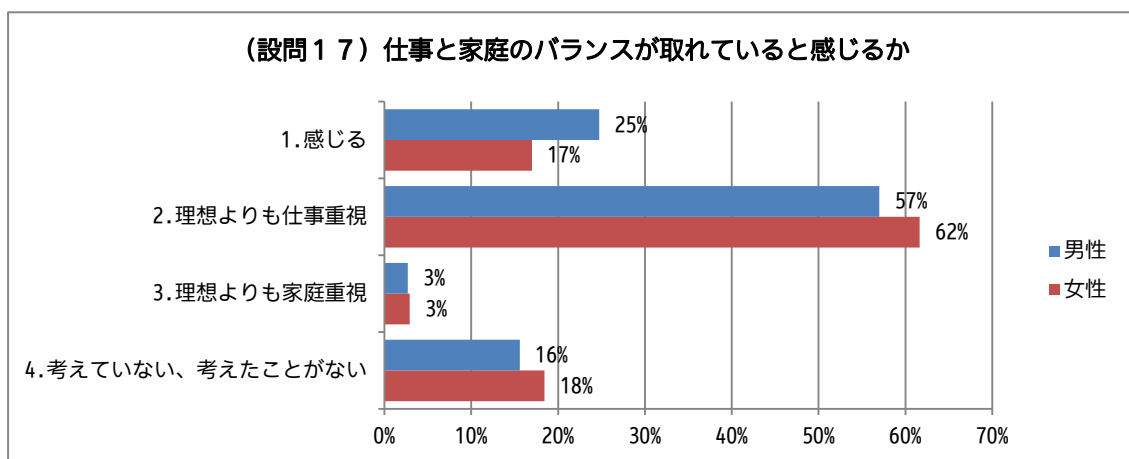
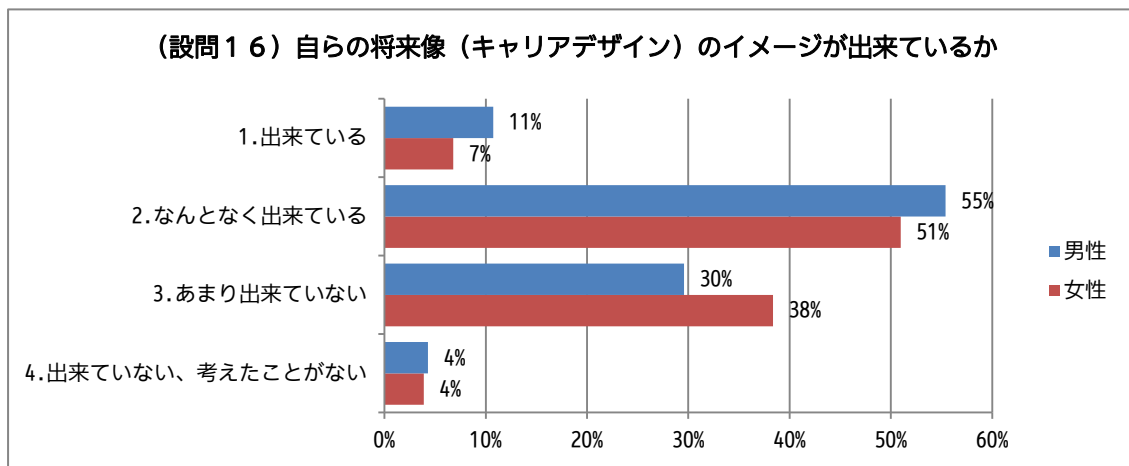
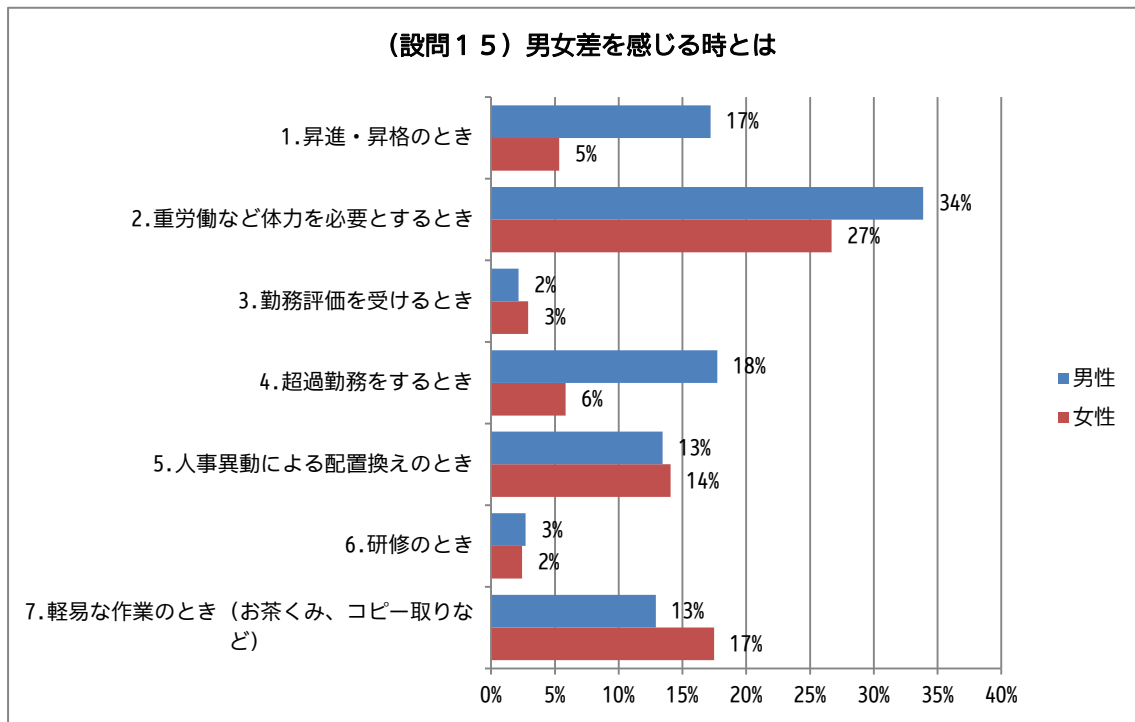
県費負担教職員のアンケート結果



県費負担教職員のアンケート結果

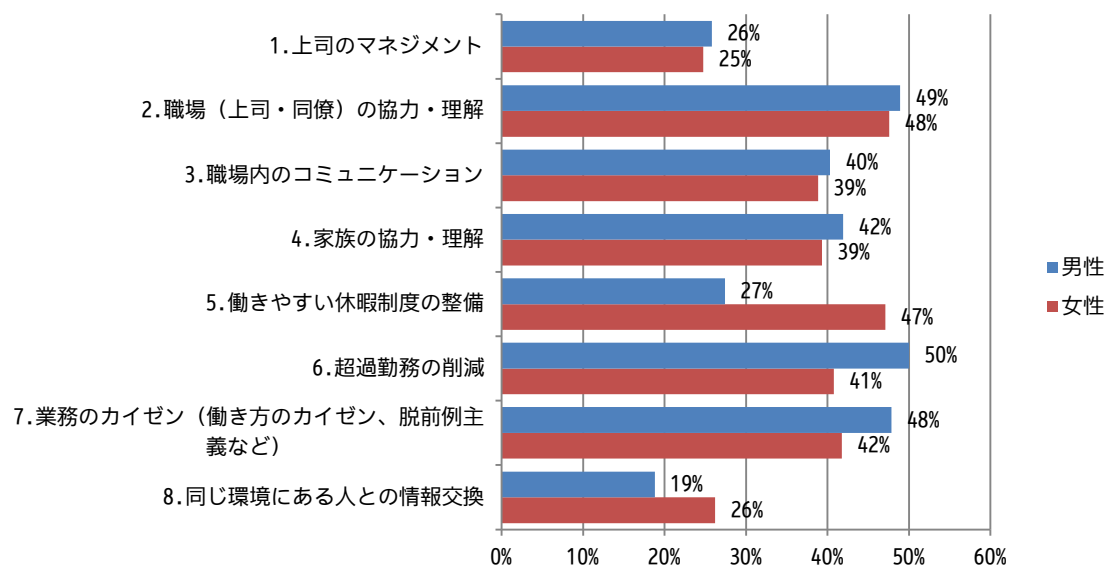


県費負担教職員のアンケート結果

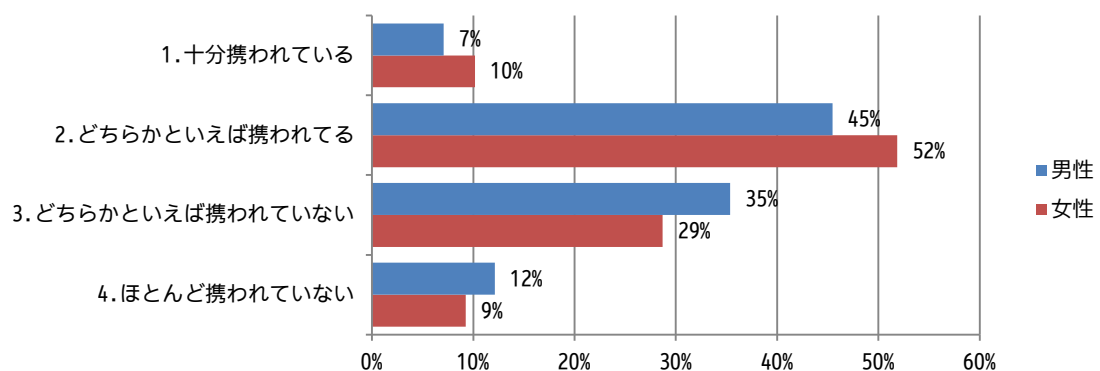


県費負担教職員のアンケート結果

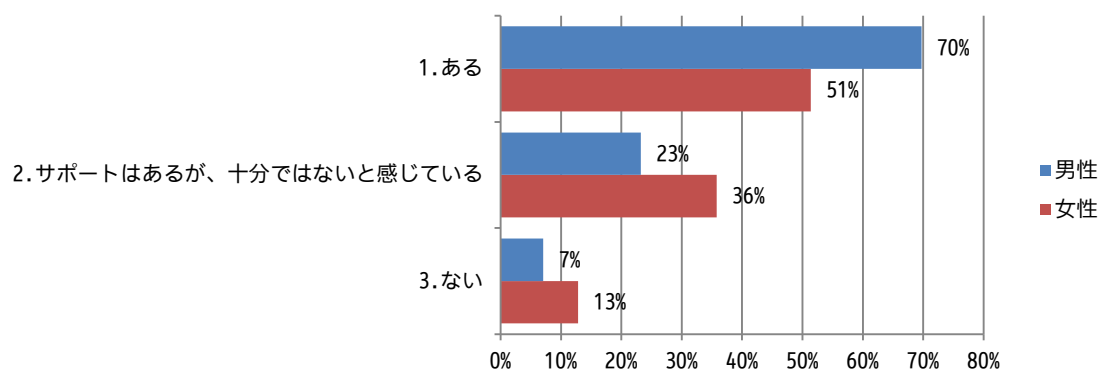
(設問 18) 理想的な仕事と家庭のバランスのために必要なこと



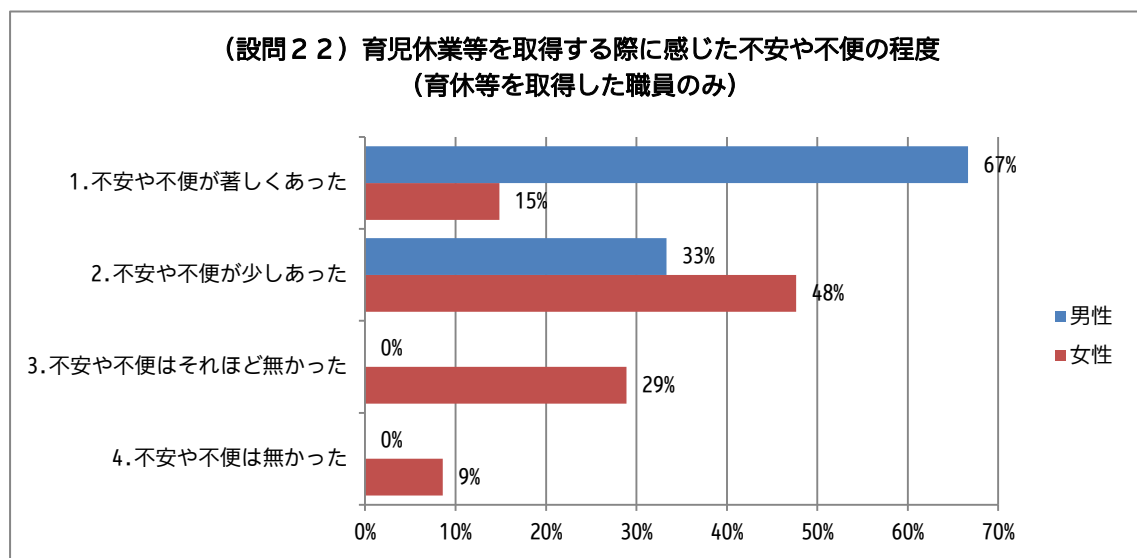
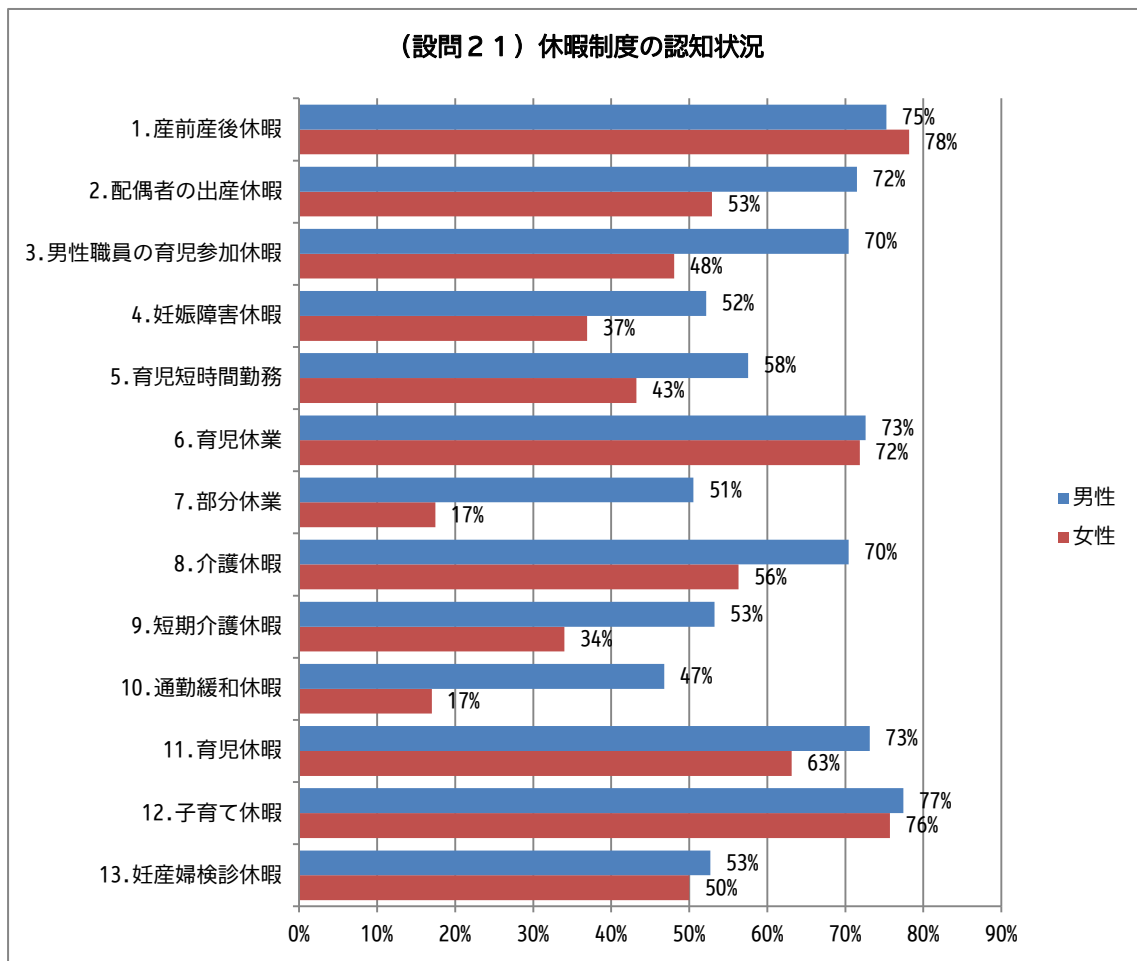
(設問 19) 育児・介護にどの程度携われているか
(育児・介護を行う対象者のみ)



(設問 20) 育児・介護に他者のサポートがあるか
(育児・介護を行う対象者のみ)

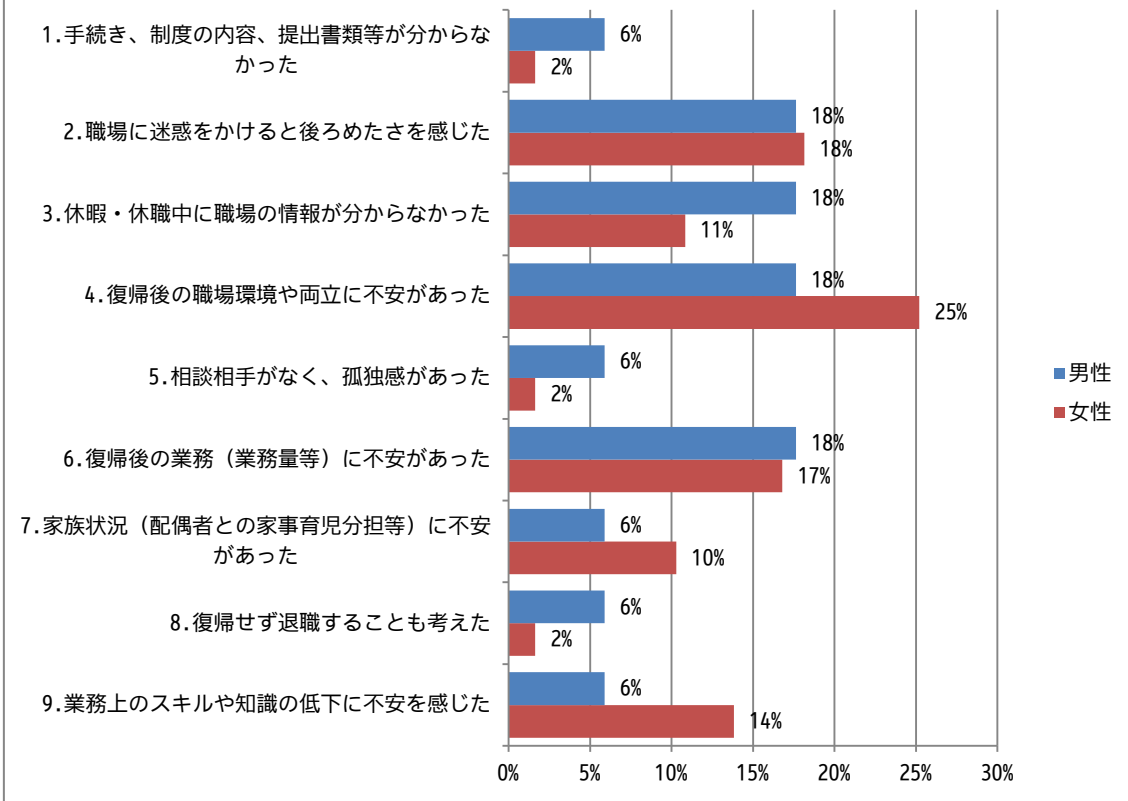


県費負担教職員のアンケート結果

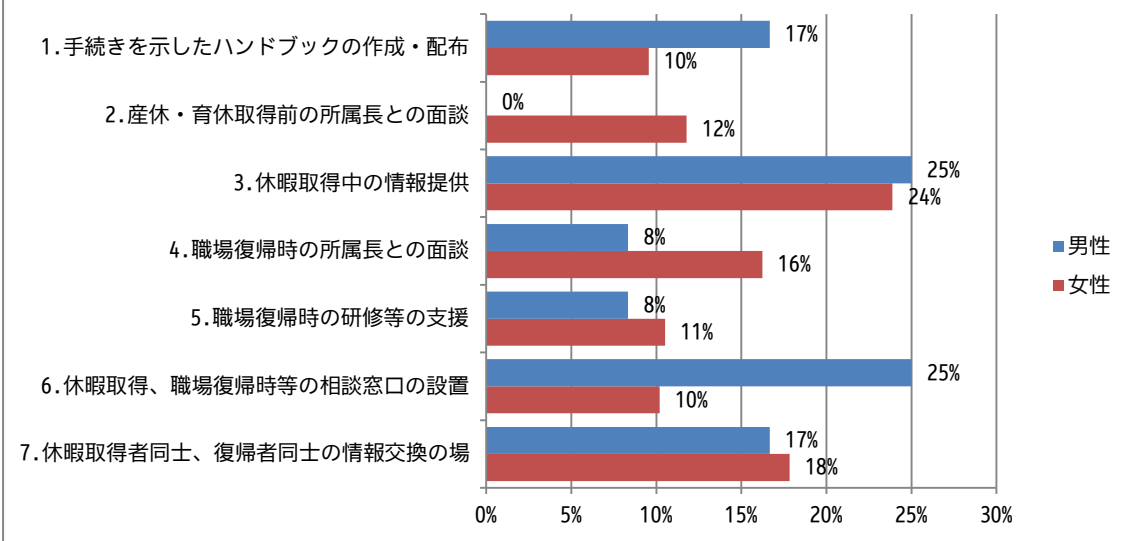


県費負担教職員のアンケート結果

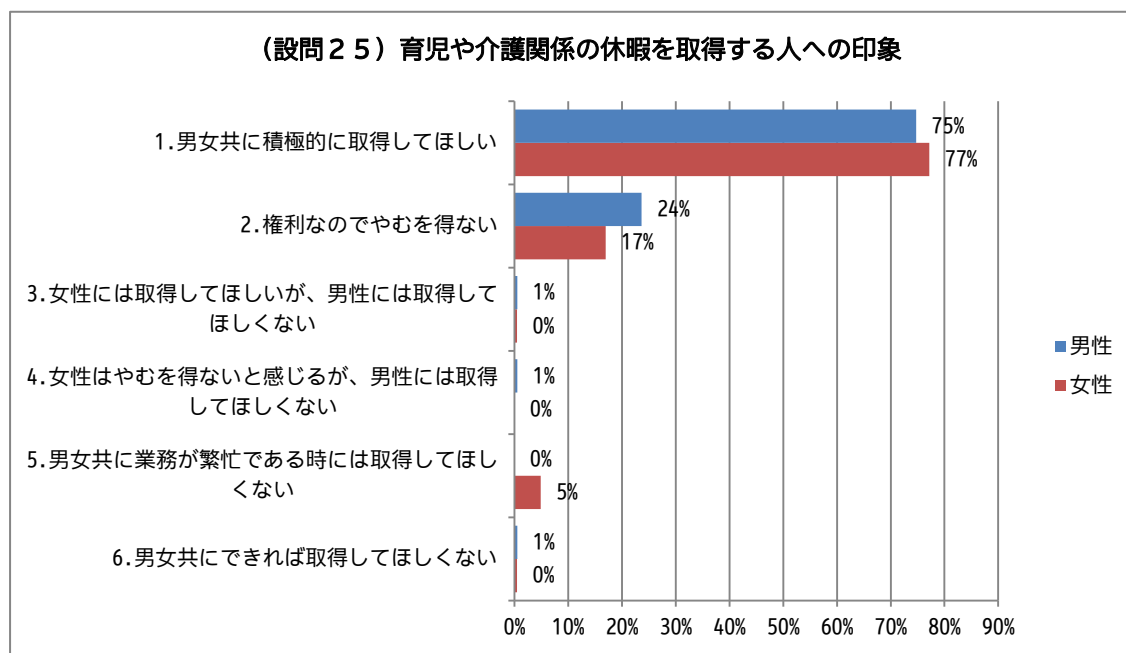
(設問 2 3) 感じた不安や不便の内容 (育休等を取得した職員のみ)



(設問 2 4) 不安や不便の解消策で必要だと思うこと (育休等を取得した職員のみ)



県費負担教職員のアンケート結果



県費負担教職員のアンケート調査票

(県費負担教職員用)特定事業主行動計画策定に係るアンケート

目安として、5分程度で回答できる内容です。

【注意事項】回答後の回答内容の訂正はできませんので予めご注意ください。

項目名	入力内容
年齢 必須	☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上
性別 必須	☐ 男性 ☐ 女性
職名 必須	☐ 校長・教頭 ☐ 教諭・再任用教諭 ☐ 養護教諭 ☐ 栄養教諭・学校栄養職員 ☐ 主任主査・主査・副主査・主事 ☐ 常勤講師・非常勤講師(原籍校で)
配偶者の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
配偶者の就労状況の有無	☐ 有 ☐ 無
子どもの有無(※18歳未満) 必須	☐ 有 ☐ 無
子どもの人数(※18歳未満)	[半角数字]
介護を要する家族の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
介護を要する家族の人数	[半角数字]
産休・育休を取得した経験の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
設問1 必須	あなたの現在の職場は、年次有給休暇を計画的に取得できる職場環境にありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問2	前の質問で「あまり計画的に取得できる環境にない」「計画的に取得できる環境ではない」と答えた方に伺います。計画的に取得できる環境にないと感じるのはどうしてですか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 業務が忙しい ☐ 職場の雰囲気が休暇取得に前向きではない

県費負担教職員のアンケート調査票

	☐ 勤務評価に影響するのではと感じる ☐ みんなに迷惑になると感じる ☐ 上司がいい顔をしない
設問3 必須	あなたの年次有給休暇の取得事由の傾向について、以下のうち、一番自分の傾向に近いものを1つ選んでください。
設問4	年次有給休暇取得促進のために取り組むべきことは何だと思いますか。当てはまると思うものを全てチェックしてください。 ☐ 業務遂行体制の工夫・見直し ☐ 職員のワークライフバランスに対する意識改革 ☐ 夏季等における連続休暇の取得促進 ☐ 記念日に休暇を取得できる制度の創設 ☐ 取得目標日数の設定 ☐ 休暇予定表の活用 ☐ 休暇を取得しやすい職場の雰囲気作り(上司の率先取得など)
設問5 必須	あなたの超過勤務についての考え方として、当てはまるものを1つ選んでください。
設問6 必須	あなたの超過勤務は、家庭やプライベートの時間にどの程度の影響を与えていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問7 必須	あなたの超過勤務についてどのように感じていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問8	超過勤務の要因について、あなた自身の傾向として当てはまるものがあればチェックしてください。(複数選択可) ☐ 部活動や特設活動の指導 ☐ その他、委員会活動等の指導 ☐ 教材研究の仕事 ☐ 校務分掌等の仕事 ☐ 生徒指導等の仕事 ☐ 保護者の対応 ☐ 自分の抱える業務が多くても、周囲の職員に手伝ってほしいと言えないことがある ☐ 自分の仕事は自分一人で片付けたい ☐ 余裕のない状況でも頼まれた仕事は基本的に引き受ける ☐ PCの操作(エクセルやワード等)が苦手である ☐ 誰にも相談できずに考え込むことがある ☐ 周囲の残業に付き合っていることがある ☐ 仕事の流れや優先順位をうまく管理できないことがある
設問9	超過勤務の削減についてあなたが効果的だと思うものを全てにチェックしてください。 ☐ 業務の配分が適切にされること ☐ 業務の進捗状況を共有し合い、課内(係内)でサポートし合うこと ☐ 会議を効率的に行うこと ☐ 上司に対し、気軽に報告・連絡・相談ができること ☐ 前任からの業務引継ぎが十分にあること

県費負担教職員のアンケート調査票

	☐ 職場全体で超過勤務をしない雰囲気作りをすること ☐ 所属で定時退庁の徹底をすること ☐ 上司が率先して帰宅すること ☐ 超過勤務削減の目標を設定すること ☐ 業務遂行体制の工夫・見直し(業務のカイゼン)
設問10 必須	現在の職場は自分の能力を発揮できていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください
設問11	現在の職場で自分が能力を発揮できるようにするためには、職場環境として何が必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 上司のマネジメント ☐ 職場(上司・同僚)の協力・理解 ☐ 職場内のコミュニケーション ☐ 家族の協力・理解 ☐ スキルアップ制度(研修、資格取得助成制度等) ☐ 業務のカイゼン(働き方のカイゼン、脱前例主義など) ☐ 職員同士の情報交換の場(同世代、同じ環境にある人同士のコミュニティなど)
設問12	現在「教頭」、「教諭」、「養護教諭」である方に伺います。 今後あなたが退職するまでに昇進したい役職について当てはまるものを1つ選んでください。
設問13	前述の質問で昇任を希望しないを選んだ方へ伺います。希望しない理由は何ですか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 昇任に興味がないから ☐ 昇任することにメリットを感じないから ☐ 仕事と私生活を両立していくことに不安があるから ☐ 家族への負担が増えるから ☐ その役職に必要な能力(マネジメント能力等)が自分に不足していると思うから ☐ 自己の知識が不足していると思うから ☐ 現在の職位のまま、特定分野の知識を極めたいから ☐ 目指すようなロールモデル(理想像)がないから
設問14 必須	仕事をする中で男女差を感じる時がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問15	前の質問で思う・やや思うと回答した方に伺います。どのような時に男女差を感じますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 昇進・昇格のとき ☐ 重労働など体力を必要とするとき ☐ 勤務評価を受けるとき ☐ 超過勤務をするとき ☐ 人事異動による配置換えのとき ☐ 研修のとき ☐ 軽易な作業のとき(お茶くみ、コピー取りなど)
設問16 必須	自らの将来像についてイメージすることができていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

県費負担教職員のアンケート調査票

設問17 必須	自分の理想とする仕事と家庭のバランスがとれていると感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問18	自分の理想とする仕事と家庭のバランスをとるためには何が必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 上司のマネジメント ☐ 職場(上司・同僚)の協力・理解 ☐ 職場内のコミュニケーション ☐ 家族の協力・理解 ☐ 働きやすい休暇制度の整備(育児時間、育短、介護休暇等) ☐ 超過勤務の削減 ☐ 業務のカイゼン(働き方のカイゼン、脱前例主義など) ☐ 同じ環境にある人との情報交換(同世代、同じ環境にある人同士のコミュニティなど)
設問19	子ども又は要介護者を持つ方に伺います。あなたは、子ども又は要介護者に対してどの程度携われていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問20	子ども又は要介護者を持つ方に伺います。育児、家事、介護において自分以外の人のサポートはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問21	以下の休暇制度について、制度の内容(取得可能対象者・取得可能日数など)を知っているものに全てチェックしてください。 ☐ 産前産後休暇 ☐ 配偶者の出産休暇 ☐ 男性職員の育児参加休暇 ☐ 妊娠障害休暇 ☐ 育児短時間勤務 ☐ 育児休業 ☐ 部分休業 ☐ 介護休暇 ☐ 短期介護休暇 ☐ 通勤緩和休暇 ☐ 育児休暇 ☐ 子育て休暇 ☐ 妊産婦検診休暇
設問22	産前産後休暇、育児休業を取得したことのある方へ伺います。あなたは職場復帰をするまでの間、不安や不便をどの程度感じましたか。当てはまるものを1つ選んでください。
	前の質問で、不安や不便はそれほど無かった・不安や不便が少しあった・不安や不便が著しくあったと回答した方へ伺います。どういったことに不安や不便を感じましたか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 産休及び育休の取得・復帰の手続きについて、制度の内容や提出書類等が分からなかった

県費負担教職員のアンケート調査票

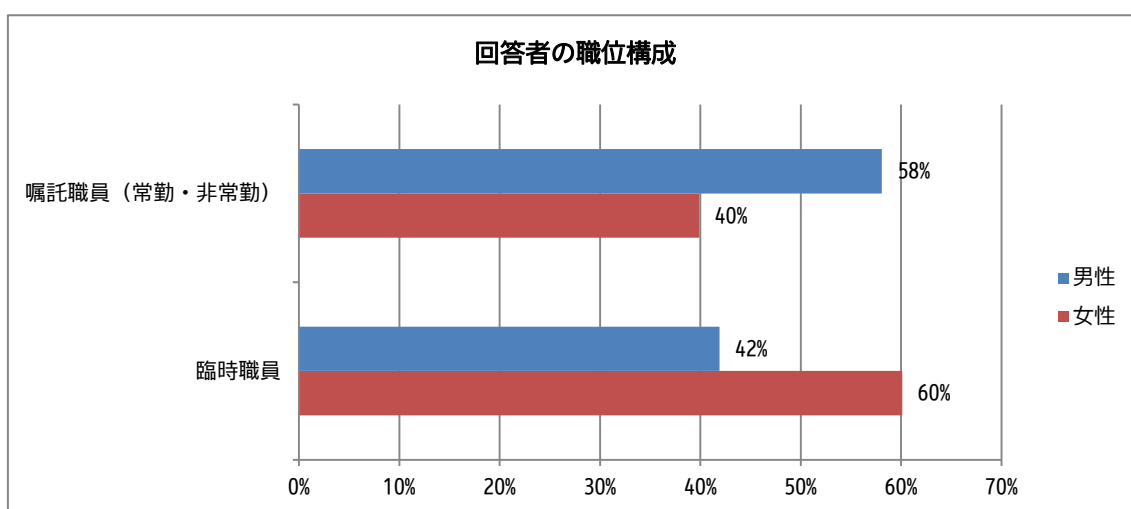
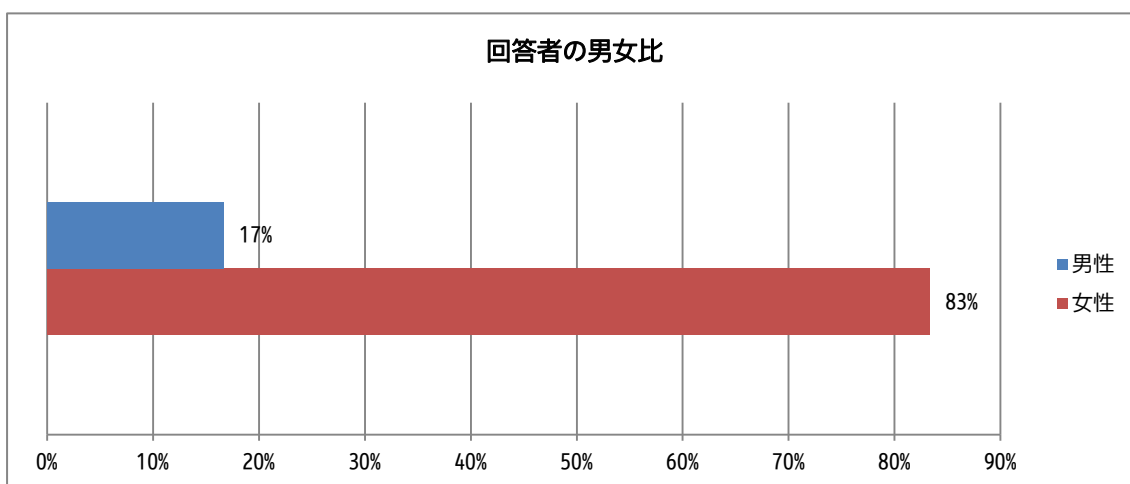
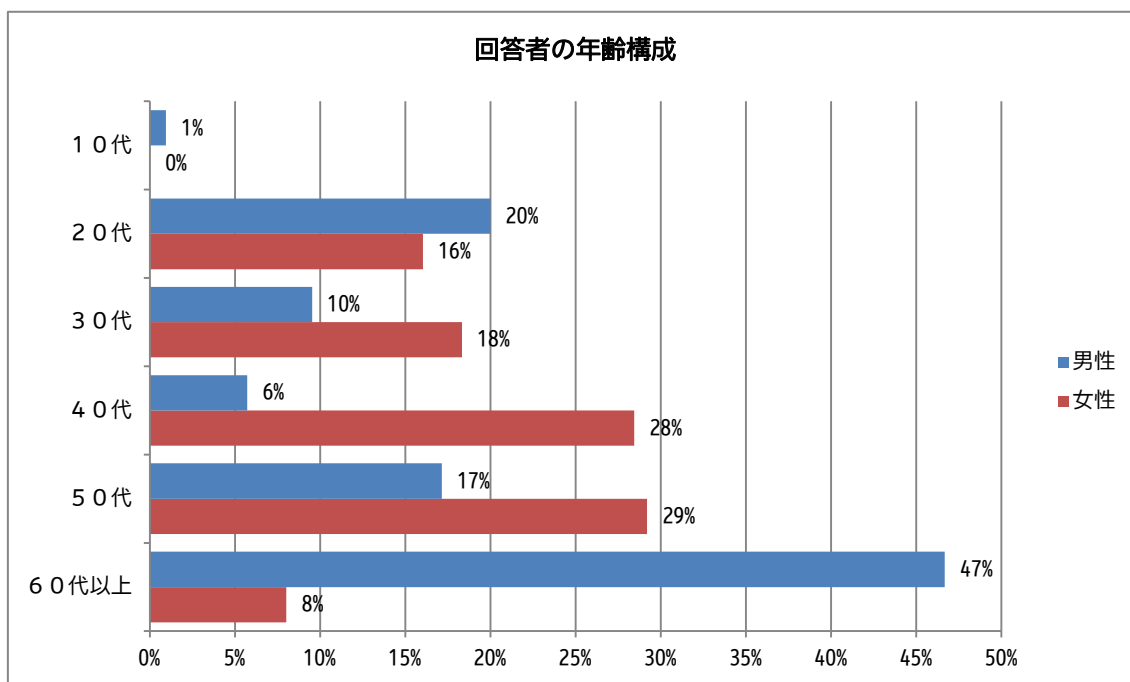
設問23	産休及び育休の取得にあたり、職場に迷惑をかけてしまうと後ろめたさを感じた 休暇・休職中は職場の情報が分からなかった 復帰後の職場環境や両立に不安があった 相談相手がなく、孤独感があった 復帰後の業務(業務量等)に不安があった 家族状況(配偶者との家事育児分担等)に不安があった 復帰せず退職することも考えた 業務上のスキルや知識の低下に不安を感じた
設問24	産前産後休暇、育児休業を取得したことのある方へ伺います。職場復帰するまでの間、不安や不便を解消するためにはどういった取り組みが必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 手続きを示したハンドブックの作成・配布 産休・育休取得前の所属長との面談 休暇取得中の情報提供 職場復帰時の所属長との面談 職場復帰時の研修等の支援 休暇取得、職場復帰時等の相談窓口の設置 休暇取得者同士、復帰者同士の情報交換の場
設問25 必須	あなたは自分の周りで育児又は介護中の職員が、育児(介護)休暇を取得することに対しどのように感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。(実際になくてもいると仮定してお答えください)
設問26	その他、本アンケートについて何かご意見等ありましたら入力してください。

嘱託職員、臨時職員のアンケート結果

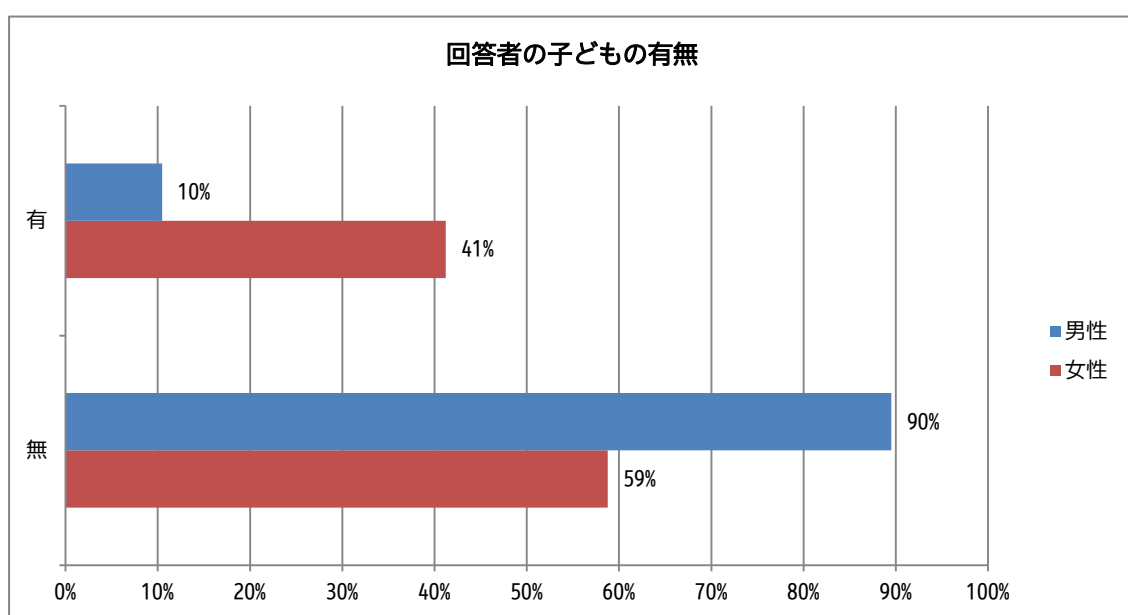
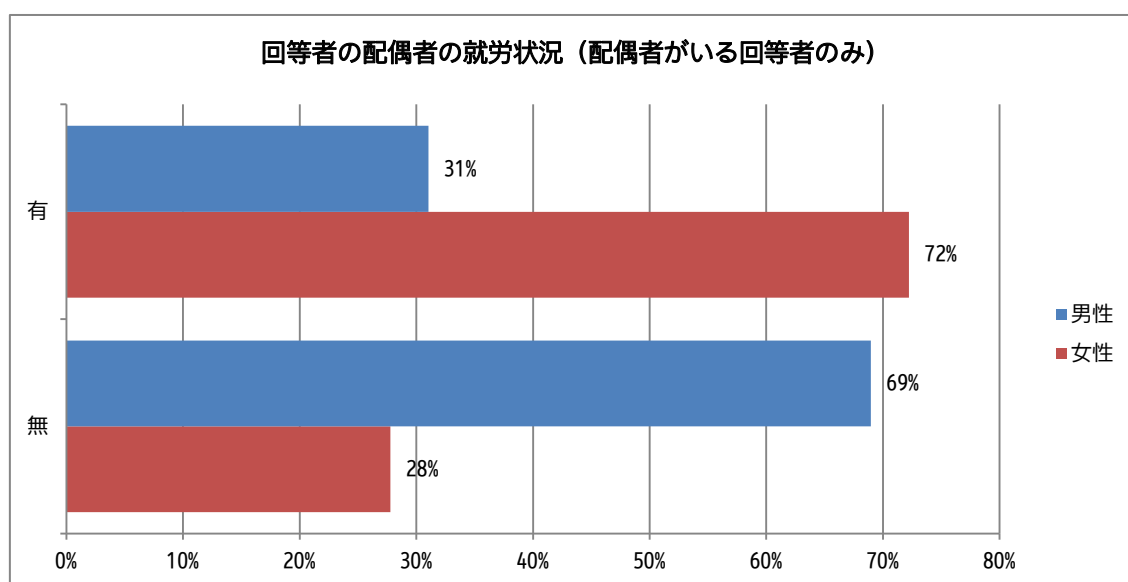
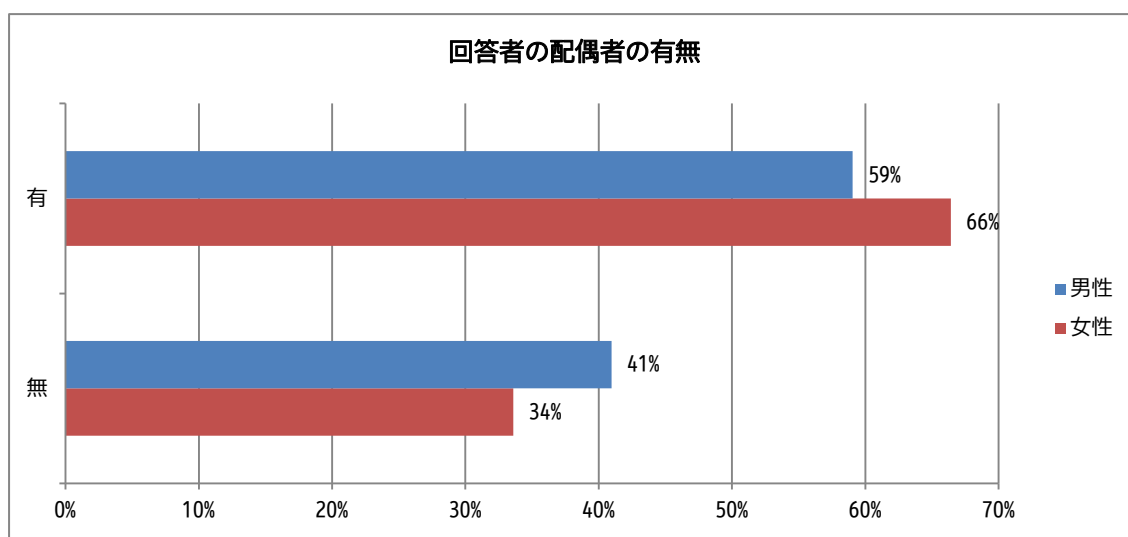
同等者の概要（回答者総数 629名）

属性		項目	職員数	全回等者に占める割合
性別		男	105	16.7%
		女	524	83.3%
年齢層		10代	1	0.2%
		20代	105	16.7%
		30代	106	16.9%
		40代	155	24.6%
		50代	171	27.2%
		60代	91	14.5%
職名		嘱託職員（常勤・非常勤）	270	42.9%
		臨時職員	359	57.1%
家庭状況	配偶者	有	410	65.2%
		無	219	34.8%
	子ども	有	227	36.1%
		無	402	63.9%
	介護	有	66	10.5%
		無	563	89.5%

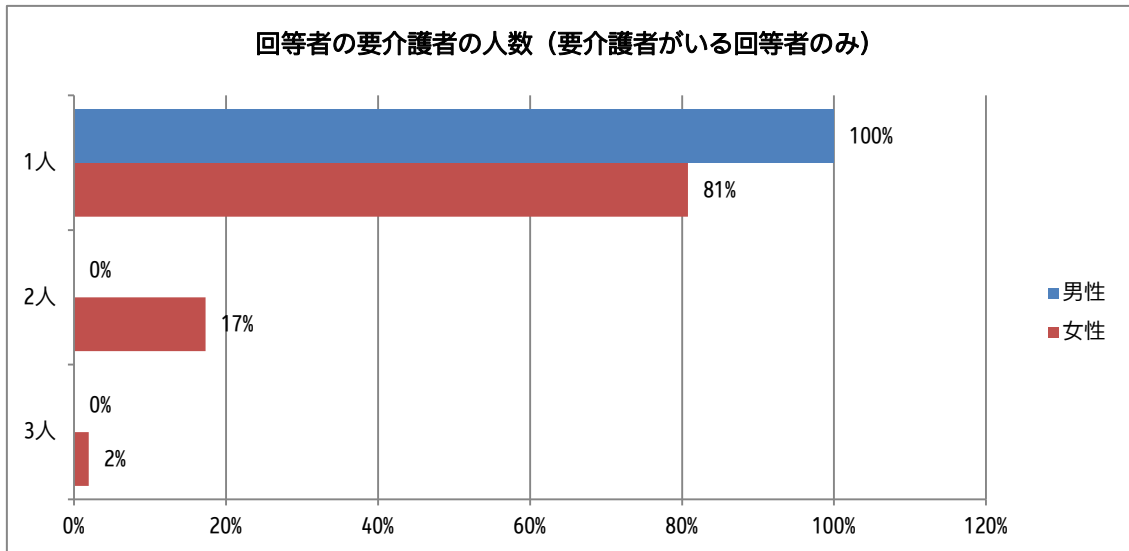
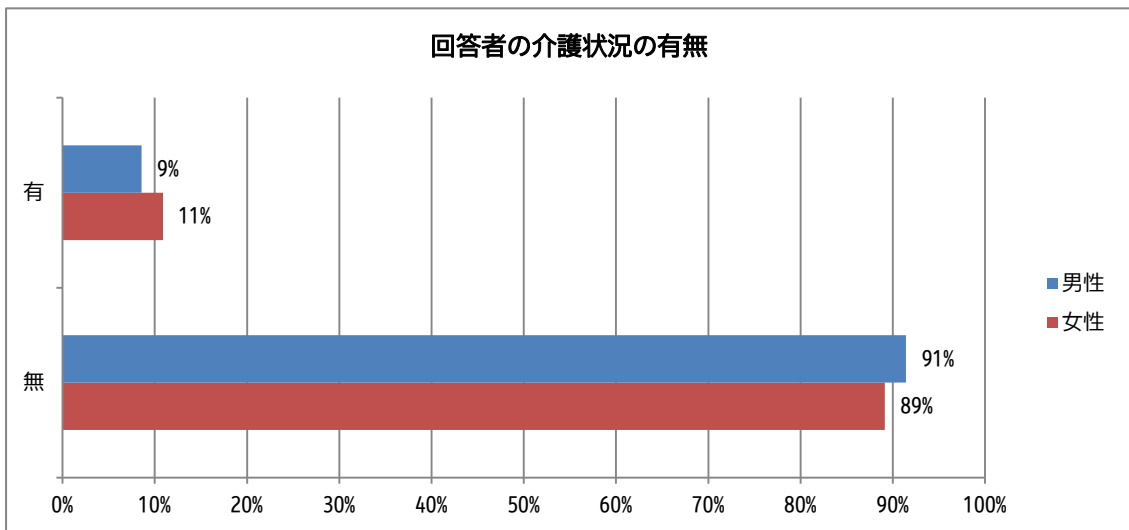
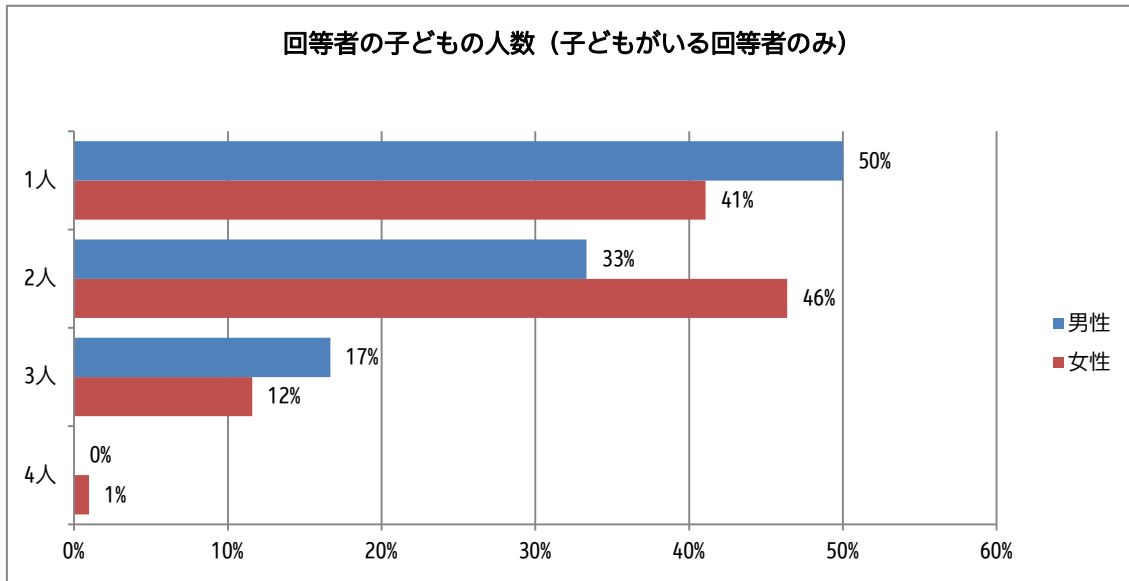
嘱託職員、臨時職員のアンケート結果



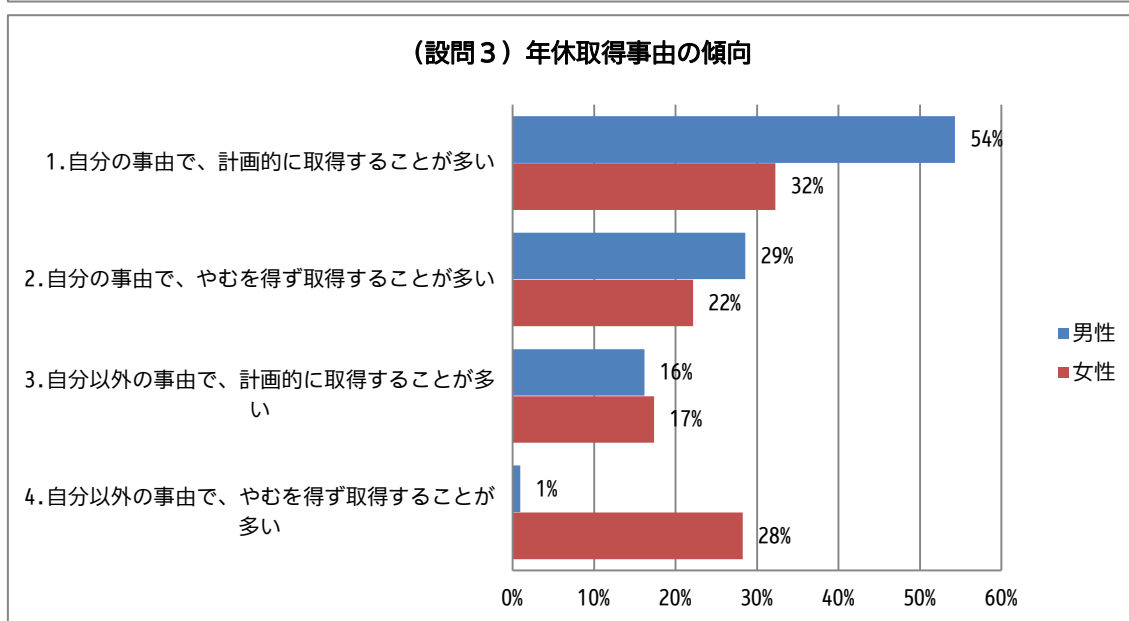
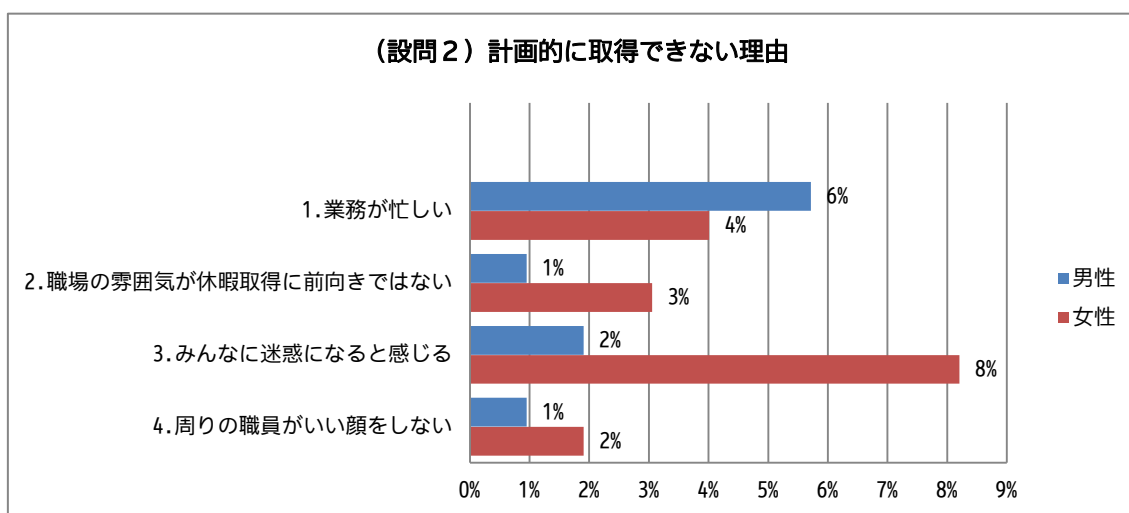
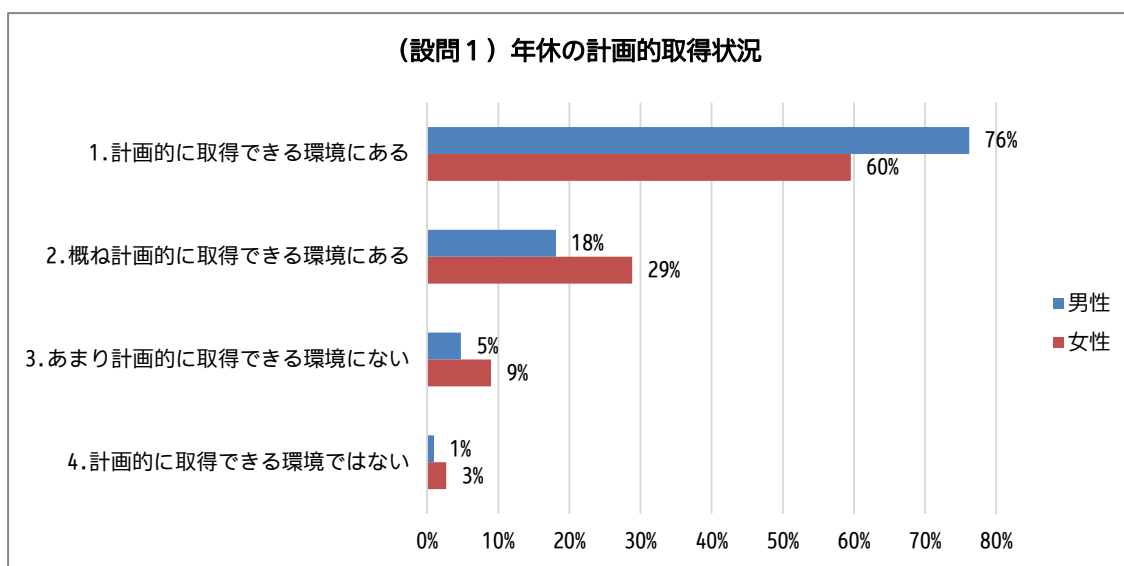
嘱託職員、臨時職員のアンケート結果



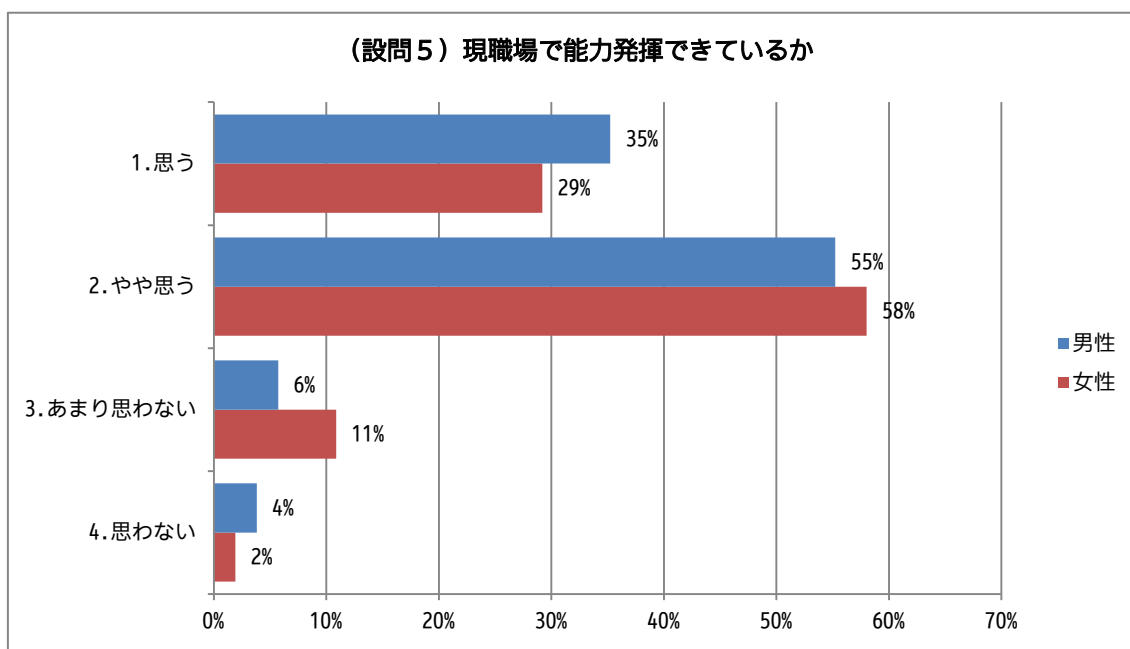
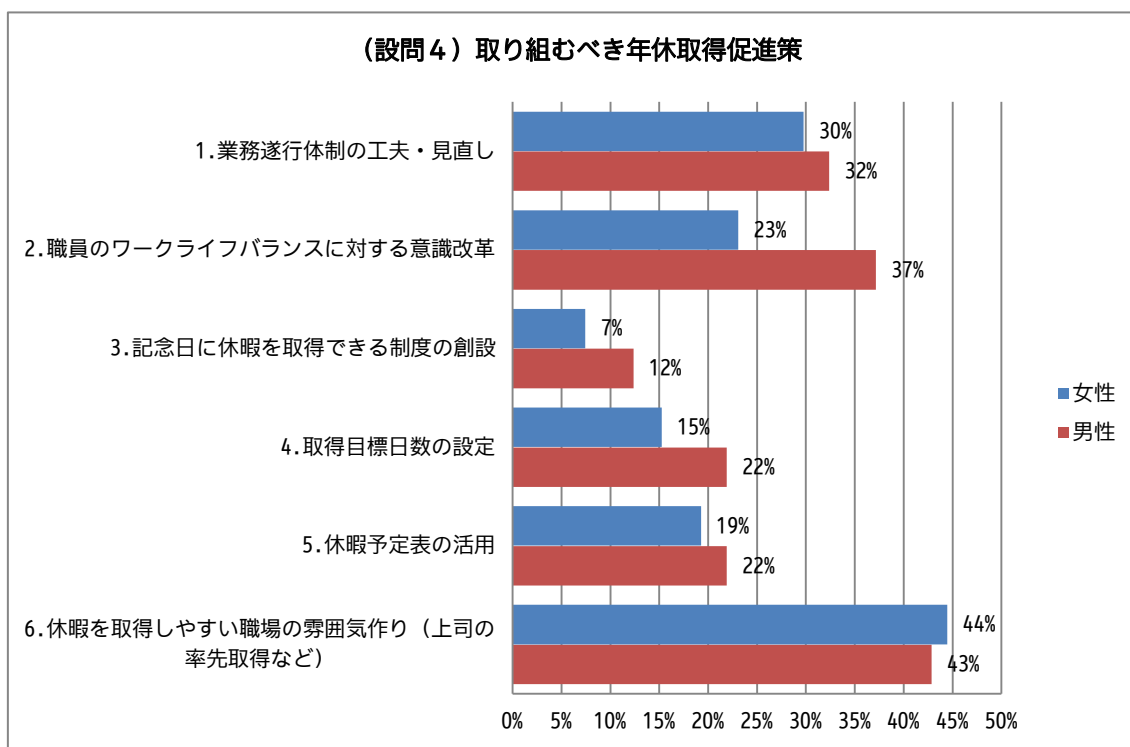
嘱託職員、臨時職員のアンケート結果



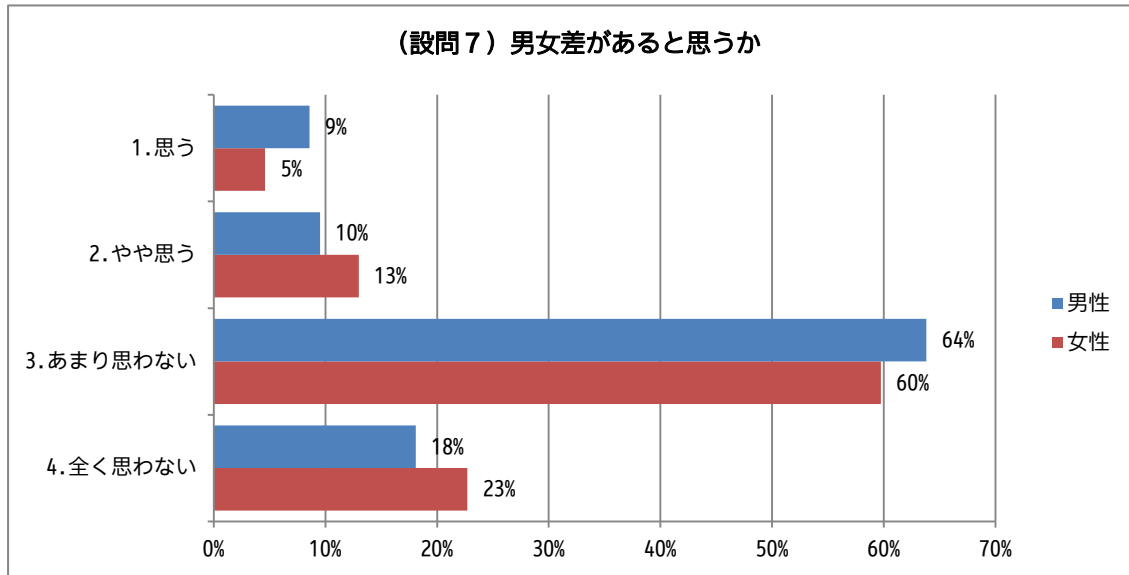
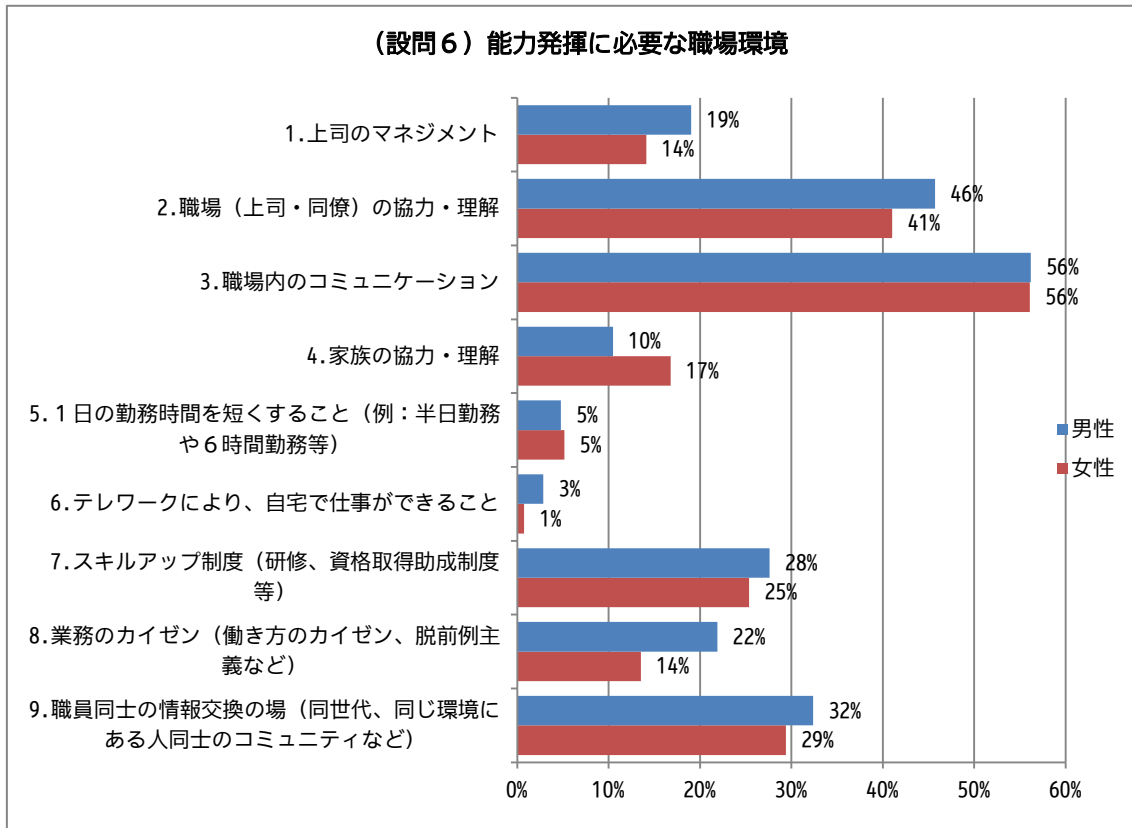
嘱託職員、臨時職員のアンケート結果



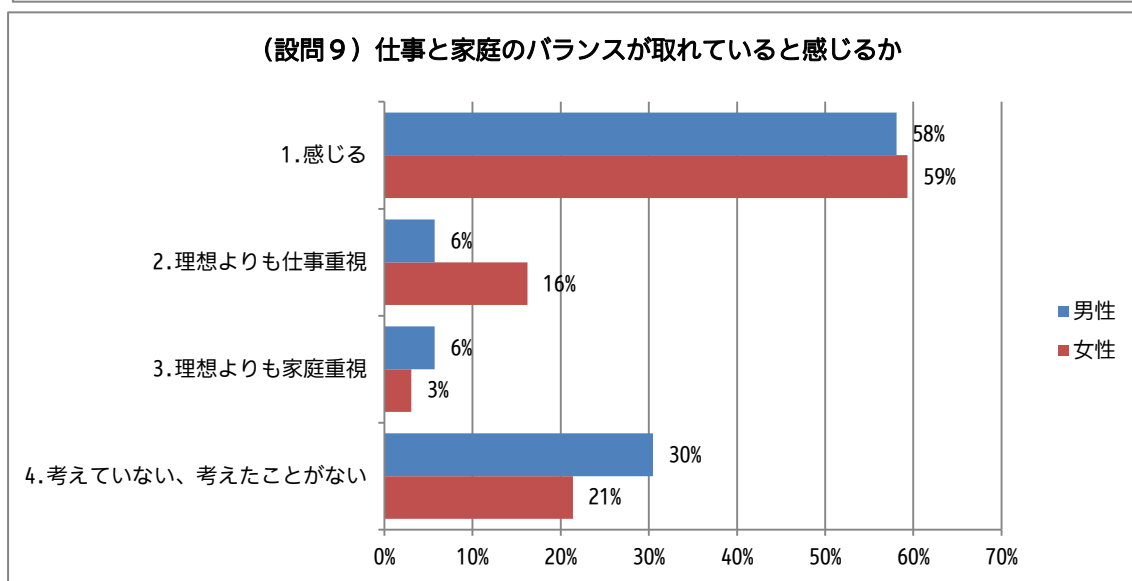
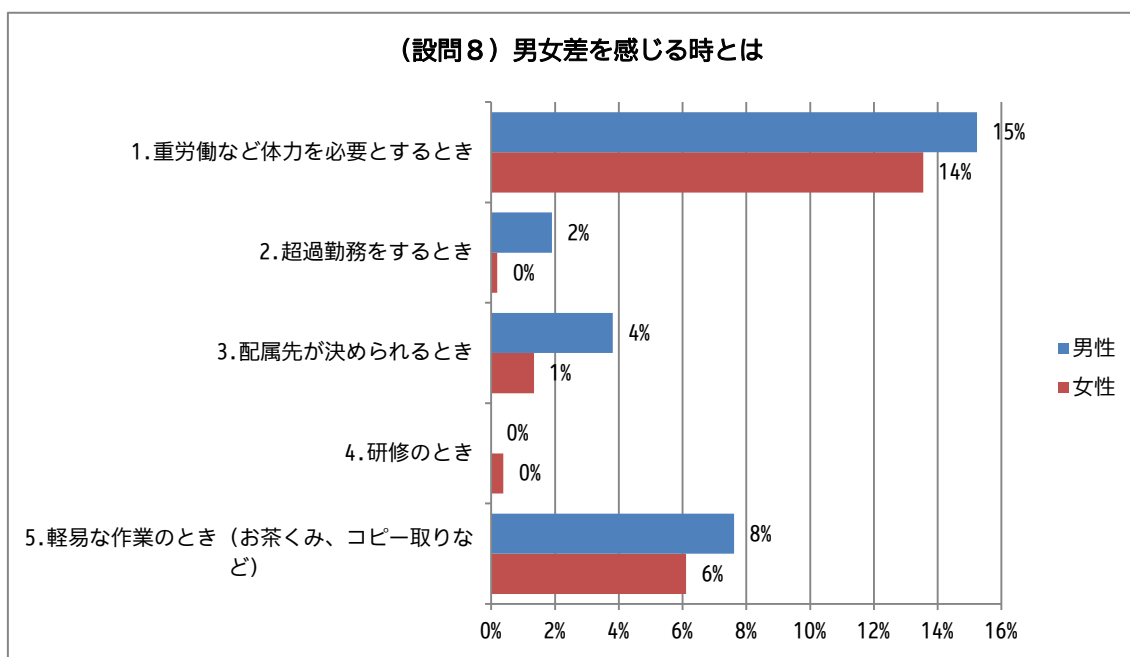
嘱託職員、臨時職員のアンケート結果



嘱託職員、臨時職員のアンケート結果

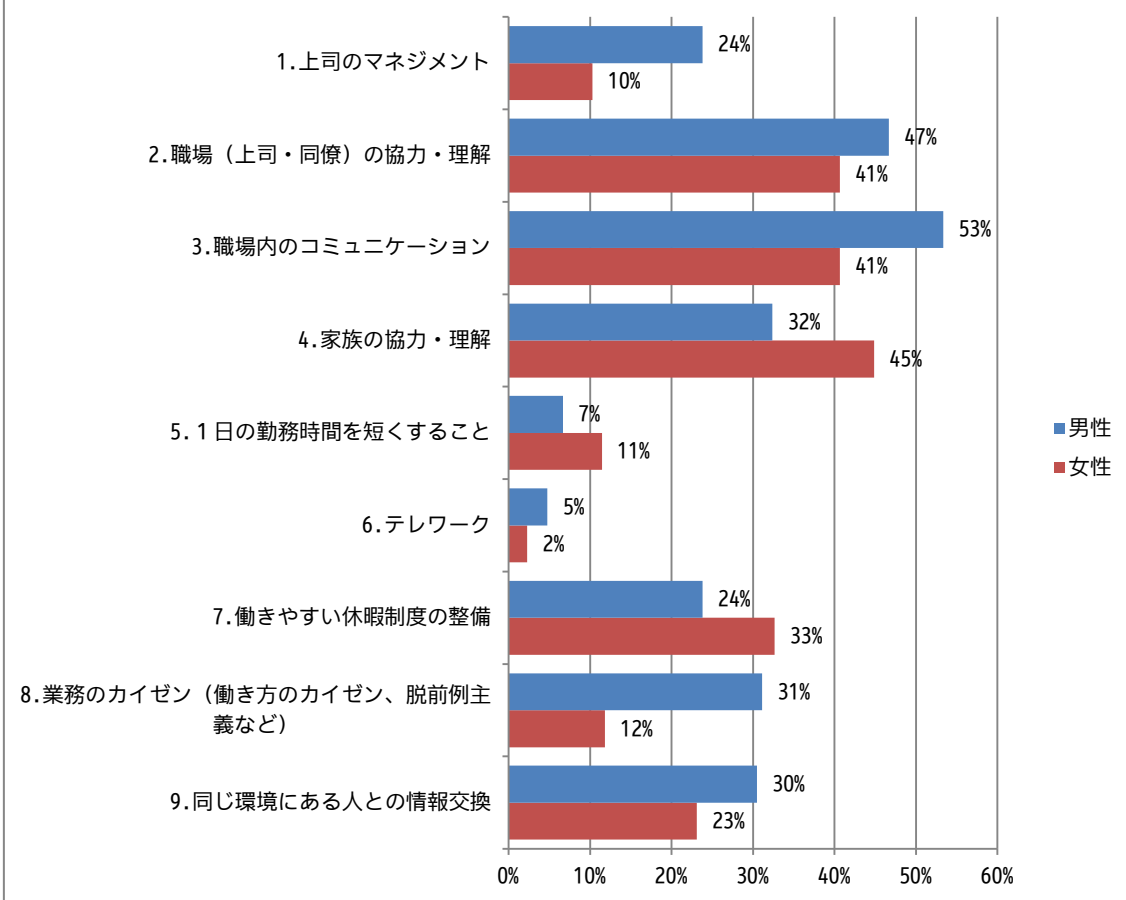


嘱託職員、臨時職員のアンケート結果

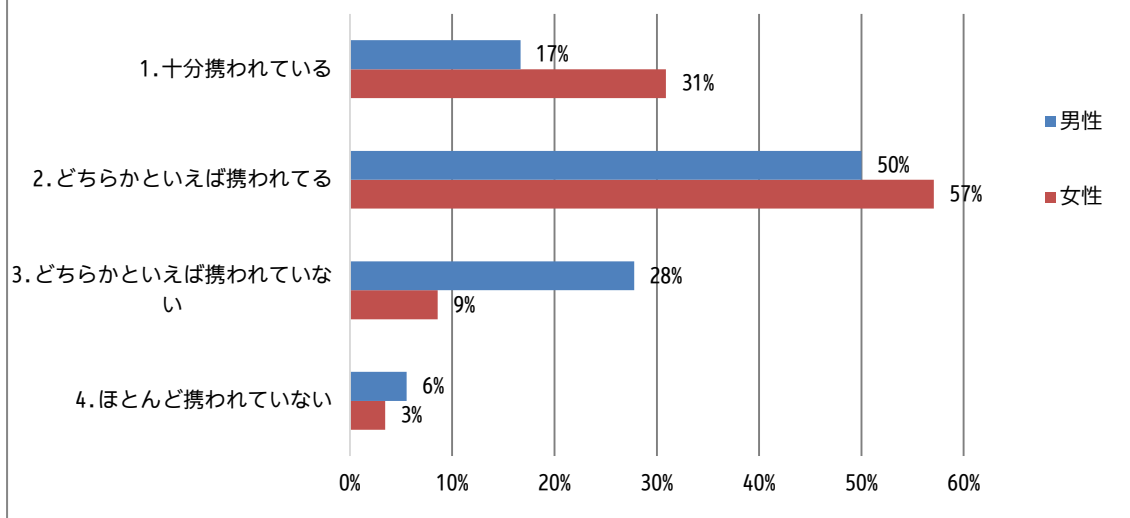


嘱託職員、臨時職員のアンケート結果

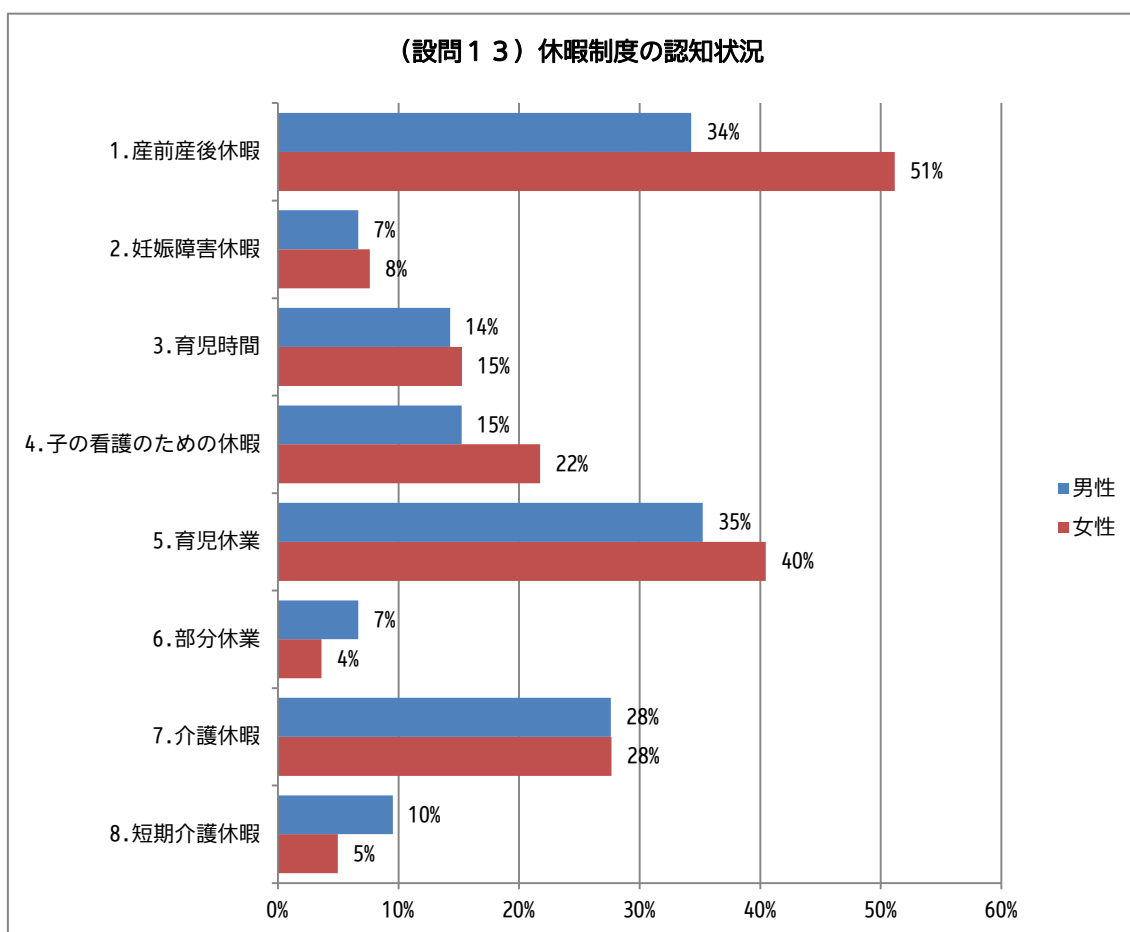
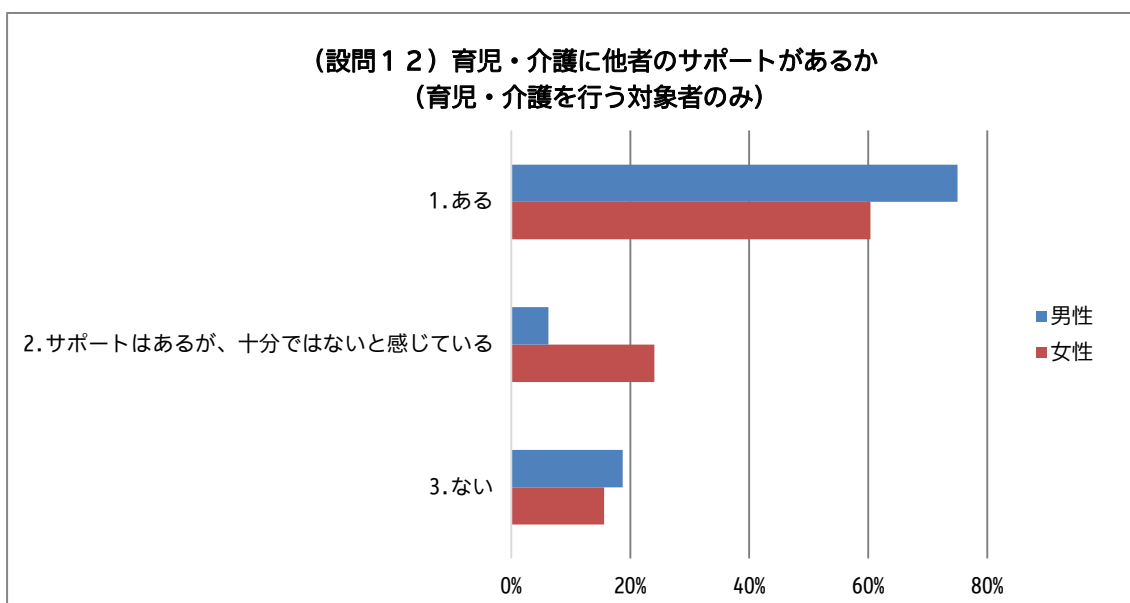
(設問10) 理想的な仕事と家庭のバランスのために必要なこと



(設問11) 育児介護にどの程度携われているか
(育児・介護を行う対象者のみ)



嘱託職員、臨時職員のアンケート結果



嘱託職員、臨時職員のアンケート調査票

(嘱託職員、臨時職員用)特定事業主行動計画策定に係るアンケート

目安として、5分程度で回答できる内容です。

【注意事項】回答後の回答内容の訂正はできませんので予めご注意ください。

項目名	入力内容
年齢 必須	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上
性別 必須	☐ 男性 ☐ 女性
職名 必須	☐ 嘱託職員(常勤・非常勤) ☐ 臨時職員
配偶者の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
配偶者の就労状況の有無	☐ 有 ☐ 無
子どもの有無(※18歳未満) 必須	☐ 有 ☐ 無
子どもの人数(※18歳未満)	[半角数字]
介護を要する家族の有無 必須	☐ 有 ☐ 無
介護を要する家族の人数	[半角数字]
設問1 必須	あなたの現在の職場は、年次有給休暇を計画的に取得できる職場環境にありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問2	前の質問で「あまり計画的に取得できる環境にない」「計画的に取得できる環境ではない」と答えた方に伺います。計画的に取得できる環境にないと感じるのはどうですか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 業務が忙しい ☐ 職場の雰囲気や休暇取得に前向きではない ☐ みんなに迷惑になると感じる ☐ 周りの職員がいい顔をしない
設問3 必須	あなたの年次有給休暇の取得事由の傾向について、以下のうち、一番自分の傾向に近いものを1つ選んでください。

嘱託職員、臨時職員のアンケート調査票

設問4	年次有給休暇取得促進のために取り組むべきことは何だと思いますか。当てはまると思うものを全てチェックしてください。 ☐ 業務遂行体制の工夫・見直し ☐ 職員のワークライフバランスに対する意識改革 ☐ 記念日に休暇を取得できる制度の創設 ☐ 取得目標日数の設定 ☐ 休暇予定表の活用 ☐ 休暇を取得しやすい職場の雰囲気作り(上司の率先取得など)
設問5 必須	現在の職場は自分の能力を発揮できていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問6	現在の職場で自分が能力を発揮できるようにするためには、職場環境として何が必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 上司のマネジメント ☐ 職場(上司・同僚)の協力・理解 ☐ 職場内のコミュニケーション ☐ 家族の協力・理解 ☐ 1日の勤務時間を短くすること(例:半日勤務や6時間勤務等) ☐ テレワークにより、自宅で仕事ができること ☐ スキルアップ制度(研修、資格取得助成制度等) ☐ 業務のカイゼン(働き方のカイゼン、脱前例主義など) ☐ 職員同士の情報交換の場(同世代、同じ環境にある人同士のコミュニティなど)
設問7 必須	仕事をする中で男女差を感じる時がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問8	前の質問で思う・やや思うと回答した方に伺います。どのような時に男女差を感じますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 重労働など体力を必要とするとき ☐ 超過勤務をするとき ☐ 配属先が決められるとき ☐ 研修のとき ☐ 軽易な作業のとき(お茶くみ、コピー取りなど)
設問9 必須	自分の理想とする仕事と家庭のバランスがとれていると感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問10	自分の理想とする仕事と家庭のバランスをとるためには何が必要だと思いますか。当てはまるものを全てチェックしてください。 ☐ 上司のマネジメント ☐ 職場(上司・同僚)の協力・理解 ☐ 職場内のコミュニケーション ☐ 家族の協力・理解 ☐ 1日の勤務時間を短くすること(例:半日勤務や6時間勤務等) ☐ テレワークにより、自宅で仕事ができること ☐ 働きやすい休暇制度の整備(育児時間、介護休暇等) ☐ 業務のカイゼン(働き方のカイゼン、脱前例主義など) ☐ 同じ環境にある人との情報交換(同世代、同じ環境にある人同士のコミュニティ)

嘱託職員、臨時職員のアンケート調査票

	など)
設問11	子ども又は要介護者を持つ方に伺います。 あなたは、子ども又は要介護者に対してどの程度携わられていますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問12	子ども又は要介護者を持つ方に伺います。 育児、家事、介護において自分以外の人のサポートはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。
設問13	以下の休暇制度について、制度の内容(取得可能対象者・取得可能日数など)を知っているものに全てチェックしてください。 ☐ 産前産後休暇 ☐ 妊娠障害休暇 ☐ 育児時間 ☐ 子の看護のための休暇 ☐ 育児休業 ☐ 部分休業 ☐ 介護休暇 ☐ 短期介護休暇
設問14	その他、本アンケートについて何かご意見等ありましたら入力してください。